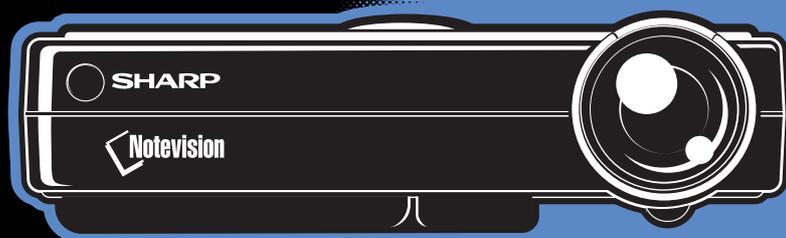


SHARP®

デジタルマルチメディアプロジェクター

ビ- ジ- エム エックスジェイ
形名 PG-M15XJ
ビ- ジ- エム エスジェイ
PG-M15SJ

取扱説明書



Notevision

このたびはシャープデジタルマルチメディアプロジェクターをお買い上げいただき、まことにありがとうございました。

正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください。

ご使用前に、「安全に正しくお使いいただくために」を必ずお読みください。……4ページ

保証書は、必ず購入店名・購入日などの記入を確かめてお受け取りください。

製造番号は品質管理上重要なものですから、商品本体に表示されている製造番号と保証書に記載されている製造番号とが一致しているか、お確かめください。

なお、この取扱説明書は、保証書とともにいつでも見ることができる所に必ず保存してください。



DLP™
A TEXAS INSTRUMENTS TECHNOLOGY

はじめに

設置と接続のしかた

基本操作

便利な機能を使う

付録

特長

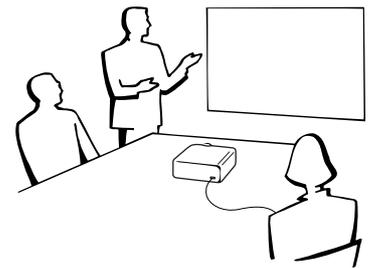
DLP™方式を採用、高輝度 1100ANSIルーメンで 500 : 1 の高コントラスト映像を実現。A5 ファイルサイズの軽量・コンパクト設計

1 軽量コンパクト / 高輝度設計

質量約 1.6Kg、容積 2リットルの A5 ファイルサイズの軽量・コンパクト化を実現。

しかもキャビネットには、環境にやさしいマグネシウム合金を採用。

新開発 120W HID ランプを採用。小型・軽量ながら 1100ANSIルーメンを実現。



2 高画質設計

高コントラスト 500 : 1 を実現。

新開発光学メカにより、コントラスト比 500 : 1 を実現。

3モードガンマ切り換え機能搭載。

映像や部屋の明るさに合わせ、階調表現を変えるなど、3種類のガンマ設定でお好みの映像が楽しめます。

3 システム・操作性

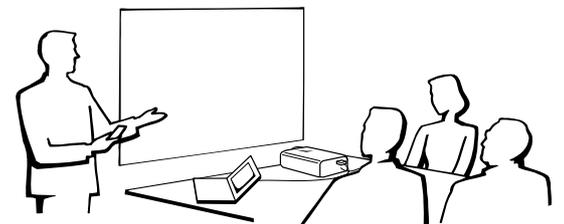
SXGA (1280 × 1024) までの幅広いパソコン入力対応。

PG-M15XJ

- ・SVGA (800 × 600) ...拡大表示
- ・XGA (1024 × 768) ...リアル表示
- ・SXGA (1280 × 1024) ...高品位圧縮表示

PG-M15SJ

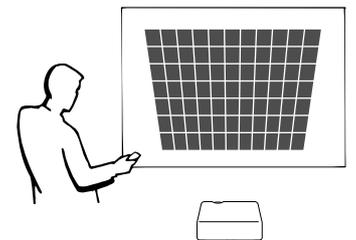
- ・SVGA (800 × 600) リアル表示
- ・XGA (1024 × 768) 、SXGA (1280 × 1024) ...高品位圧縮表示



世界の主な映像信号方式 NTSC/PAL/PAL-M/PAL-N/SECAM に対応しています。

ジャギーレスキーストーン補正機能搭載

スクリーンに対する投射角度により歪んだ画像を、デジタル処理によりジャギー(ギザギザ感)を低減するとともに、アスペクト比補正も同時に行いますので、自然な画像を実現します。



1.2倍手動ズームレンズ搭載

質量約 1.6Kg の小型・軽量ながら、1.2倍のズームレンズを搭載。

自動同期調整機能搭載

コンピュータにより微妙に異なる信号を、自動的に最適な状態で表示することができます。

もくじ

はじめに ページ

特長	2
もくじ	3
安全に正しくお使いいただくために	4
使用上のご注意	8
海外でご使用になるときは	9
プロジェクターを移動するときは	9
各部のなまえ	10
本体	10
リモコン	12
リモコンの使いかた	13

設置と接続のしかた

付属品を確認する	16
設置のしかた	17
アジャスターの使いかた	17
スクリーンを設置する	18
接続のしかた	22
接続例	22
コンピュータと接続する	23
シリアル(RS-232C)端子へ接続する	26
ビデオ機器と接続する	27
モニターへ接続する	30

基本操作

投映のしかた	32
電源を入れてから切るまで	32
レンズ調整	34
画面の台形歪みを補正する	35
リモコンのワイヤレスマウス機能を使用する	36
メニューの使いかた	38
メニュー表示内容一覧	38
メニュー項目別の設定調整内容一覧	39
メニューの基本操作	40
映像を調整する	42
コンピュータの映像を設定する	42
色温度を設定する	43
ビデオ、DVDプレーヤーなどの映像を調整する	44
同期調整について	46
コンピュータの映像を手動で同期調整する	46
自動同期調整について	47
再生する機器に合わせた映像信号方式を設定する	48
入力信号を確認する	50

便利な機能を使う ページ

静止画機能	52
映像をデジタル拡大する	53
画像表示モードを選ぶ	54
ガンマ補正	56
AVミュートOSD表示設定機能	57
画面表示(OSD表示)設定機能	58
無信号時自動電源オフモードを選ぶ	59
オートサーチの設定	60
無信号時に表示する画面を設定する	62
画面表示言語を選ぶ	64
映像の左右反転 / 上下反転のしかた	66
ランプ(光源)の使用時間を確認する	68

付録

本体のコネクタのピン配置	70
RS-232Cポート仕様	72
コンピュータによるプロジェクターの制御について	72
RGB入力信号(推奨信号)について	73
お知らせ表示 / ランプ(光源)について	74
お知らせ表示について	74
ランプ(光源)について	75
お手入れのしかた	75
故障かな?と思ったら	76
アフターサービスについて	77
お客様ご相談窓口のご案内	78
仕様	80
寸法図	81
用語集	82
索引	83



安全に正しくお使いいただくために

はじめに

安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書および商品には、安全にお使いいただくために、いろいろな表示をしています。その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、次のように区分しています。内容をよく理解してから本文をお読みにし、記載事項をお守りください。

警告 人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

注意 人がけがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

図記号の意味



記号は、気をつける必要があることを表しています。



記号は、してはいけないことを表しています。



記号は、しなければならないことを表しています。

警告

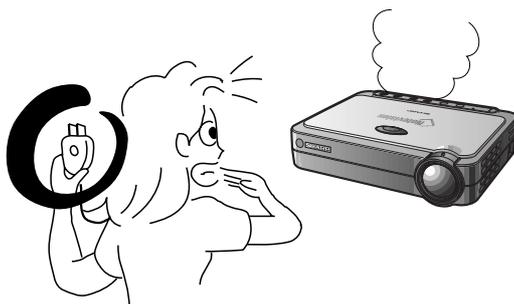
煙が出ている、変なおいや音がするなど異常状態のときは電源プラグを抜く



● 異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。



● 画面が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて修理を販売店にご依頼ください。



キャビネットは絶対にあけない



● この機器のキャビネットは外さないでください。内部には電圧の高い部分がありますので感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

高圧注意

● サービスマン以外のかたはキャビネットをあけないでください。内部には高電圧部分が数多くあります。万一、さわると危険です。



● この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。

表示された電源電圧で使用する



● 表示された電源電圧(交流100～240ボルト)以外で使用すると、火災・感電の原因となります。

警告

プロジェクターを落としたときは

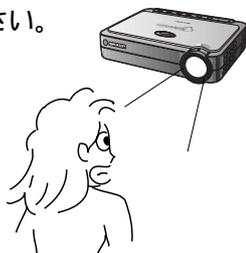


- この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電の原因となります。

レンズをのぞかない



- 投映中にレンズをのぞかないでください。眼を傷める原因となります。特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。



高温部には触れない



- 投映中は、排気孔およびその周辺部に触れないでください。高温になりますので、やけどの原因となります。



不安定な場所に置かない



- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり倒れたりしてケガの原因となります。

天井へ取り付けるときは



- この機器を天井へ設置する場合は、必ず販売店へご依頼ください。取り付けが不確実ですと、落下などにより感電・ケガの原因となります。

風呂、シャワー室では使用しない



- 風呂、シャワー室では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

内部にもものや水などを入れない



- この機器の開口部(通風孔など)から金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。



- 異物がこの機器の内部に入った場合は、まず本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



- この機器の内部に水などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電の原因となります。

上には水の入ったものや小さな金属物を絶対に置かない



- この機器の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。



- この機器に水を入れたり、ぬらしたりしないでください。火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。

雷が鳴り出したら電源プラグには触れない



- 雷が鳴りはじめたら電源プラグには触れないでください。感電の原因となります。

電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着した状態では使用しない



- ほこりや金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除いてください。そのままご使用すると、火災・感電の原因となります。



安全に正しくお使いいただくために(つづき)

はじめに

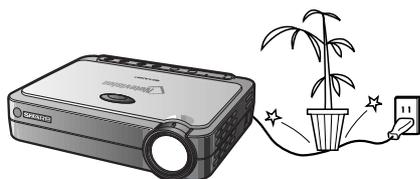
安全に正しくお使いいただくために(つづき)

警告

電源コードを破損するようなことはしない



- 電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本体の下敷にならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードを敷物などで覆ってしまうと、気付かずに、重いものをのせてしまうことがあります。



- 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。



- 電源コードが傷んだら(芯線の露出断線など)販売店に交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

注意

湿気やほこりの少ない場所に置く



- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。



重いものを置かない



- この機器の上に重いものを置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してケガの原因となることがあります。
- この機器に乗らないでください。特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。倒れたり、こわれたりしてケガの原因となることがあります。



通風孔をふさがない



- この機器の通風孔をふさがないでください。内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。

冷却ファン部〔排気側〕は、壁などから10cm以上はなして設置してください。



- 次のような使い方はしないでください。この機器を横倒しや、レンズを上または下にむけて逆さまにする。押し入れ、本箱など風通しの悪い狭い所に押し込む。じゅうたんや布団の上に置く。テーブルクロスなどを掛ける。

置台に据えつけるときは



- キャスター付き置台にこの機器を設置する場合にはキャスター止めをしてください。動いたり、倒れたりして、ケガの原因となることがあります。

⚠ 注意

移動させるときは必ず接続線ははずす



- 移動させる場合は、機器本体の電源スイッチを切り必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続線等外部の接続線を外したことを確認の上、行ってください。コードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。

指定以外の電池は使わない

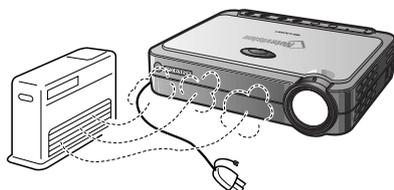


- 機器で指定されていない電池は使用しないでください。また新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。電池の破れつ、液もれにより、火災・ケガや周囲を汚損する原因となることがあります。

電源コードを熱器具に近づけない



- 電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被覆が溶けて、火災・感電の原因となることがあります。



電池を入れるときは極性表示(プラス⊕とマイナス⊖の向き)に注意する



- 電池を機器内に挿入する場合、極性表示(プラス⊕とマイナス⊖の向き)に注意し、機器の表示どおり正しく入れてください。間違えますと電池の破れつ、液もれにより、火災、ケガや周囲を汚損する原因となることがあります。

電源プラグを抜くときは必ずプラグを持って抜く



- 電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき火災・感電の原因となることがあります。

長時間ご使用にならないときは電源プラグを抜く



- 旅行などで長時間、本機をご使用にならないときは安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない



- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

お手入れのときは電源プラグを抜く



- お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。

電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込む



- 差し込みが不完全ですと発熱したり、ほこりが付着して、火災の原因となることがあります。また、電源プラグの刃に触れると感電することがあります。



- 電源プラグは、根元まで差し込んででもゆるみがあるコンセントに接続しないでください。発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事店にコンセントの交換を依頼してください。

3年に一度は機器内部の清掃を販売店に依頼する



- 3年に一度くらいは内部の掃除を販売店などにご相談ください。本機器の内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行くと、より効果的です。なお、内部掃除費用については販売店などにご相談ください。



使用上のご注意

はじめに



使用上のご注意

設置するときはつぎの点にご注意ください。

ホコリ、湿気の少ないところへ

湿気やほこりの多い場所、油煙やタバコの煙の当たるような場所に置くと、レンズ・ミラー等の光学部品に汚れが付着し、映像がぼやけたり、暗く見にくくなります。

高温、低温の場所はさけてください

使用温度範囲 10 ~ 35

保存温度範囲 - 10 ~ 60

直射日光や、照明の光はさけてください

スクリーンに直接光があたると画面が白っぽくなり見にくくなります。明るい光が入る部屋ではカーテンを引くようにしてください。(できるだけ、暗い環境でお使いいただくことをおすすめします。)

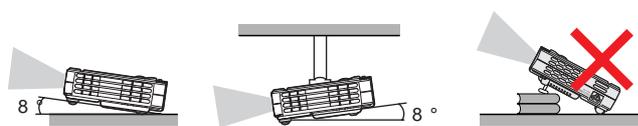
排気孔や吸気孔をふさがないように

排気孔側に壁やモノがある場合は、10cm以上スキ間をあけて設置してください。

吸気孔をふさがないように設置してください。

本機を8度以上傾けないように設置してください

設置範囲(水平に対する角度) + 8°



温度

温度モニター機能

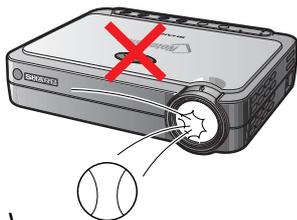
設置状況によりプロジェクター内部の温度が高温になると、「温度」マークが画面に表示されます。さらに温度が上昇し続けると、ランプ(光源)が消灯し、プロジェクターの温度表示(ランプ)が点滅し、約90秒間の冷却期間の後、電源が切れます。詳細については74ページの「お知らせ表示について」をご参照ください。

! 注意

冷却ファンは内部温度を一定にしますが、その機能は自動制御されています。冷却ファンの音がプロジェクターの操作中に変化することがありますが、ファンの速さを変えているため、故障ではありません。投映中および冷却ファンの動作中に電源プラグを抜かないでください。冷却ファンも同時に止まるため、温度上昇により故障の原因となります。

衝撃を与えないでください

本機のレンズには、特にご注意ください表面を打ったり傷をつけたりしないようご注意ください。



目をときどき休めてください

連続して長い時間画面を見ていると、目を疲れさせます。ときどき目を休めてください。

持ち運びのご注意

持ち運ぶときは、衝撃を与えないようにしてください。故障の原因となります。レンズには特にご注意ください。なお、移動させる場合は、かならず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続線ははずしたことを確認の上行ってください。



接続機器について

プロジェクターにコンピュータやAV機器を接続するときは、プロジェクターおよび接続する各機器の電源を必ず切ってから接続してください。

接続のしかたは、プロジェクターおよび接続する各機器の取扱説明書をご覧ください。

・この製品はクラスA情報技術装置です。住宅環境で使用する場合は、電波障害を発生させる恐れがあります。その際、この製品の利用者は、適切な手段を講ずることが必要とされることがあります。

海外でご使用になるときは

お使いになる国や地域によって、電源電圧やプラグの形状が異なります。海外でご使用になるときは、もよりのお客様相談窓口の「一般ご相談窓口」(79ページ)にお問い合わせください。

プロジェクターを移動するときは

プロジェクターを移動するときは、レンズキャップをして、付属のソフトポーチに入れて持ち運んでください。

！ 注意

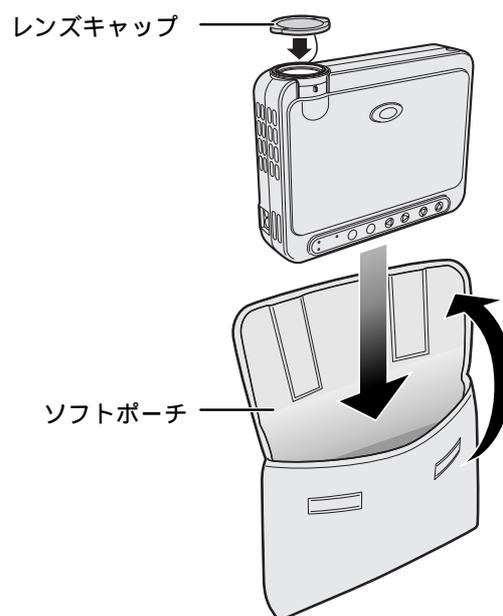
このソフトポーチはプロジェクターの収納および持ち運び専用です。付属品等をプロジェクターと一緒に収納しないでください。

プロジェクターを収納するときは、必ずレンズキャップを取り付けてください。

トラック便などでの運送用として使用しますと、外部の損傷や機器の故障の原因になります。運送用として使用するときは緩衝材を使用し、パッキングケース等に入れた状態で行ってください。

プロジェクターを使用した後、収納するときは、プロジェクターが十分冷えたことを確認してください。ソフトポーチやプロジェクターの変形・変色の原因になります。

直射日光の当たる場所や、閉めきった自動車内、熱器具などの近くに放置しないでください。ソフトポーチやプロジェクターの変形・変色の原因になります。



- ・ DLP™(Digital Light Processing)、DMD™(Digital Micromirror Device)は米国テキサスインスツルメンツ社の商標です。
- ・ Microsoft、Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国々における登録商標です。
- ・ PS/2、PC/AT は米国 IBM 社の登録商標です。
- ・ Macintosh はアップルコンピュータ・インクの米国およびその他の国における登録商標です。
- ・ その他製品名等の固有名詞は各社の商標または登録商標です。

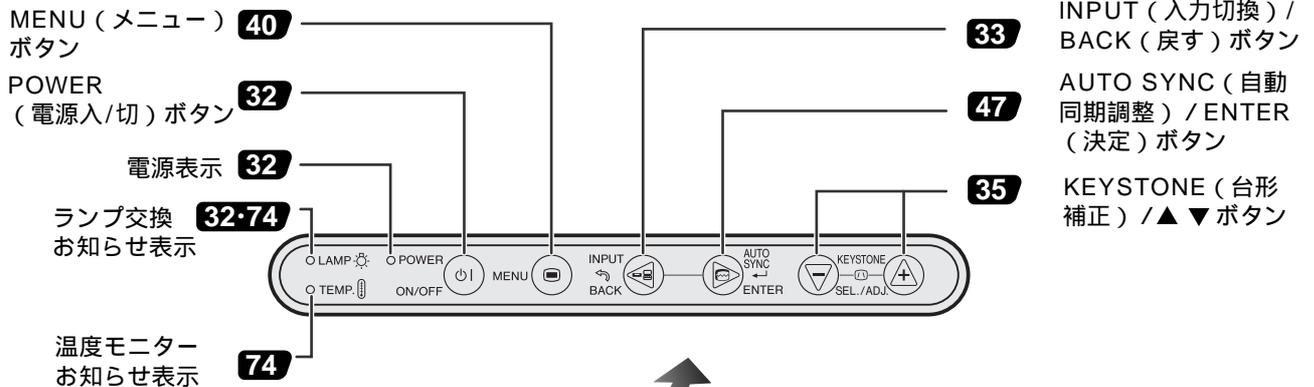


各部のなまえ

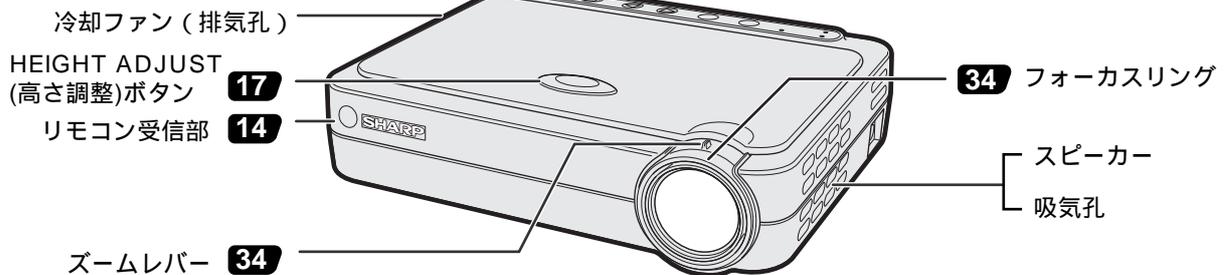
■ は参照ページを示しています。

本体

天面操作部



前面・天面

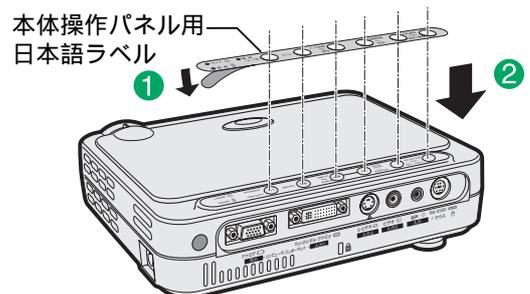


各部のなまえ	はたらき
MENU(メニュー)ボタン	メニューを表示します
POWER(電源入/切)ボタン	電源を入、切します
電源表示	待機状態では赤、電源を入れると緑に変わります
ランプ交換お知らせ表示	通常は緑色で点灯/赤色で点灯したときはランプ交換が必要です
温度モニターお知らせ表示	通常は消灯/内部温度が高温になると赤色で点灯します
INPUT(入力切換)/BACK(戻す)ボタン	接続された外部機器の入力信号を切り換えたり、メニュー画面で1つ前の操作の状態に戻したりします
AUTO SYNC(自動同期調整)/ENTER(決定)ボタン	コンピュータ接続時の同期を自動での調整と、各操作の区切りや選択項目の決定などを行うとき使用します
KEYSTONE(台形補正)/▲▼ボタン	画面の台形歪みを補正したり、メニューの選択や各調整画面で調整を行うときに使用します

本体操作パネルを日本語表示にしたいとき

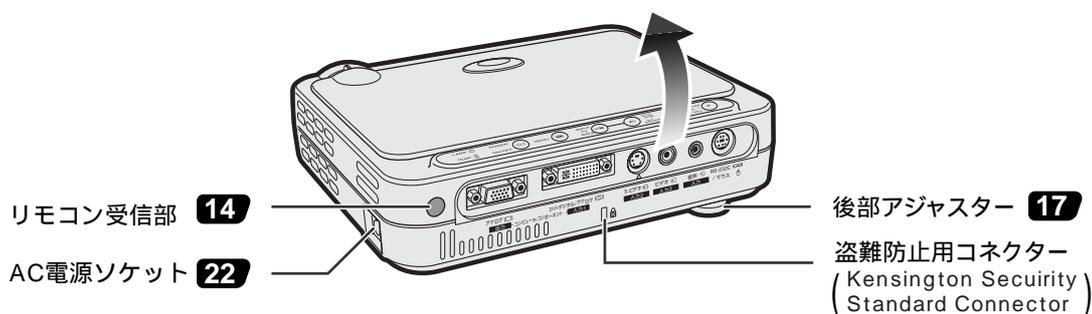
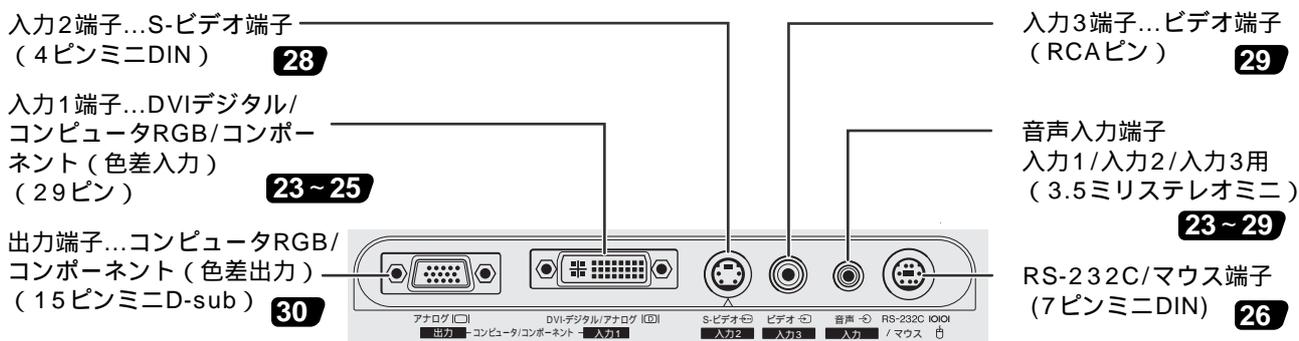
本体操作パネル用日本語ラベル(付属品)を貼り付けます

- 1 本体操作パネル用日本語ラベルの裏面のテープをはがします。
- 2 プロジェクター本体の操作ボタンとラベルの穴を合わせて貼り付けます。



は参照ページを示しています。

側面・背面



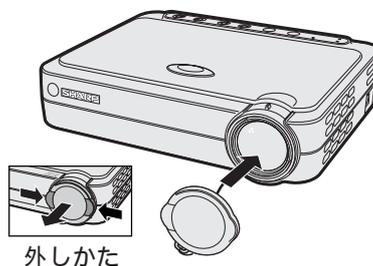
各部のなまえ	はたらき
入力2端子...S-ビデオ端子 (S映像 4ピンミニDIN)	S端子付ビデオ機器を接続するときに使用します
入力1端子...DVIデジタル/コンピュータRGB/コンポーネント(色差入力) (29ピン)	DVIデジタル/コンピュータRGB/コンポーネント(色差入力)の入力用端子です(コンポーネント525i専用)
出力端子...コンピュータRGB/コンポーネント(色差出力) (15ピンミニD-sub)	入力1端子に入力した信号の出力端子です(コンポーネント525i専用)
入力3端子...ビデオ端子 (RCAピン)	RCAピンジャックタイプのビデオ入力用端子です
音声入力端子 (3.5ミリステレオミニ)	入力1/入力2/入力3共用の音声入力用端子です
RS-232C/マウス端子 (7ピンミニDIN)	DIN - D-sub RS-232Cケーブル(付属品)とRS-232Cケーブル(市販品)を使ってコンピュータなどと接続します

入力1端子にコンポーネント(色差)信号を入力するとき、本機のコンポーネント端子は525i専用です。

レンズキャップの装着のしかた

1 右の図のように装着します

外すときは、右の図のようにレンズキャップの2箇所を押しながらずします。



盗難防止用コネクターについて

市販の盗難防止用ケーブル(Kensington社製)などを接続することができます。

メモ

盗難防止用コネクターは、Kensington社製のマイクロサーバーセキュリティシステムに対応しています。日本国内総販売代理店の連絡先は、以下のとおりです。

日本ポラロイド株式会社 電子映像グループ

〒105-8456 東京都港区虎ノ門3丁目2番2号 第30森ビル Tel: 03-3438-8879 Fax: 03-5473-1630



各部のなまえ(つづき)

はじめに

各部のなまえ(つづき)

は参照ページを示しています。

リモコン

上面

底面

リモコン信号発信インジケータ (リモコン信号発信時に点滅)
リモコン信号発信部

▲▼(メニュー選択 / マウスカーソル移動) ボタン

◀(マウスカーソル移動) ボタン

MOUSE(マウス) ボタン

FREEZE(静止画) ボタン

MENU(メニュー) ボタン

INPUT(入力切替) ボタン

KEYSTONE(台形補正) ボタン

VOLUME(音量) ボタン

▶(マウスカーソル移動) ボタン

POWER(電源入/切) ボタン

R-CLICK(右クリック) / ENTER(決定) ボタン

ENLARGE(拡大) ボタン

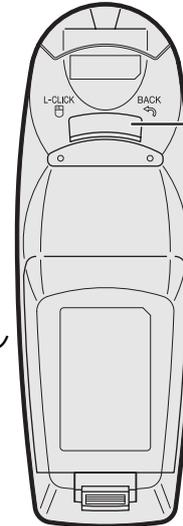
AUTO SYNC(自動同期調整) ボタン

AV MUTE(AVミュート) ボタン

RESIZE(画面サイズ) ボタン

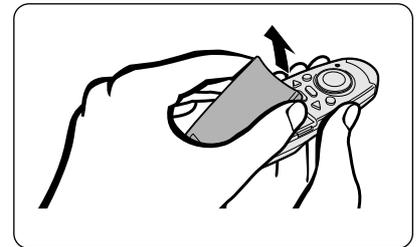
GAMMA(ガンマ補正) ボタン

リモコンふた



L-CLICK (左クリック) / BACK(戻す) ボタン

リモコンふたの開きかた



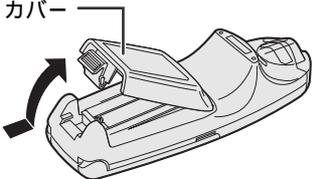
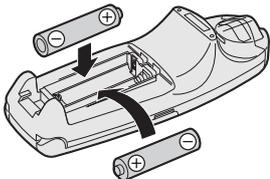
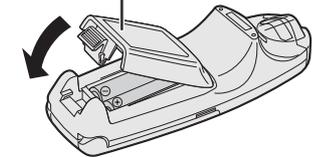
各部のなまえ	はたらき
▲▼(メニュー選択 / マウスカーソル移動) ボタン	メニューの選択や各調整画面で微調整をしたり、マウスカーソルを移動するのに使います
◀(マウスカーソル移動) ボタン	ワイヤレスマウスモード時、マウスカーソルを移動させるのに使います
MOUSE(マウス) ボタン	ワイヤレスマウスモードに切り換えます
FREEZE(静止画) ボタン	動画を静止画として記憶・表示します
MENU(メニュー) ボタン	メニューを表示します
INPUT(入力切替) ボタン	入力を切り換えます
KEYSTONE(台形補正) ボタン	画面の台形歪みを補正します
VOLUME(音量) ボタン	スピーカーからの音量を調整します
▶(マウスカーソル移動) ボタン	ワイヤレスマウスモード時、マウスカーソルを移動させるのに使います
POWER(電源入/切) ボタン	電源を入、切します
R-CLICK(右クリック) / ENTER(決定) ボタン	ワイヤレスマウスモード時は右クリックボタンとして働きます / メニュー画面で選択調整した項目を決定するのに使います
ENLARGE(拡大) ボタン	投射された映像をデジタル拡大します
AUTO SYNC(自動同期調整) ボタン	コンピュータ接続時の同期を自動で調整します
AV MUTE(AVミュート) ボタン	映像と音を一時的に消します
RESIZE(画面サイズ) ボタン	画面サイズ(ズームや標準)を切り換えます
GAMMA(ガンマ補正) ボタン	部屋の明るさの違いなどによる見にくい映像を補正します
L-CLICK(左クリック) / BACK(戻す) ボタン	ワイヤレスマウスモード時は左クリックボタンとして働きます / メニュー画面で一つ前の画面に戻りたいときに使います



リモコンの使いかた

乾電池の入れかた

乾電池はこの取扱説明書といっしょに入っています。〔単4形(LR03)2本〕

<p>1 カバーのつめを押して矢印の方向に開けます</p>	<p>2 付属の乾電池を入れます</p>	<p>3 カバーの突起をリモコンの穴に差し込み、矢印の方向に閉めます</p>
 <p>カバー</p>	<p>プラス⊕とマイナス⊖を、表示のとおり正しく入れてください。</p> 	 <p>カバー</p>

乾電池は誤った使いかたをしますと液もれや破裂することがありますので、次の点について特にご注意ください。

⚠ 注意

- 乾電池のプラス⊕とマイナス⊖を、表示のとおり正しく入れてください。
- 乾電池は種類によって特性が異なりますので、種類の違う乾電池は混ぜて使用しないでください。
- 新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しないでください。
新しい乾電池の寿命を短くしたり、また、古い乾電池から液がもれる恐れがあります。
- 乾電池が使えなくなったら、液がもれて故障の原因となる恐れもありますのですぐ取り出してください。
また、もれた液に触れると肌が荒れることがありますので、布でふき取るなど十分注意してください。

メモ

- 付属の乾電池は、保管状態により短期間で消耗することがありますので、早めに新しい乾電池と交換してください。
- 長時間使用しないときは、乾電池をリモコンから取り出して整理しておいてください。



リモコンの使いかた(つづき)

はじめに

リモコンの使いかた(つづき)

リモコン/ワイヤレスマウス機能の使用範囲

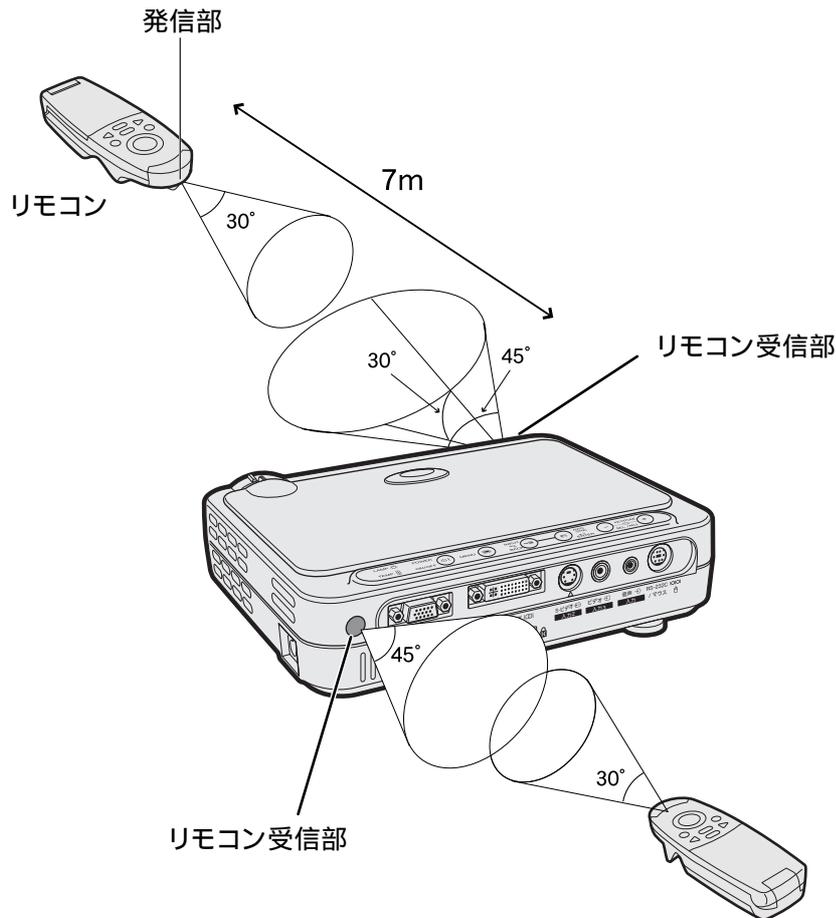
リモコン/ワイヤレスマウス機能の使用範囲は下図のとおりです。

ワイヤレスマウス機能を使うと、プロジェクターに接続されたコンピュータ画面のマウス操作がリモコンで行えます。(36ページをご覧ください。)



リモコンをスクリーンに反射させて、リモコン信号を受信することもできますが、信号が届く距離はスクリーンの材質によって異なります。

プロジェクターを制御したり、ワイヤレスマウス機能を使用する場合



! 注意

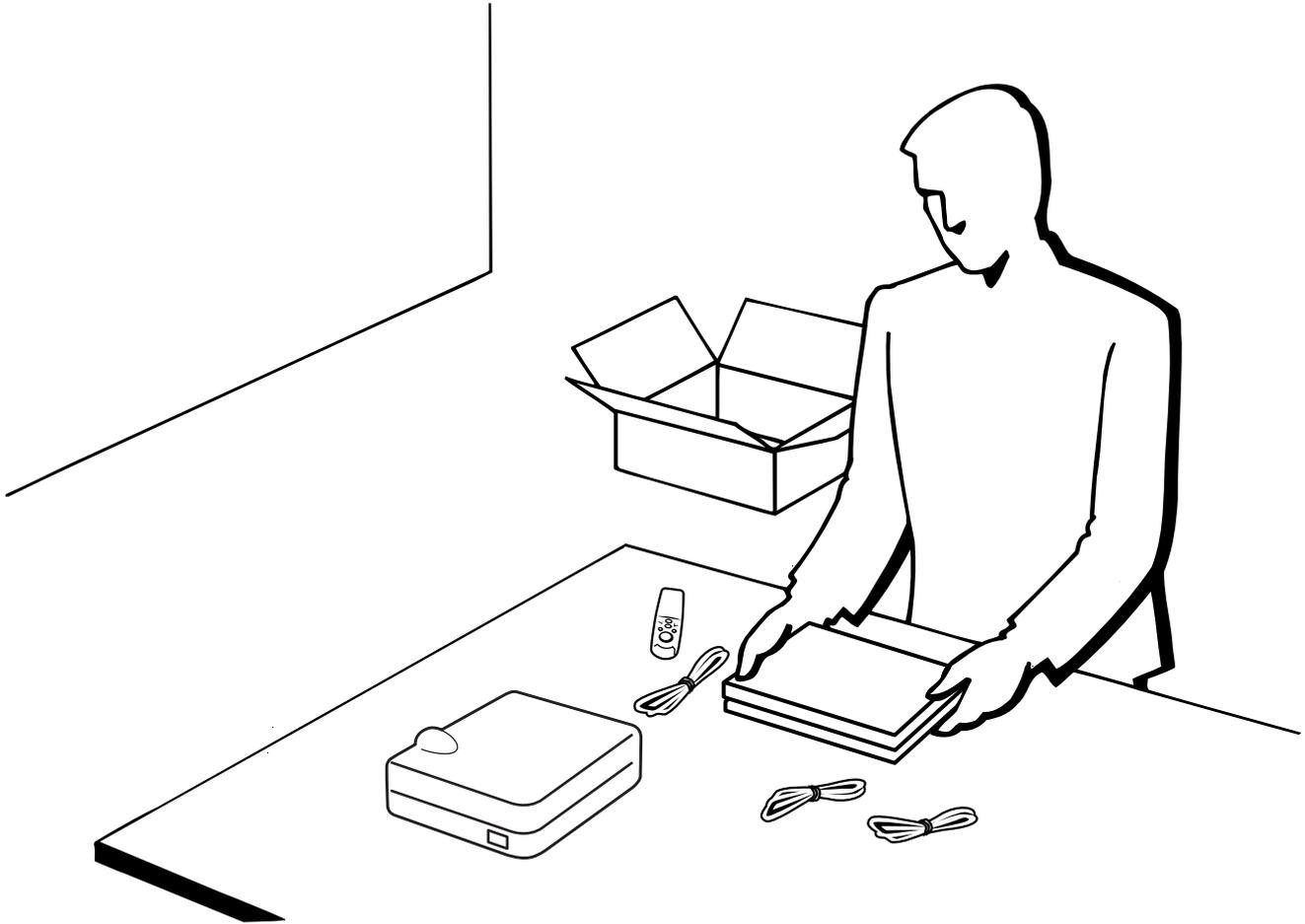
リモコンの使用上のご注意

衝撃を与えたり、水にぬらしたり、温度の高いところには置かないでください。

蛍光灯の下では、リモコンの働きが悪くなる場合があります。そのようなときは、本体を蛍光灯から離してご使用ください。



設置と接続のしかた

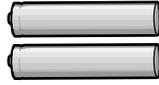




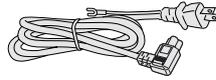
付属品を確認する



リモコン



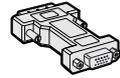
単4形乾電池(2本)



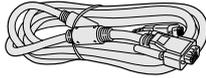
電源コード
(1.8m)



DVI/VGA変換
ケーブル(1.8m)



DVI/VGA
変換アダプター



コンピュータ
(RGB)ケーブル
(1.8m)



ビデオケーブル
(1.8m)



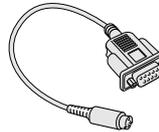
S映像ケーブル
(1.8m)



ビデオ音声ケーブル
(1.8m)



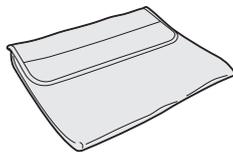
コンピュータ
音声ケーブル
(2.0m)



DIN(7ピン) D-sub
RS-232Cケーブル
(16.5cm)



USBマウスコント
ロールケーブル
(1.8m)



ソフトポーチ



本体操作パネル用
日本語ラベル

取扱説明書(本書)

保証書





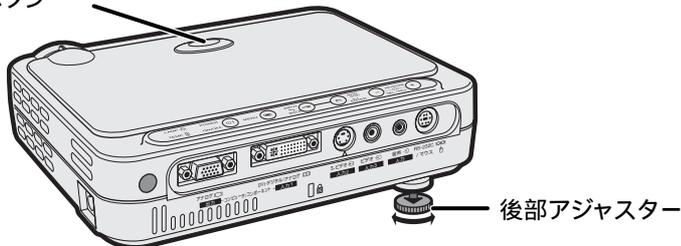
設置のしかた

アジャスターの使いかた

スクリーンに傾斜があるときや、設置面が少し傾いているときなど、アジャスターを使ってプロジェクターの傾きを微調整することができます。

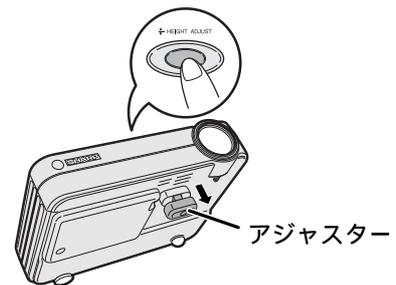
スクリーンよりプロジェクターが低いときは、傾けることで投映画面を高くすることができます。

HEIGHT ADJUST
(高さ調整)ボタン



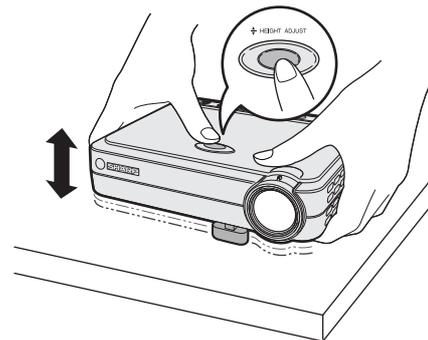
- 1 HEIGHT ADJUST(高さ調整)ボタンを押す

アジャスターが出ます。



- 2 HEIGHT ADJUST(高さ調整)ボタンを押したまま設置面にプロジェクターを押し下げ、高さを調整する

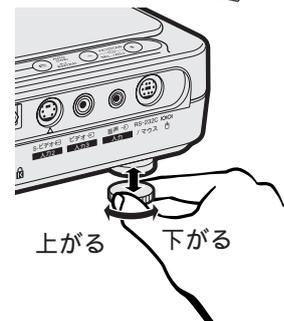
設置位置から約8度まで角度調整できます。



- 3 希望の高さになったところで、HEIGHT ADJUST(高さ調整)ボタンから手を離す

- 4 後部アジャスターをまわして水平を調整する

左後部脚を起点に±1度の範囲で調整できます。



上がる 下がる



元に戻すときは、プロジェクターをしっかりとってHEIGHT ADJUST(高さ調整)ボタンを押したまま下へおろします。プロジェクターの高さを調整した場合、プロジェクターとスクリーンの位置関係によっては、映像が歪む場合があります。

! 注意

アジャスターが伸びている状態でHEIGHT ADJUST(高さ調整)ボタンを押すときは、プロジェクターをしっかりとさえて高さを調整してください。

プロジェクターを上下するとき、レンズを持たないでください。

プロジェクターを下げるとき、プロジェクターとアジャスターの間に指をはさまないように注意してください。



設置のしかた(つづき)

スクリーンを設置する

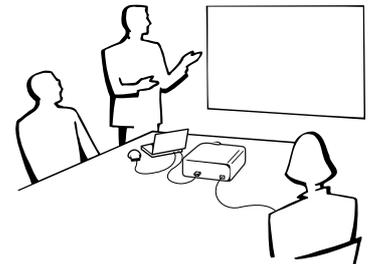
プロジェクターを水平な状態にして(アジャスターを使わない状態)スクリーンに対して垂直に設置してください。この状態で最良の映像が得られます。



プロジェクターのレンズがスクリーンの中心にくるように設置してください。レンズの中心を通る水平ラインが、スクリーンに対して垂直になっていないと、映像が歪んでしまい、見にくくなります。スクリーンを直射日光や照明の光のあたる場所に設置しないでください。スクリーンに直接あたる光で画面が白っぽくなり、見にくくなります。明るい光が入る部屋では、カーテンを引いて、照明を暗くしてください。このプロジェクターは偏光スクリーン対応ではありません。

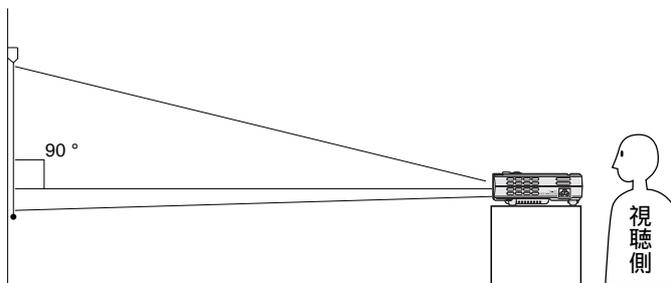
基本的な設置(前面からの投映)

投映したい画面サイズに合わせて、スクリーンから必要な距離をとってプロジェクターを設置してください。(19・20ページ表参照)



基本設置例

横から見たとき



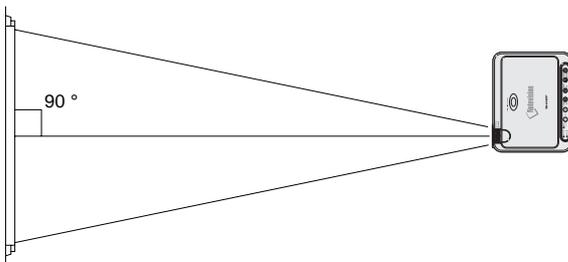
スクリーンからプロジェクターまでの距離は、スクリーンの大きさによって変わります。

19・20ページ

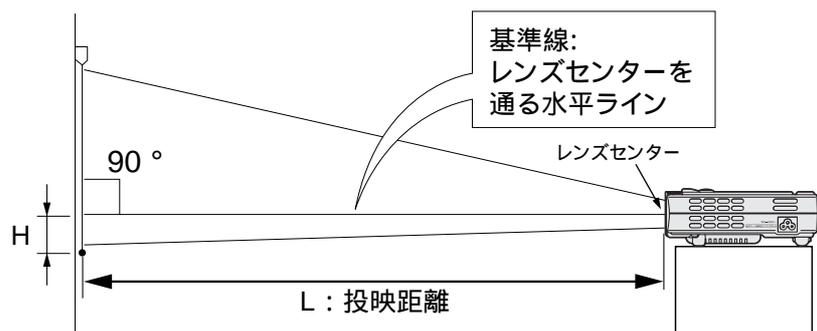
スクリーンの正面にプロジェクターを設置する場合は、工場出荷時の設定のまま投映できません。投映した画面の上下左右が反転している場合は、「投映方式」のサブメニューで、フロントに設定しなおしてください。

66ページ

上から見たとき



レンズの中心を通る水平ラインが、スクリーンに対して垂直になるように、プロジェクターを設置してください。



【PG-M15XJの場合】

4:3ズームモード(コンピュータ入力時は、標準モード表示となります。)54ページ参照

画面サイズ			投射距離(L)		レンズセンター位置から画面の 最下端までの距離(H)
対角(型)	幅(m)	高さ(m)	L1: 最長(m)	L2: 最短(m)	
250	約5.1	約3.8	12.2	10.2	-43.3
200	約4.1	約3.0	9.8	8.1	-34.6
150	約3.0	約2.8	7.3	6.1	-26.0
120	約2.4	約1.8	5.9	4.9	-20.8
110	約2.2	約1.7	5.4	4.5	-19.0
100	約2.0	約1.5	4.9	4.1	-17.3
80	約1.6	約1.2	3.9	3.3	-13.8
60	約1.2	約0.9	2.9	2.4	-10.4
40	約0.8	約0.6	2.0	1.6	-6.9
30	約0.6	約0.5	1.5	1.2	-5.2

画面サイズと投射距離の近似式

$$L1 = 0.04875x$$

$$L2 = 0.04064x$$

$$H = -0.173$$

以下の項目は各モード共通

x : 画面サイズ(対角)(型)

L1 : 最長投射距離(m)

L2 : 最短投射距離(m)

H : レンズセンター位置から画面の
最下端までの距離(H)(cm)

16:9 スクイーズ(フル)モード

画面サイズ			投射距離(L)		レンズセンター位置から画面の 最下端までの距離(H)
対角(型)	幅(m)	高さ(m)	L1: 最長(m)	L2: 最短(m)	
230	約5.1	約2.9	12.2	10.2	-91.1
200	約4.4	約2.5	10.6	8.9	-79.2
150	約3.3	約1.9	8.0	6.6	-59.4
120	約2.7	約1.5	6.4	5.3	-47.5
110	約2.4	約1.4	5.8	4.9	-43.6
100	約2.2	約1.2	5.3	4.4	-39.6
80	約1.8	約1.0	4.3	3.5	-31.7
60	約1.3	約0.7	3.2	2.7	-23.8
40	約0.9	約0.5	2.1	1.8	-15.8
30	約0.7	約0.4	1.6	1.3	-11.9

画面サイズと投射距離の近似式

$$L1 = 0.05315x$$

$$L2 = 0.04428x$$

$$H = -0.396x$$

4:3 標準モード

画面サイズ			投射距離(L)		レンズセンター位置から画面の 最下端までの距離(H)
対角(型)	幅(m)	高さ(m)	L1: 最長(m)	L2: 最短(m)	
180	約3.7	約2.7	11.7	9.8	-87.2
150	約3.0	約2.3	9.8	8.1	-72.7
120	約2.4	約1.8	7.8	6.5	-58.1
110	約2.2	約1.7	7.2	6.0	-53.3
100	約2.0	約1.5	6.5	5.4	-48.4
90	約1.8	約1.4	5.9	4.9	-43.6
80	約1.6	約1.2	5.2	4.3	-38.8
60	約1.2	約0.9	3.9	3.3	-29.1
40	約0.8	約0.6	2.6	2.2	-19.4
30	約0.6	約0.5	2.0	1.6	-14.5

画面サイズと投射距離の近似式

$$L1 = 0.06504x$$

$$L2 = 0.05419x$$

$$H = -0.4844x$$

! 注意

近似式には±3%の誤差があります。

表中に-(マイナス記号)がついた値はレンズの中心の距離がスクリーンの下になることを示します。





設置のしかた(つづき)

〔PG-M15SJの場合〕

4:3ズームモード(コンピュータ入力時は、標準モード表示となります。)54ページ参照

画面サイズ			投射距離(L)		レンズセンター位置から画面の 最下端までの距離(H)
対角(型)	幅(m)	高さ(m)	L1: 最長(m)	L2: 最短(m)	
250	約5.1	約3.8	12.7	10.7	- 44.8
200	約4.1	約3.0	10.2	8.5	- 35.8
150	約3.0	約2.8	7.6	6.4	- 26.9
120	約2.4	約1.8	6.1	5.1	- 21.5
110	約2.2	約1.7	5.6	4.7	- 19.7
100	約2.0	約1.5	5.1	4.3	- 17.9
80	約1.6	約1.2	4.1	3.4	- 14.3
60	約1.2	約0.9	3.0	2.6	- 10.7
40	約0.8	約0.6	2.0	1.7	- 7.2
30	約0.6	約0.5	1.5	1.3	- 5.4

画面サイズと投射距離の近似式

$$L1 = 0.05080x$$

$$L2 = 0.04269x$$

$$H = - 0.1729$$

以下の項目は各モード共通

x : 画面サイズ(対角)(型)
 L1 : 最長投射距離(m)
 L2 : 最短投射距離(m)
 H : レンズセンター位置から画面の
 最下端までの距離(H)(cm)

16:9 スクイーズ(フル)モード

画面サイズ			投射距離(L)		レンズセンター位置から画面の 最下端までの距離(H)
対角(型)	幅(m)	高さ(m)	L1: 最長(m)	L2: 最短(m)	
230	約5.1	約2.9	12.7	10.7	- 92.6
200	約4.4	約2.5	11.1	9.3	- 80.5
150	約3.3	約1.9	8.3	7.0	- 60.4
120	約2.7	約1.5	6.6	5.6	- 48.3
110	約2.4	約1.4	6.1	5.1	- 44.3
100	約2.2	約1.2	5.5	4.7	- 40.3
80	約1.8	約1.0	4.4	3.7	- 32.2
60	約1.3	約0.7	3.3	2.8	- 24.2
40	約0.9	約0.5	2.2	1.9	- 16.1
30	約0.7	約0.4	1.7	1.4	- 12.1

画面サイズと投射距離の近似式

$$L1 = 0.05535x$$

$$L2 = 0.04651x$$

$$H = - 0.4027x$$

4:3 標準モード

画面サイズ			投射距離(L)		レンズセンター位置から画面の 最下端までの距離(H)
対角(型)	幅(m)	高さ(m)	L1: 最長(m)	L2: 最短(m)	
180	約3.7	約2.7	12.2	10.2	- 88.7
150	約3.0	約2.3	10.2	8.5	- 73.9
120	約2.4	約1.8	8.1	6.8	- 59.1
110	約2.2	約1.7	7.5	6.3	- 54.2
100	約2.0	約1.5	6.8	5.7	- 49.3
90	約1.8	約1.4	6.1	5.1	- 44.4
80	約1.6	約1.2	5.4	4.6	- 39.4
60	約1.2	約0.9	4.1	3.4	- 29.6
40	約0.8	約0.6	2.7	2.3	- 19.7
30	約0.6	約0.5	2.0	1.7	- 14.8

画面サイズと投射距離の近似式

$$L1 = 0.06774x$$

$$L2 = 0.05692x$$

$$H = - 0.4928x$$

! 注意

近似式には±3%の誤差があります。

表中に-(マイナス記号)がついた値はレンズの中心の距離がスクリーンの下になることを示します。

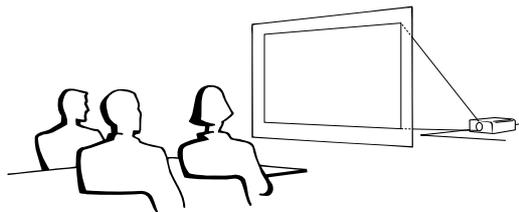
反転映像を投映するとき

スクリーン背後からの投映

透過型スクリーンをプロジェクターと視聴者の間に設置してください。

メニューの投映方式を「リア」に設定して、画面の左右を反転してください。(66 ページ参照)

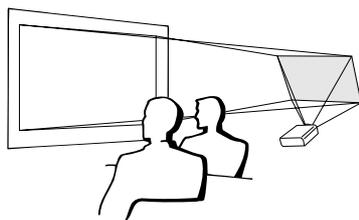
天井に取り付けた状態で、透過型スクリーンを使用したときは、「天吊り+リア」に設定してください。



ミラーを使った投映

レンズの正面にミラー(表面鏡)を設置してください。

視聴者側にミラーを置くときは、メニューの投映方式を「リア」に設定して、画面の左右を反転してください。(66 ページ参照)



注意

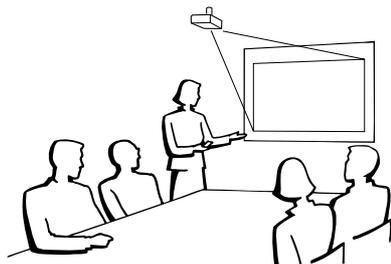
ミラーを使用する場合は、プロジェクターとミラーの位置に注意して、視聴者の目に光が入らないようにしてください。

天井取り付けによる投映

天井に取り付ける場合は、別売の取り付けユニットおよび取り付けアダプタが必要です。また、取り付けの際は、必ずお買いあげの販売店にご相談ください。

プロジェクターを天井に設置するときは、19・20 ページのレンズセンター位置から画面の最下端までの距離(H)に合わせて設置位置を決めてください。

メニューの投映方式を「天吊り」に設定して、画面の上下を反転してください。



画面表示 工場出荷時の設定で投映すると...



映像の左右を反転します

画面表示 工場出荷時の設定で投映すると...



映像の左右を反転します

画面表示 工場出荷時の設定で投映すると...



映像の上下を反転します



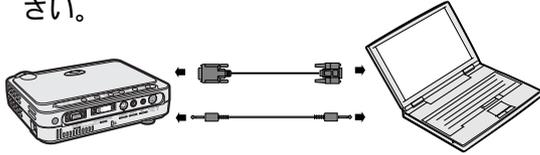


接続のしかた

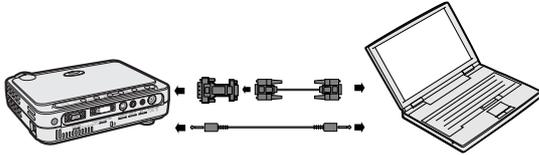
接続例

コンピュータとの接続

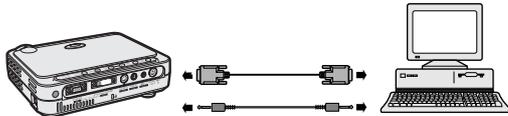
付属の DVI/VGA 変換ケーブルを使って接続します。くわしくは 23 ページをご覧ください。



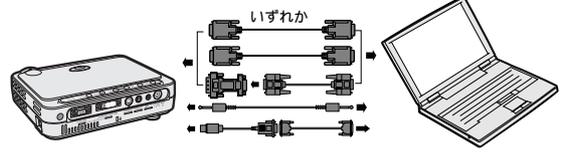
付属の DVI/VGA 変換アダプターとコンピュータ(RGB)ケーブルを使って接続します。くわしくは 24 ページをご覧ください。



別売の DVI デジタルケーブルを使って接続します。くわしくは 25 ページをご覧ください。

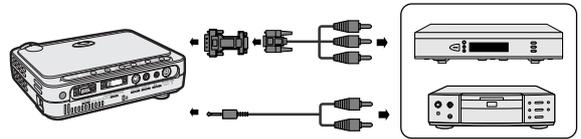


RS-232C ケーブルを使って接続すると、コンピュータからプロジェクターを操作(制御)できます。くわしくは 26 ページをご覧ください。

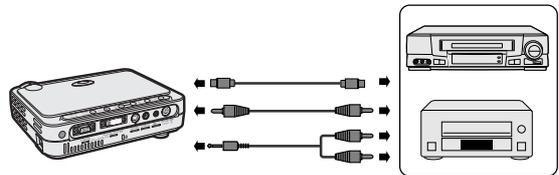


ビデオ、オーディオ機器との接続

別売の D-sub/RCA ケーブルを使って DVD やデジタルビデオ等と接続します。詳しくは 27 ページをご覧ください。



付属のビデオケーブルやビデオ音声ケーブルを使って DVD やデジタルビデオ等と接続します。くわしくは 28・29 ページをご覧ください。



メモ

別売品コンピュータ(RGB)ケーブル(線長 10m)のご案内

- ・ AN-C10BM
IBM-PC 系・PC-9821 系・PC-98NX 系用
- ・ AN-C10PC
PC98 系(PC-9821 系・PC-98NX 系除く)用

パソコン側の接続端子の変更等により、そのままでは接続できない場合がありますので、パソコンの仕様をご確認ください。変換コネクタ(市販品)が必要な場合があります。

別売品 DVI デジタルケーブル(3m)のご案内

- ・ AN-C3DV

別売品 RS-232C ケーブル(線長 10m)のご案内

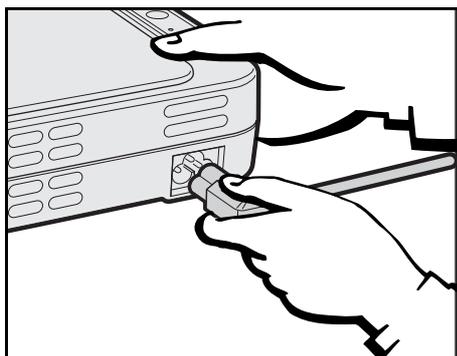
- ・ AN-C10RS(クロス・メス・メスタイプ)

別売品 D-sub/RCA ケーブルのご案内

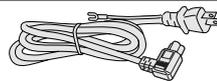
- ・ AN-C3CP

電源コードを接続する

プロジェクターの側面にある AC 電源ソケットに付属の電源コードを接続します。

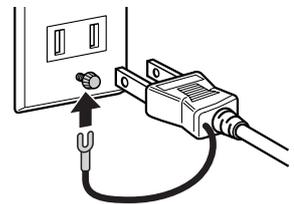


付属品



電源コード

- ・ 電源コードをコンセントに差し込む前に、必ずアースコードを取り付けてください。
- ・ アースコードを取り外すときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いた後行ってください。



コンピュータと接続する

接続を始める前に、必ずコンピュータの電源を切ってください。すべての接続が終わったあとで、プロジェクターおよび周辺機器の電源を先に入れ、一番最後にコンピュータの電源を入れます。
接続の際は、コンピュータの取扱説明書をよくお読みください。

！ 注意

対応しているコンピュータの表示モードについてくわしくは、73ページの一覧表をご覧ください。一覧表に記載のない表示モードで使用すると、本製品の機能の一部が使用できない場合があります。

付属のDVI/VGA変換ケーブルを使って接続する

- 1 DVI/VGA変換ケーブルの一方をプロジェクターの入力1端子に接続します
- 2 DVI/VGA変換ケーブルのもう一方をコンピュータのRGB出力端子に接続します。
- 3 音声を入力する場合は、付属のコンピュータ音声ケーブルをプロジェクターの音声入力端子に接続します。(音声入力端子は、入力1/入力2(S-ビデオ)/入力3(ビデオ)共用端子です。)
- 4 コンピュータ音声ケーブルのもう一方をコンピュータの音声出力端子に接続します。

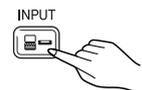
メモ

Macintoshと接続する場合、コンピュータケーブルにアダプタが必要になる場合があります。販売店または、シャープお客様ご相談窓口へお問い合わせください。

本機は「プラグ&プレイ」機能を搭載しています。くわしくは24ページの「本機は「プラグ&プレイ」機能を搭載しています(入力1端子に接続する)」を参照ください。

映像を投映するときは

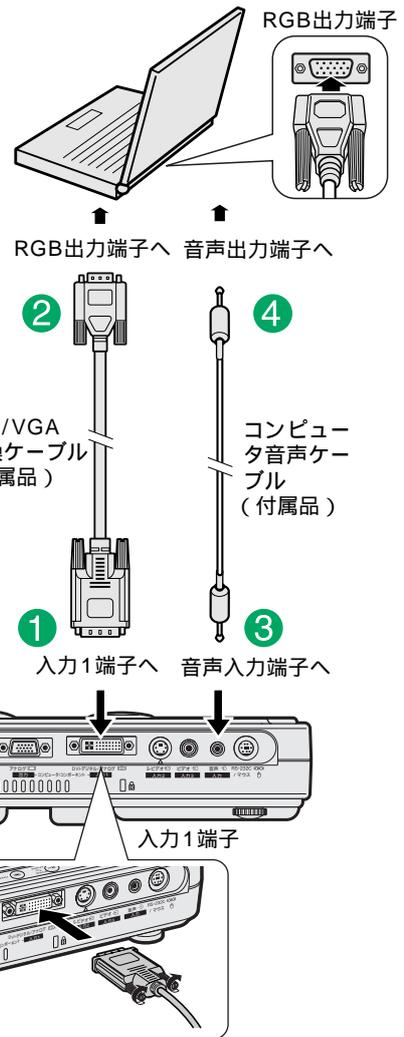
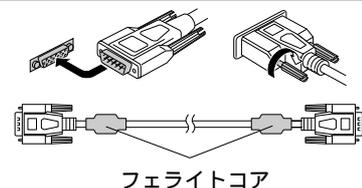
この方法で接続したときは、リモコンのINPUT(入力切換)ボタンを押して、入力信号タイプを「入力(コンピュータ/RGB)」に切り換えてください。



固定ネジ付きケーブルの取り扱いについて

固定ネジ付きケーブルは、端子の形状を合わせて差し込み、両端のネジでしっかりと固定してください。

コンピュータ(RGB)ケーブルについているフェライトコアは、電気用品取締法基準に適合するために必要なものですので、絶対に取り外さないでください。

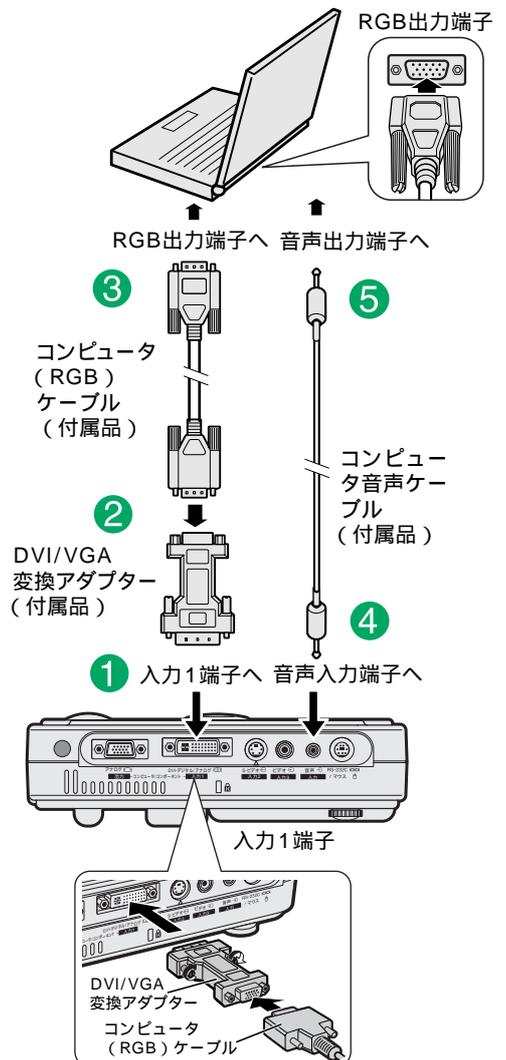




接続のしかた(つづき)

付属のDVI/VGA変換アダプターと付属のコンピュータ(RGB)ケーブルを使って接続する

- 1 DVI/VGA変換アダプターをプロジェクターの入力1端子に接続します。
- 2 コンピュータ(RGB)ケーブルの一方をDVI/VGA変換アダプターに接続します。
- 3 コンピュータ(RGB)ケーブルのもう一方をコンピュータのRGB出力端子に接続します。
- 4 音声を入力する場合は、付属のコンピュータ音声ケーブルをプロジェクターの音声入力端子に接続します。(音声入力端子は、入力1/入力2(S-ビデオ)/入力3(ビデオ)共用端子です。)
- 5 コンピュータ音声ケーブルのもう一方をコンピュータの音声出力端子に接続します。

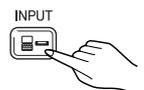


メモ

Macintoshと接続する場合、コンピュータケーブルにアダプタが必要になる場合があります。販売店または、シャープお客様ご相談窓口へお問い合わせください。

映像を投映するときは

この方法で接続したときは、リモコンのINPUT(入力切替)ボタンを押して、入力信号タイプを「入力(コンピュータ/RGB)」に切り換えてください。



本機は「プラグ&プレイ」機能を搭載しています(入力1端子に接続する)

本機はVSEA-standard DDC 1/DDC 2Bに準拠しています。本機とVESA DDC準拠のコンピュータでは、設定内容を送受信(通信)しますので、早く簡単にセットアップすることができます。

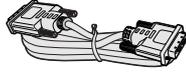
「プラグ&プレイ」機能を使用する前には、かならずプロジェクターの電源を先に入れてから、接続したコンピュータの電源を入れてください。

メモ

本機のDDCプラグ&プレイ機能はVESA DDC互換コンピュータを接続した場合のみ操作できます。

別売のDVIデジタルケーブル「AN-C3DV」を使って接続する

別売品

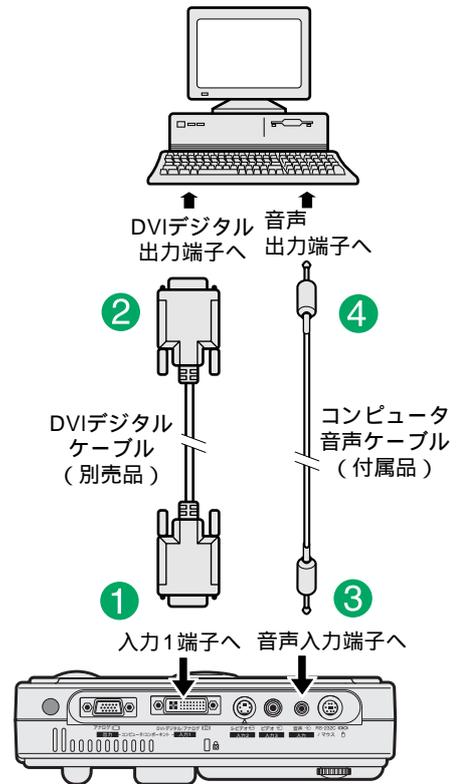


DVIデジタルケーブル
形名：AN-C3DV

- 1 DVIデジタルケーブルの一方をプロジェクターの入力1(DVIデジタル)端子に接続します。
- 2 DVIデジタルケーブルのもう一方をコンピュータのデジタル出力端子に接続します。
- 3 音声を入力する場合は、コンピュータ音声ケーブルを使ってプロジェクターの音声入力端子に接続します。(音声入力端子は、入力1/入力2(S-ビデオ)/入力3(ビデオ)共用端子です。)
- 4 もう一方をコンピュータの音声出力端子に接続します。

! 注意

このDVI端子はDVIバージョン1.0に対応しています。コピーガードシステムに対応しているシステム(DVIバージョン2.0)を接続した場合、信号を受信できません。



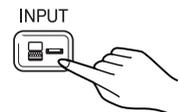
設置と接続のしかた



接続のしかた(つづき)

映像を投映するときは

この方法で接続したときは、リモコンのINPUT(入力切替)ボタンを押して、入力信号タイプを「入力(DV(デジタル))」に切り換えてください。



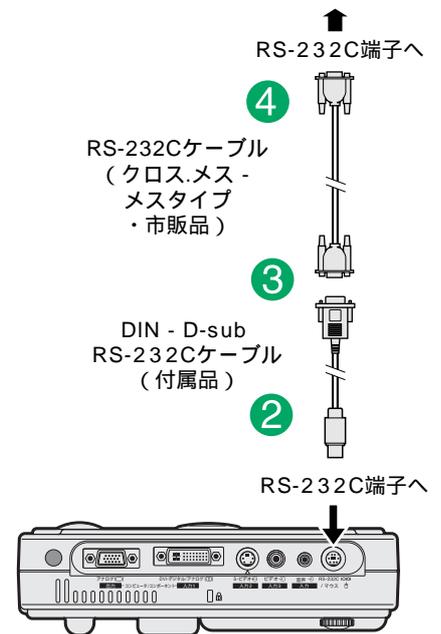


接続のしかた(つづき)

シリアル(RS-232C)端子へ接続する

市販のRS-232Cケーブル(クロスタイプ)を使って、プロジェクターのRS-232C端子とコンピュータのシリアル(RS-232C)ポートを接続すると、コンピュータからプロジェクターを操作することができます。くわしくは72ページをご覧ください。

- ① あらかじめ、23～25ページのいずれかの接続をしておきます。
- ② 付属のDIN - D-Sub RS-232Cケーブルの一方をプロジェクターのRS-232C端子に接続します。
- ③ DIN - D-Sub RS-232Cケーブルのもう一方に、市販のRS-232Cケーブル(クロスタイプ)を接続します。
- ④ 市販のRS-232Cケーブルのもう一方をコンピュータのRS-232C端子に接続します。



注意

RS-232Cケーブルを接続するときは

コンピュータの電源が入っているときには、コンピュータにRS-232Cケーブルを接続したり、外したりしないでください。電源を切るときは、必ずプロジェクターの電源を先に切ってから、接続したコンピュータの電源を切ってください。

DIN - D-sub RS-232Cケーブル以外は接続しないでください。

パソコン側のRS-232C端子以外には接続しないでください。コンピュータまたはプロジェクターが破損する恐れがあります。

メモ

コンピュータポートが正しく設定されていないと、コンピュータからプロジェクターを操作するなどの機能が正しく動作しないことがあります。

Macintoshコンピュータを接続する場合、アダプタが必要になる場合があります。くわしくは販売店にご相談ください。

ビデオ機器と接続する

本機は、BS デジタルチューナー・DVD プレーヤー・ビデオ・レーザーディスクプレーヤー・その他の AV 機器と接続することができます。

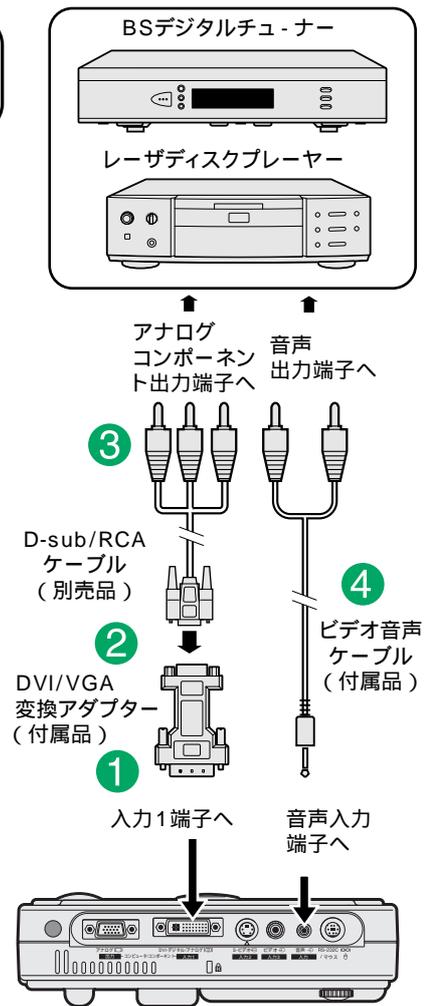
！ 注意

ビデオ機器を接続するときは、プロジェクターとビデオ機器の両方の電源を切ってから接続してください。

BSデジタルチューナーやDVDプレーヤーなどを別売のD-sub/RCAケーブルを使って入力1(コンポーネント)端子および音声入力端子に接続する

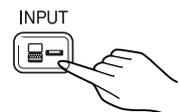


- 1 付属のDVI/VGA変換アダプターをプロジェクターの入力1端子に接続します。
- 2 D-sub/RCAケーブルのVGA端子側をDVI/VGA変換アダプターに接続します。
- 3 D-sub/RCAケーブルのRCA端子をビデオ機器のコンポーネント端子に接続します。
- 4 付属のビデオ音声ケーブルでプロジェクターの音声入力端子とビデオ機器の音声出力端子を接続します。(音声入力端子は、入力1/入力2(S-ビデオ)/入力3(ビデオ)共用端子です。)



映像を投映するときは

本機の入力1端子にBSデジタルチューナーやDVDプレーヤーなどをコンポーネント接続したときは、リモコンのINPUT(入力切替)ボタンを押して、入力信号タイプを「入力(色差入力)」に切り換えてください。



お知らせ

本機の入力1端子に入力できるコンポーネント(色差)信号は525iです。接続する機器のコンポーネント(色差)信号が525i以外に設定されているときは、525iに設定し直してください。信号の設定は、接続する機器の取扱説明書をご覧ください。





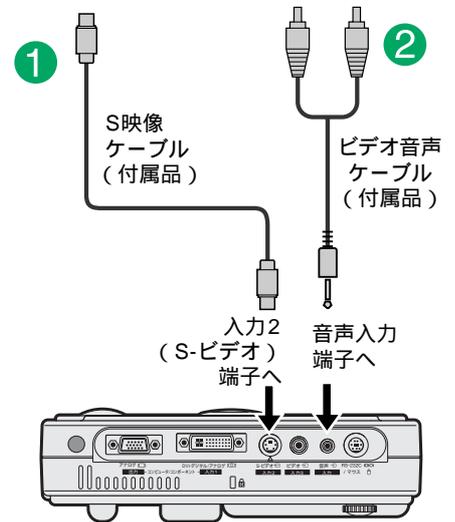
接続のしかた(つづき)

ビデオ・レーザーディスクプレーヤー・その他のAV機器を付属のS映像ケーブルを使って入力2端子および音声入力端子に接続する

- 1 S映像出力端子付きのビデオ機器と接続するときは、付属のS映像ケーブルでプロジェクターの入力2(S-ビデオ)端子とビデオ機器のS-ビデオ出力端子を接続します。
- 2 付属のビデオ音声ケーブルでプロジェクターの音声入力端子とビデオ機器の音声出力端子を接続します。
(音声入力端子は、入力1/入力2(S-ビデオ)/入力3(ビデオ)共用端子です。)

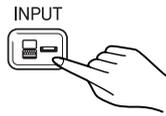


Sビデオ出力端子へ 音声出力端子へ



映像を投映するときは

リモコンのINPUT(入力切換)ボタンを押して、入力信号タイプを「入力2(S-ビデオ)」に切り換えてください。



注意

S映像 / 映像出力端子の両方が付いている機器を接続するときは、S映像ケーブルで接続することをおすすめします。

S映像 / 映像出力の両方を接続しないでください。

メモ

お持ちのビデオ機器にS映像出力端子がない場合、次ページを参照してビデオ出力端子をお使いください。

S-ビデオ入力端子とビデオ入力端子は独立しています。(音声入力は共用)



ビデオ・レーザーディスクプレーヤー・その他のAV機器を付属のビデオケーブルを使って入力3端子および音声入力端子に接続する

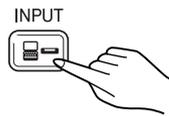
- 1 映像出力端子(RCAピン)付きのビデオ機器と接続するときは、付属のビデオケーブルでプロジェクターの入力3(ビデオ)端子とビデオ機器のビデオ出力端子を接続します。
- 2 付属のビデオ音声ケーブルでプロジェクターの音声入力端子とビデオ機器の音声出力端子を接続します。
(音声入力端子は、入力1/入力2(S-ビデオ)/入力3(ビデオ)共用端子です。)



ビデオ出力端子へ 音声出力端子へ

映像を投映するときは

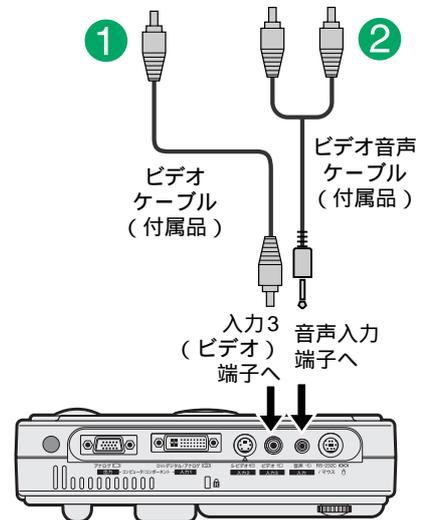
リモコンのINPUT(入力切換)ボタンを押して、入力信号タイプを「入力3(ビデオ)」に切り換えてください。



! 注意

S映像/映像出力端子の両方が付いている機器を接続するときは、前ページを参照してS映像ケーブルで接続することをおすすめします。

S映像/映像出力の両方を接続しないでください。



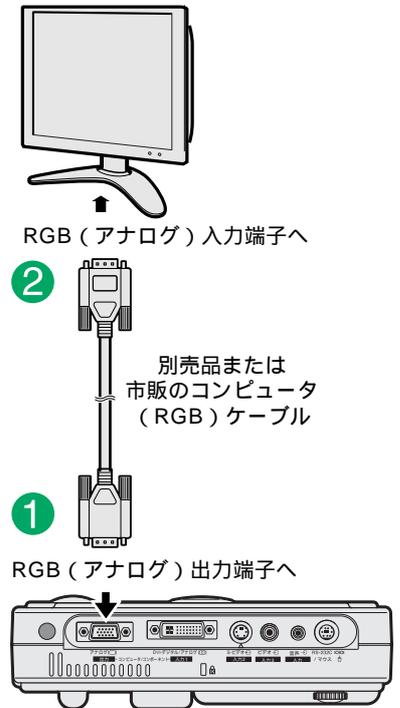


接続のしかた(つづき)

モニターへ接続する

プロジェクターの出力端子から RGB 入力を持つモニターへ接続すると、入力 1 に接続した機器の出力をプロジェクターとモニターの両方で表示させることができます。接続は、別売品または市販のコンピュータ(RGB)ケーブルをご使用ください。

- 1 別売品または市販のコンピュータRGBケーブルの一方をプロジェクターのRGB(アナログ)出力端子に接続します。
- 2 コンピュータRGBケーブルのもう一方をモニターのRGB(アナログ)入力端子に接続します。



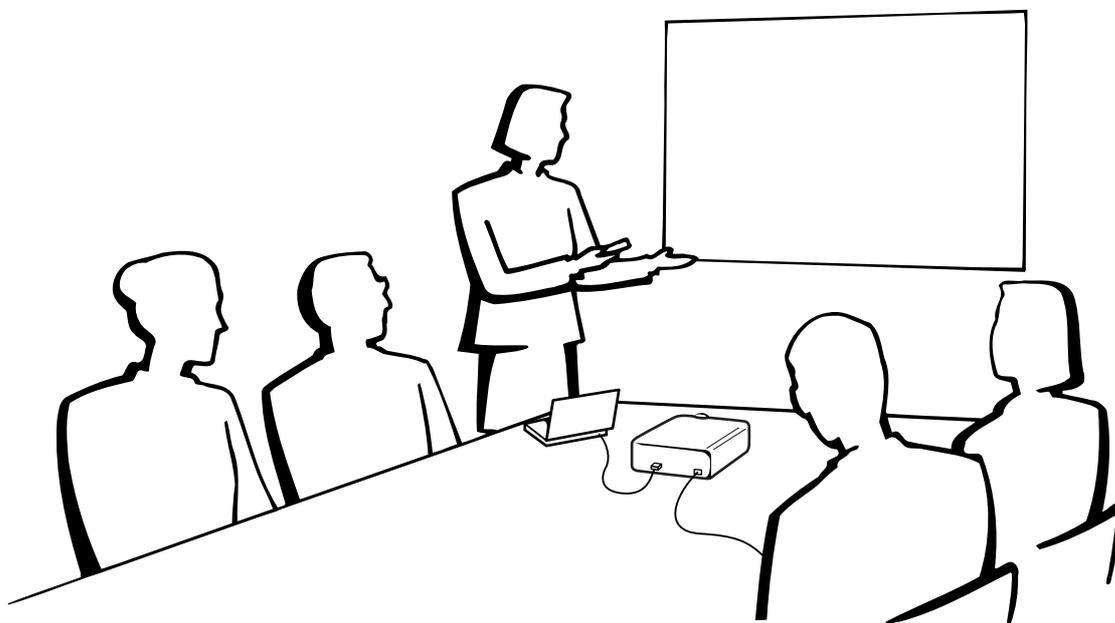
! 注意

DVI デジタル接続した機器の信号は出力されません。





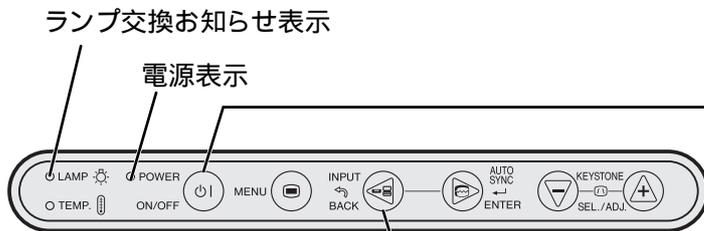
基本操作



投映のしかた

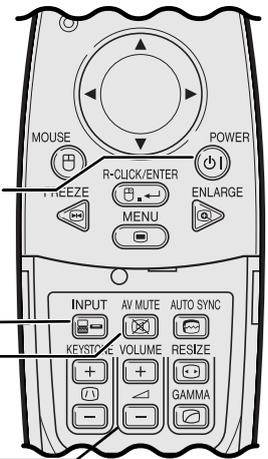
電源を入れてから切るまで

本体操作部



リモコン

POWER
(電源入/切)ボタン



INPUT(入力切替)ボタン
AV MUTE(AVミュート)ボタン

VOLUME(音量)ボタン

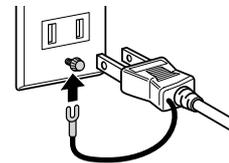
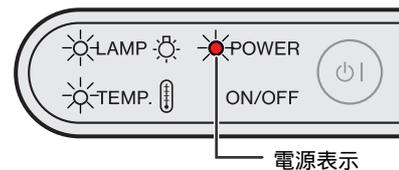
1 電源プラグをコンセントに接続する

電源表示が赤色に点灯し、冷却ファンが約5秒間動作します。その後、プロジェクターが待機状態になります。

! 注意

電源コードをコンセントに差し込む前に、必ずアースコードを取り付けてください。

本体ランプ



2 待機状態になったことを確認してPOWER(電源入/切)ボタンを押し、起動させる

電源表示が緑色で点灯します。ランプ(光源)の起動中は、ランプ交換お知らせ表示が緑色で点滅します。プロジェクターの電源を入れたあと、接続している機器の電源を入れます。

メモ

電源を切った直後に、再び電源を入れると、ランプ交換お知らせ表示が緑色で点灯するまで、多少時間がかかる場合があります。

ランプ交換お知らせ表示はランプ(光源)の状態をお知らせします。

緑色点灯：光源点灯中
緑色点滅：光源起動中 赤色点灯：ランプ交換

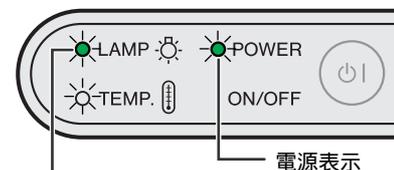
POWER



SHARP

Notevision

本体ランプ



ランプ交換お知らせ表示

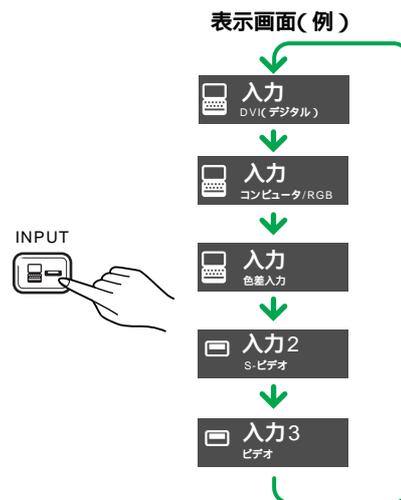
3 INPUT(入力切換)ボタンを押して、入力モードを選ぶ

メモ

信号が入力されていないと、「入力無信号」と画面表示されます。プロジェクターで再生できない信号を受けると、「判別不能」と画面表示されます。(オートサーチ(60ページ)が「ON」のときは、信号の入力されていない入力モードは、選ばません。)

画面のフォーカスが合っていない場合は、次ページの「フォーカス(ピント)調整」を行ってください。

入力切換操作を行ったときは、自動同期調整が働き、「同期調整中」と画面に表示されます。(映像によっては、同期調整に多少時間のかかる場合があります。)

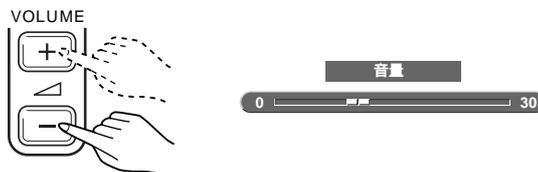


入力モードについて

入力(DV(デジタル))	入力1端子に接続したDVIデジタル信号を出す機器を投映したいとき。
入力(コンピュータ/RGB)	入力1端子に接続したRGB信号を出す機器を投映したいとき。
入力(色差入力)	入力1端子に接続した色差信号を出す機器を投映したいとき。
入力2(S-ビデオ)	Sビデオ入力端子に接続した機器を投映したいとき。
入力3(ビデオ)	ビデオ入力端子に接続した機器を投映したいとき。

4 VOLUME(音量)ボタンを押して、音量を調整する

- +を押すと音量が大きくなります。
- を押すと音量が小さくなります。



5 AV MUTE(AVミュート)ボタンを押して、一時的に映像と音を消す

もう一度AV MUTE(AVミュート)ボタンを押すと、映像を表示し、音量が元の大きさに戻ります。



6 POWER(電源入/切)ボタンを押して、確認画面が表示されている間にもう一度、POWER(電源入/切)ボタンを押して、終了させる

メモ

電源を切るとき、POWER(電源入/切)ボタンを2回押すと、電源表示が赤色に点灯し、冷却ファンが約90秒間動作します。その後、プロジェクターは待機状態になります。

操作中に間違ってPOWER(電源入/切)ボタンを押したときは、そのまま放置してください。しばらくすると確認画面が消え操作することができます。



! 注意

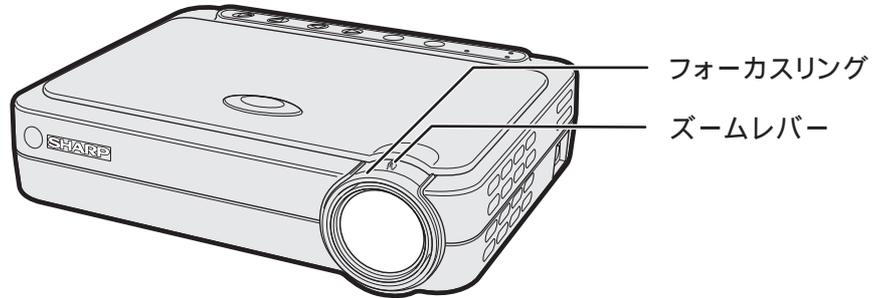
投映中および冷却ファンの動作中に、電源プラグを抜かないでください。冷却ファンも同時に止まるため、内部温度上昇により故障の原因となります。



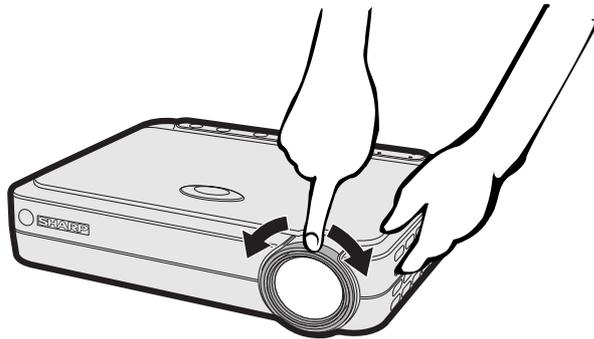
投映のしかた(つづき)

レンズ調整

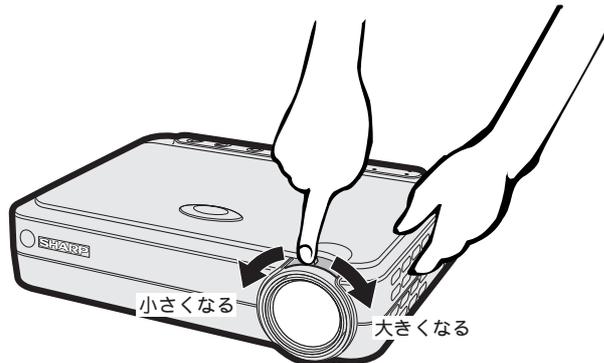
フォーカス(ピント)調整やズーム操作は本体で行います。



フォーカス(ピント)調整はフォーカスリングをまわして調整します。

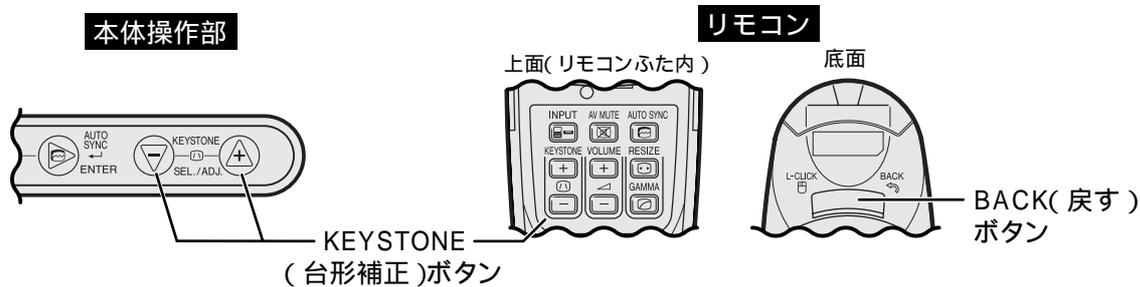


ズーム操作はズームレバーを動かして操作します。



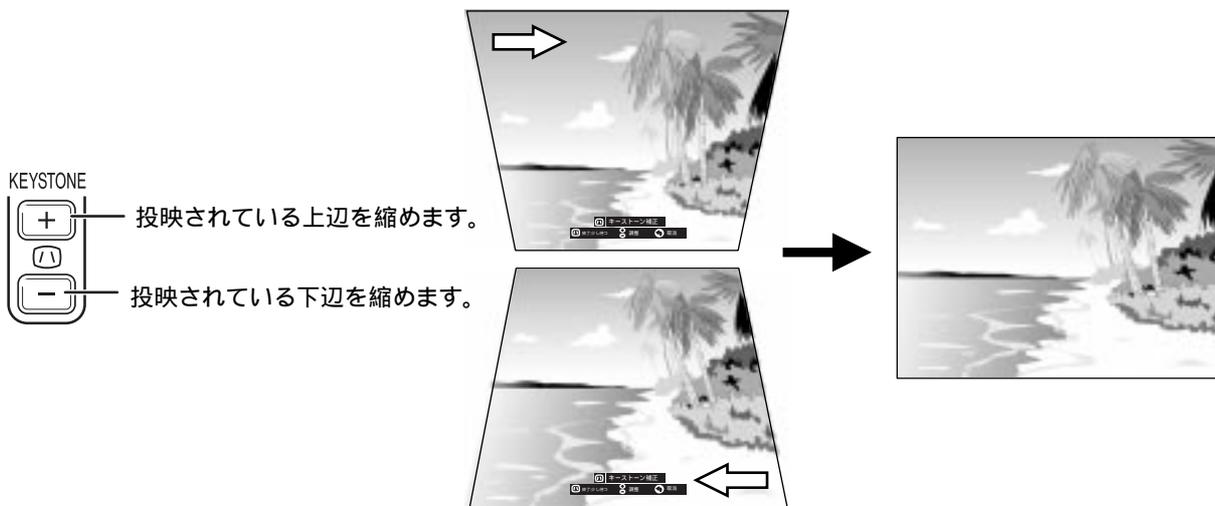
画面の台形歪みを補正する

本体操作部、リモコンを使って画面の台形歪み(デジタルキーストーン)補正が調整できます。



画面の台形歪み(デジタルキーストーン)補正とは
 映像をスクリーンに対し上下から角度を付けて投射すると映像が台形に歪みます。
 この台形を、4:3のアスペクト比を保持しながら補正するのが画面の台形歪み(デジタルキーストーン)補正です。

キーストーン補正(台形補正)調整



KEYSTONE(台形補正)ボタンを押すと、画面に補正値が表示されます。
 「キーストーン」表示が画面に表示されているときに、
 リモコンのBACK(戻す)ボタンを押すと、初期値に戻ります。

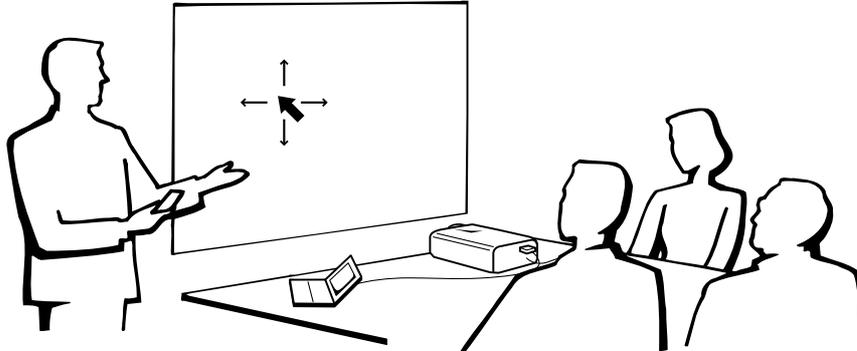


キーストーン補正調整をメニュー画面で行うこともできます。調整を行う手順は、MENU(メニュー)ボタンを押し、「オプション」を選び、さらに「キーストーン補正」を選び、▲または▼ボタンで調整します。

📄 投映のしかた(つづき)

リモコンのワイヤレスマウス機能を使用する

スクリーンに投映されたコンピュータ画面のマウス操作がリモコンで行えます。

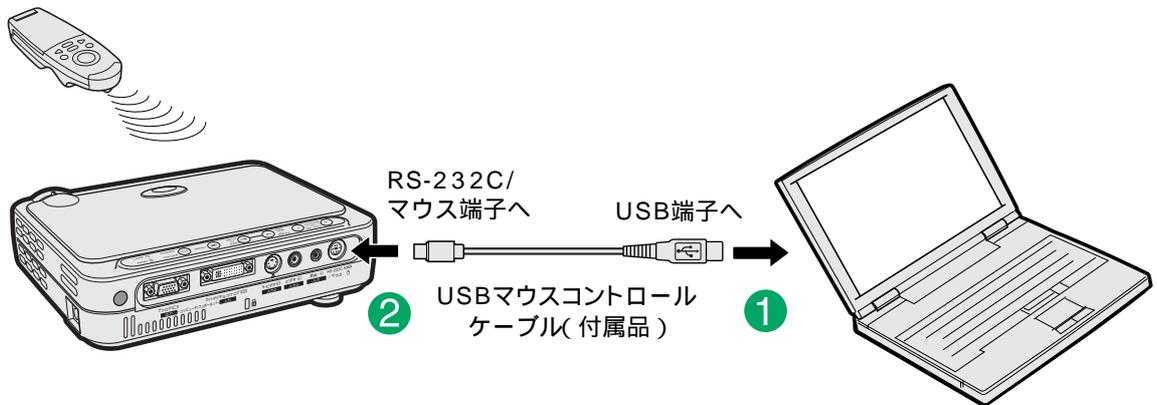


***** メモ

ワイヤレスマウス機能は、USB タイプマウス対応のコンピュータで使用できます。

パソコンとプロジェクターをUSBマウスコントロールケーブルを使って接続する

- 1 付属の USB マウスコントロールケーブルの一方をコンピュータの対応する端子に接続します。
- 2 もう一方をリモートマウスレシーバーの USB 端子に接続します。



***** メモ

IBM PC/AT 互換のパソコンをお使いで、OS が Windows95 の場合は USB をサポートしておりません。

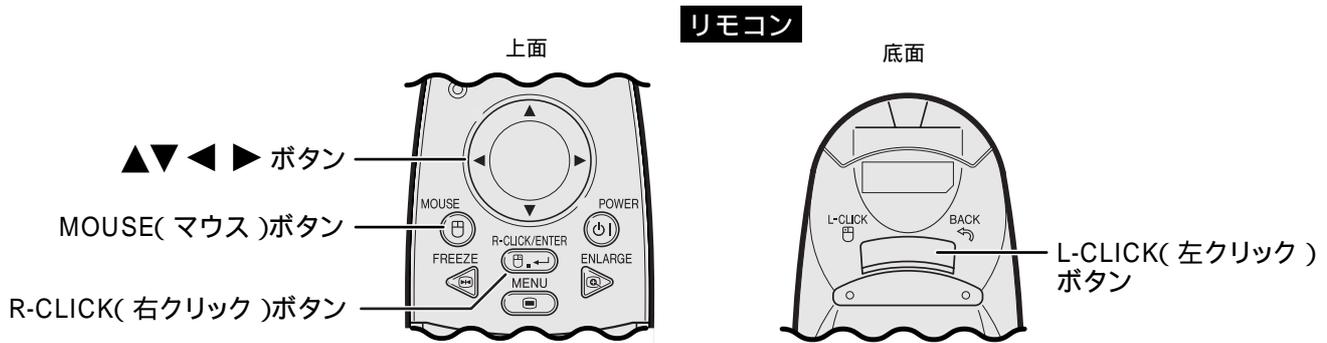
USB ポートがある Macintosh パソコンをお使いで、MacOS 8.5 以前の場合は USB をサポートしておりません。

ワイヤレスマウスとして使用する

1 MOUSE(マウス)ボタンを押す

ワイヤレスマウスモードになり、MOUSE(マウス)ボタンが約10秒間赤く点灯します。このとき、以下のボタンでマウス操作が行えます。

マウスモードで使用できるボタン



「▲」「▼」「◀」「▶」ボタンでカーソルを移動します。

R-CLICK(右クリック)、L-CLICK(左クリック)ボタンは、コンピュータの右クリック、左クリックと同じ働きをします。

メモ

ワイヤレスマウスモードは、何も操作せずに約10秒間が経過すると、自動的に解除されます。(MOUSE(マウス)ボタンも消灯します。)

ワイヤレスマウスモード中にMENU(メニュー)ボタンまたはENLARGE(拡大)ボタンが押されると、マウスモードは解除されます。

ワイヤレスマウスが正常に働かない場合は、マウスドライバーの設定を確認してください。マウスドライバーの設定はコンピュータの操作説明書をご覧ください。

クリックボタンがひとつのマウス(Macintoshなど)の場合は、L-CLICKボタンとR-CLICKボタンの両方が同じ働きをします。

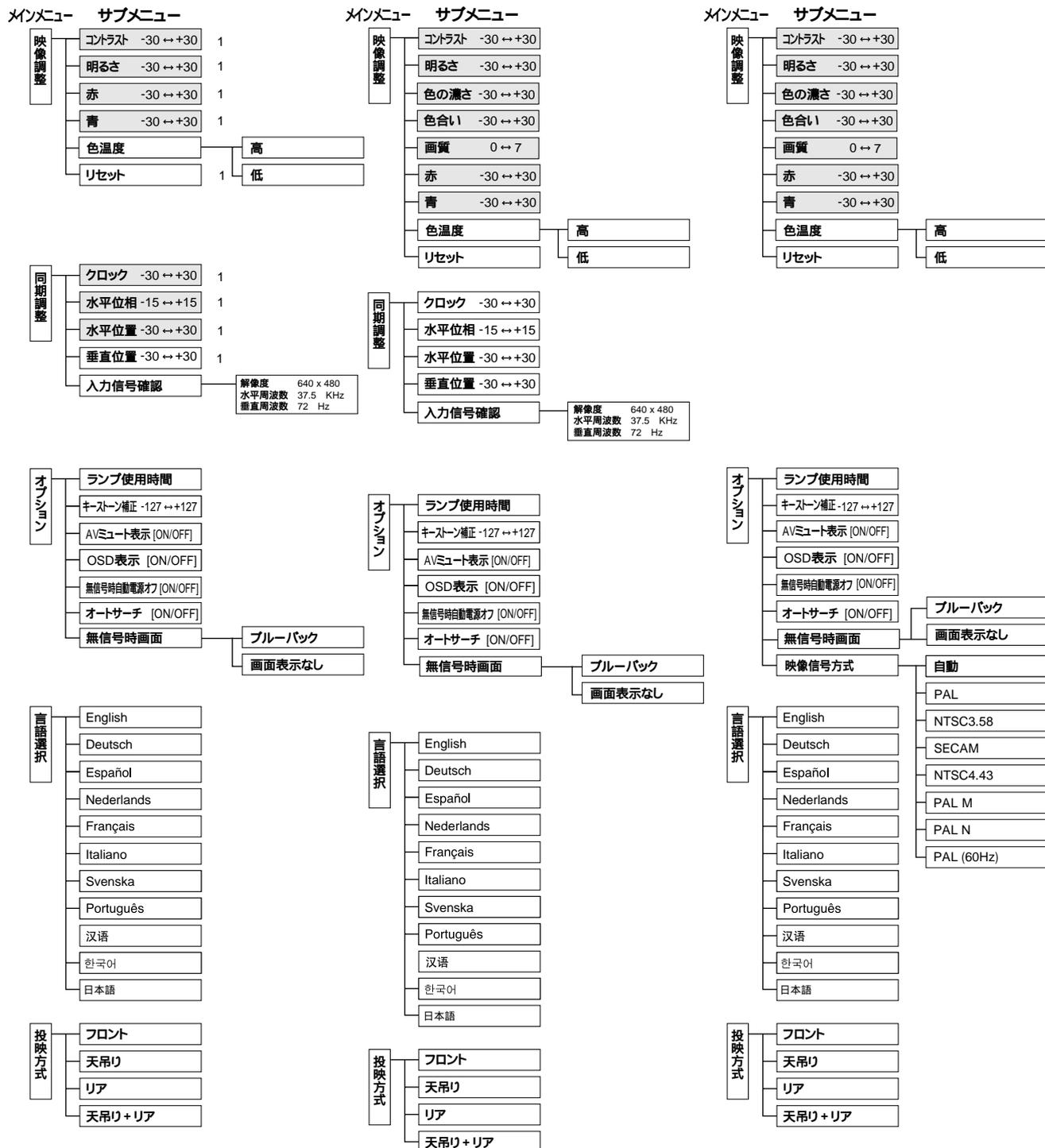
メニューの使いかた

メニュー表示内容一覧

入力 (DV(デジタル))/
(コンピュータ/RGB)

入力 (色差入力)

入力 2 (S-ビデオ) 入力 3 (ビデオ)



メモ

チャートに示された解像度・垂直周波数・水平周波数の値は例として表示しています。

チャートで網かけした項目のみが、調整できる項目です。

入力(DV(デジタル))のとき、「映像調整」メニューでは「色温度」だけが調整でき、「同期調整」メニューでは「入力信号確認」だけが実行できます。「1」印の付いたサブメニューはグレー表示になり、選択できません。

メニュー項目別の設定調整内容一覧

■内の数字は参照ページを示します。

メインメニュー	入力1モード		入力2/入力3モード
	DVI/RGB入力	色差入力	
映像調整	<ul style="list-style-type: none"> ・画像のコントラスト、明るさ、赤/青の調整 (RGB入力時) 42 ・色温度の設定 43 	<ul style="list-style-type: none"> ・画像のコントラスト、明るさ、色の濃さ、色合い、画質、赤/青の調整 44 ・色温度の設定 43 	<ul style="list-style-type: none"> ・画像のコントラスト、明るさ、色の濃さ、色合い、画質、赤/青の調整 44 ・色温度の設定 43
同期調整	<ul style="list-style-type: none"> ・手動による同期調整 画面のノイズなど映り具合の調整、映像の位置調整をします。(RGB入力時) 46 ・入力信号の確認 (RGB入力時) 50 	<ul style="list-style-type: none"> ・入力信号の確認 50 	
オプション	<ul style="list-style-type: none"> ・画面の台形歪み (キーストーン補正) 35 ・AVミュートOSD表示の設定 57 ・画面表示 (OSD) の設定 58 ・無信号時自動電源オフの設定 59 ・オートサーチの設定 60 ・無信号時の画面の設定 62 ・ランプ使用時間の表示 68 		<ul style="list-style-type: none"> ・画面の台形歪み (キーストーン補正) 35 ・映像信号方式 (PAL、SECAM等) の設定 48 ・AVミュートOSD表示の設定 57 ・画面表示 (OSD) の設定 58 ・無信号時自動電源オフの設定 59 ・オートサーチの設定 60 ・無信号時の画面の設定 62 ・ランプ使用時間の表示 68
言語選択	<ul style="list-style-type: none"> ・入力表示やメニューで使用する言語の選択 64 		<ul style="list-style-type: none"> ・入力表示やメニューで使用する言語の選択 64
投映方式	<ul style="list-style-type: none"> ・投映方式の切換え (天吊りやミラー設置、透過型スクリーン使用時などに) 66 		<ul style="list-style-type: none"> ・投映方式の切り換え (天吊りやミラー設置・透過型スクリーン使用時などに) 66

メニューの使いかた(つづき)

このプロジェクターでは、投映画面の調整やいろいろな設定をメニュー画面を使って行います。

入力(コンピュータ/RGB)モードのメニュー画面例



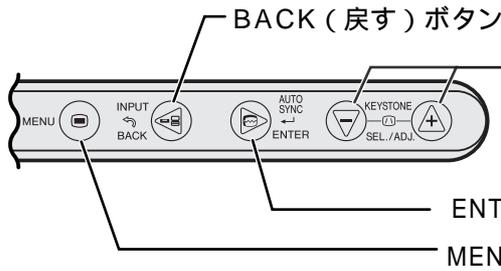
MENUボタンで終了します | BACKボタンで戻ります
 ▲▼ボタンで選択します | ENTERボタンで決定します

入力(色差入力)モード、入力2(S-ビデオ)・入力3(ビデオ)モードのメニュー画面例

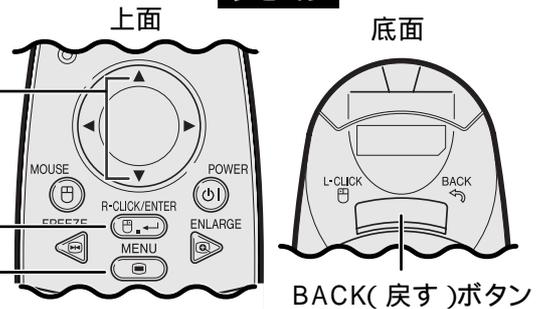


メニューの基本操作

本体操作部

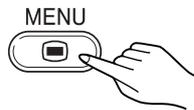


リモコン



表示画面

- 1 MENU(メニュー)ボタンを押す



各入力モードに合ったメインメニュー画面が表示されます。



メモ

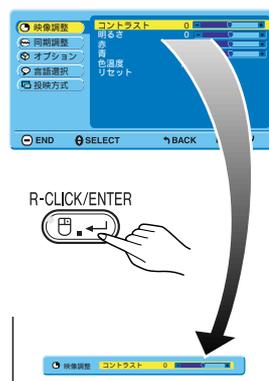
左図は入力(コンピュータ/RGB)モードの場合の表示画面です。

メモ

BACK(戻す)ボタンを押すと一つ前の画面に戻ります。

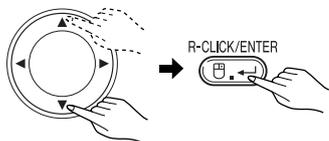
メモ

映像全体のイメージを確認しながら調整するときには、調整ゲージのある項目(たとえば「コントラスト」)を1つだけ表示させることができます。操作は、調整する項目を選んで決定後、ENTER(決定)ボタンを押してください。

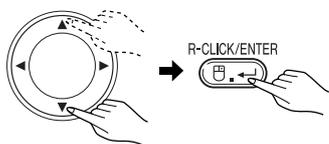


この状態のとき、ボタンで調整することができます。

2 ▲または▼を押して、調整するメニューを選び、ENTER(決定)ボタンを押す

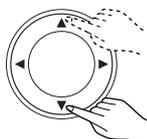


3 ▲または▼を押して、調整する項目を選び、ENTER(決定)ボタンを押す

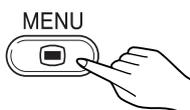


メニューの項目によっては、サブメニューが表示されます。ENTER(決定)ボタンを押して、サブメニューから設定する項目を選びます。

4 ▲または▼を押して、選んだ項目の調整をする



5 メニュー(MENU)ボタンを押して調整を終了する



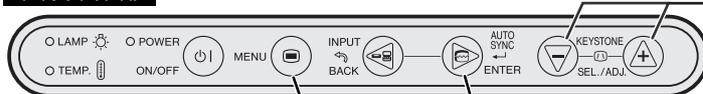
映像を調整する

コンピュータの映像を調整する

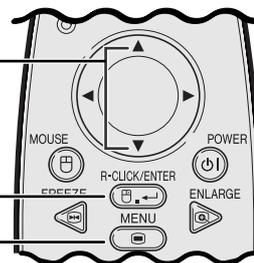
コンピュータの画面を表示したとき、状態に応じてコントラストや明るさなどを調整できます。

調整項目	状態	▼ ボタン	▲ ボタン
コントラスト	画像が濃いとき、またうすいとき	うすくなる	濃くなる
明るさ	画像が明るすぎるとき、または暗すぎるとき	暗くなる	明るくなる
赤	赤みを強くしたいとき、または弱くしたいとき	赤みが弱くなる	赤みが強くなる
青	青みを強くしたいとき、または弱くしたいとき	青みが弱くなる	青みが強くなる
色温度	「高」冷たい感じの色にしたいとき、または「低」温かい感じの色にしたいとき	高↔低を選択(43ページ)	

本体操作部

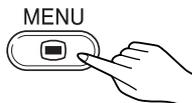


リモコン



▼▲ ボタン
ENTER(決定)ボタン
MENU(メニュー)ボタン
表示画面

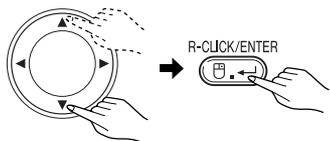
1 MENU(メニュー)ボタンを押す



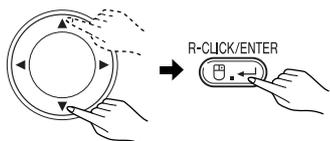
メインメニュー画面が表示されます。



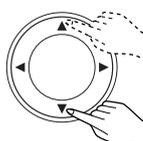
2 ▲または▼を押して、「映像調整」を選び、ENTER(決定)ボタンを押す



3 ▲または▼を押して、調整したい項目を選び、ENTER(決定)ボタンを押す

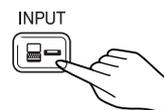


4 ▲または▼を押して、映像を調整する



映像調整を行うまえに

INPUT(入力切替)ボタンを押して、「入力(コンピュータ/RGB)」を選択し、調整する映像を表示させます。



標準設定に戻りたいときは手順③で「リセット」を選び、ENTER(決定)ボタンを押します。

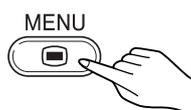
各調整項目が、工場出荷時の状態に戻ります。



手順④で調整後、全体のイメージを確認したいときはENTER(決定)ボタンを押します。調整している項目の1つだけの表示になります。ボタンで微調整することができます。(41ページ)

5 MENU(メニュー)ボタンを押す

表示が消え、調整した内容が記憶されます。



メモ

コンピュータの映像調整は、「入力(コンピュータ/RGB)」で調整した内容が記憶されます。

色温度を設定する

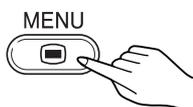
色温度を「高」にすると青みがかった映像に、色温度を「低」にすると赤みがかった映像になります。

高 色温度：高
↓
低 色温度：低

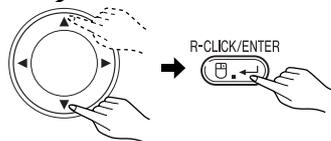
表示画面

1 MENU(メニュー)ボタンを押す

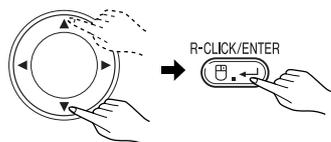
メインメニュー画面が表示されます。



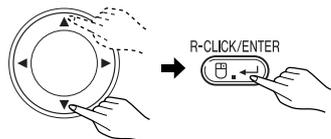
2 ▲または▼を押して、「映像調整」を選び、ENTER(決定)ボタンを押す



3 ▲または▼を押して、「色温度」を選び、ENTER(決定)ボタンを押す

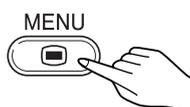


4 ▲または▼を押して、「高」または「低」を選び、ENTER(決定)ボタンを押す



5 MENU(メニュー)ボタンを押す

表示が消え、調整した内容が記憶されます。



!

映像調整を行うまえに

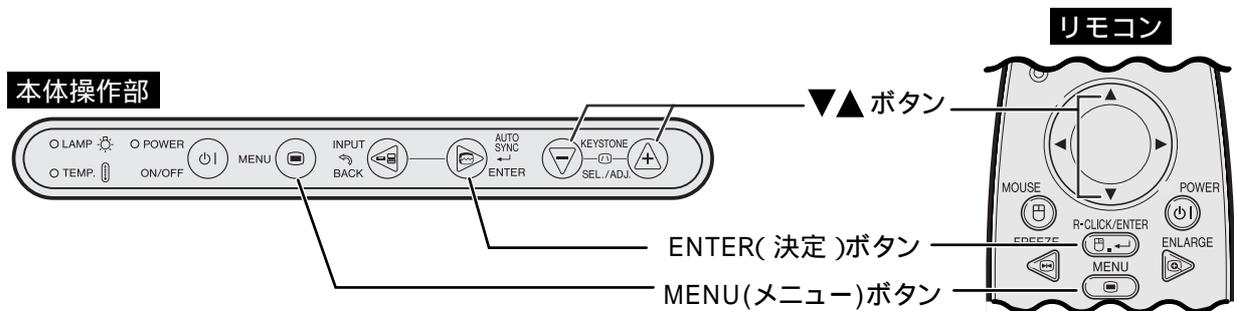
INPUT(入力切替)ボタンを押して、「入力(DV(デジタル))」または「入力(コンピュータ/RGB)」を選択し、調整する映像を表示させます。

映像を調整する(つづき)

ビデオ、DVDプレーヤーなどの映像を調整する

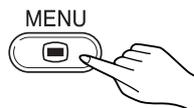
ビデオやDVDなどからの映像の濃淡や明るさを変えて見やすくしたい場合は、状態に応じて調整項目を選び、画像を調整してください。

映像調整	状態	▼ ボタン	▲ ボタン
コントラスト	画像が濃いとき、またうすいとき	うすくなる	濃くなる
明るさ	画像が明るすぎるとき、または暗すぎるとき	暗くなる	明るくなる
色の濃さ	色が濃いとき、またはうすいとき	うすい色になる	濃い色になる
色合い	色あいを調整したいとき	紫がかかる	緑がかかる
画質	画像の輪郭をくっきりさせたいとき、またはやわらかくしたいとき	やわらかくする	くっきりする
赤	赤みを強くしたいとき、または弱くしたいとき	赤みが弱くなる	赤みが強くなる
青	青みを強くしたいとき、または弱くしたいとき	青みが弱くなる	青みが強くなる
色温度	「高」冷たい感じの色にしたいとき、または「低」温かい感じの色にしたいとき	高↔低を選択(43ページ)	



表示画面

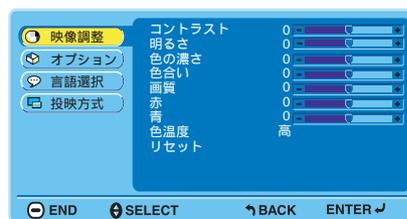
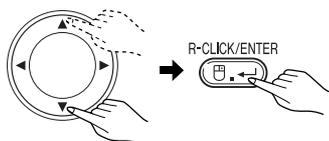
- 1 MENU(メニュー)ボタンを押す



メインメニュー画面が表示されます。

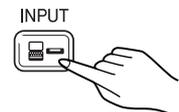


- 2 ▲または▼を押して、「映像調整」を選び、ENTER(決定)ボタンを押す

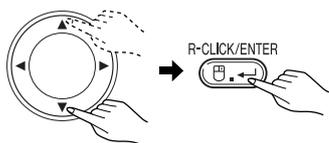


映像調整を行うまえに

INPUT(入力切換)ボタンを押して、「入力1(色差入力)」または「入力2(S-ビデオ)」,「入力3(ビデオ)」を選択し、調整する映像を表示させます。



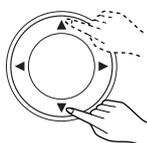
- 3** ▲または▼を押して、調整したい項目を選び、ENTER(決定)ボタンを押す



標準設定に戻りたいときは手順③で「リセット」を選び、ENTER(決定)ボタンを押します。

各調整項目が、工場出荷時の状態に戻ります。

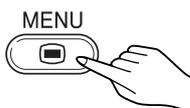
- 4** ▲または▼を押して、映像を調整する



手順④で調整後、全体のイメージを確認したいときは

ENTER(決定)ボタンを押します。調整している項目の1つだけの表示になります。ボタンで微調整することができます。(41ページ)

- 5** MENU(メニュー)を押す
表示が消え、調整した内容が記憶されます。

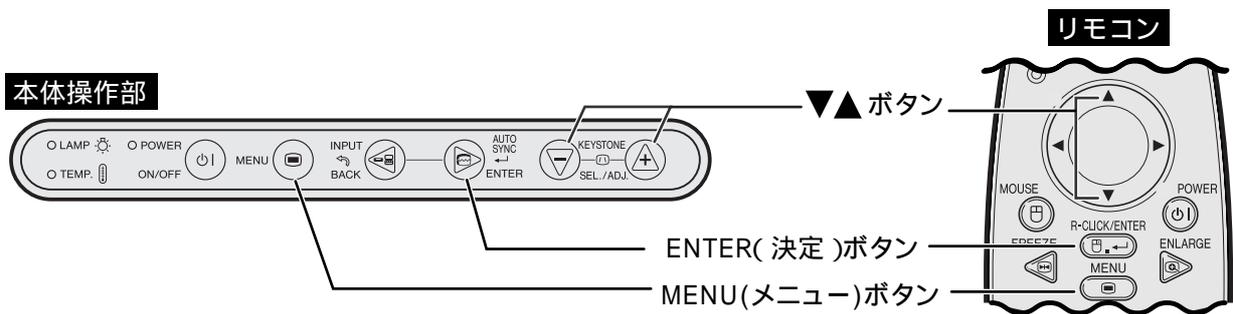


同期調整について

コンピュータの映像を手動で同期調整する

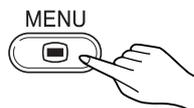
このプロジェクターでは、コンピュータが接続されている場合、自動的に同期調整を行います。自動同期調整が行われている場合でもタイルパターン・縦縞模様などを投映すると、チラツキ・縦縞がいたりコントラストがつかないなど、映り具合が悪くなることがあります。その場合は、「クロック」「水平位相」「水平位置」「垂直位置」の項目を選び、画面を調整してください。

調整項目	調整内容
クロック	垂直ノイズを調整する
水平位相	水平ノイズを調整する(トラッキング調整)
水平位置	スクリーン上の映像を左右に移動させる。
垂直位置	スクリーン上の映像を上下に移動させる。



表示画面

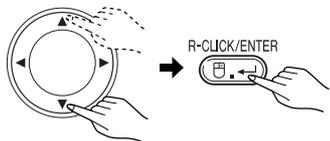
- 1 MENU(メニュー)ボタンを押す



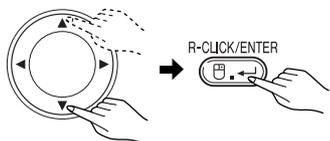
メインメニュー画面が表示されます。



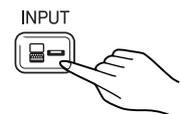
- 2 ▲または▼を押して、「同期調整」を選び、ENTER(決定)ボタンを押す



- 3 ▲または▼を押して、調整したい項目を選び、ENTER(決定)ボタンを押す

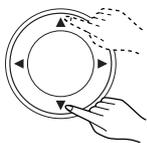


! 手動同期調整を行うまえに INPUT(入力切換)ボタンを押して、「入力(コンピュータ/RGB)」を選択し、調整する映像を表示させます。



メモ 入力される信号によっては調整範囲が狭くなる場合があります。(カーソルの可動範囲が狭くなります。)

4 ▲または▼を押して、画面を調整する



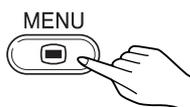
メモ

手順④で調整後、全体のイメージを確認したいときは

ENTER(決定)ボタンを押します。調整している項目の1つだけの表示になります。ボタンで微調整することができます。(41ページ)

5 MENU(メニュー)ボタンを押す

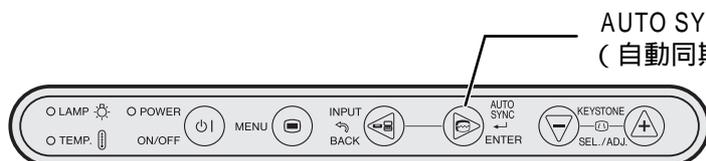
表示が消え、調整した内容が記憶されます。



自動同期調整について

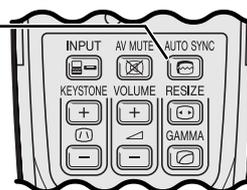
コンピュータの画面が最善になるよう自動的に同期調整を行います。
 プロジェクターにコンピュータが接続された状態で、プロジェクターの入力を切り換えたときに、自動で同期調整ができなかったときは、AUTO SYNC(自動同期調整)ボタンを押して、同期調整をしてください。
 自動同期調整で良好な画面が得られないときは、手動で調整してください。(46ページをご覧ください。)

本体操作部



リモコン

(リモコンふた内)



メモ

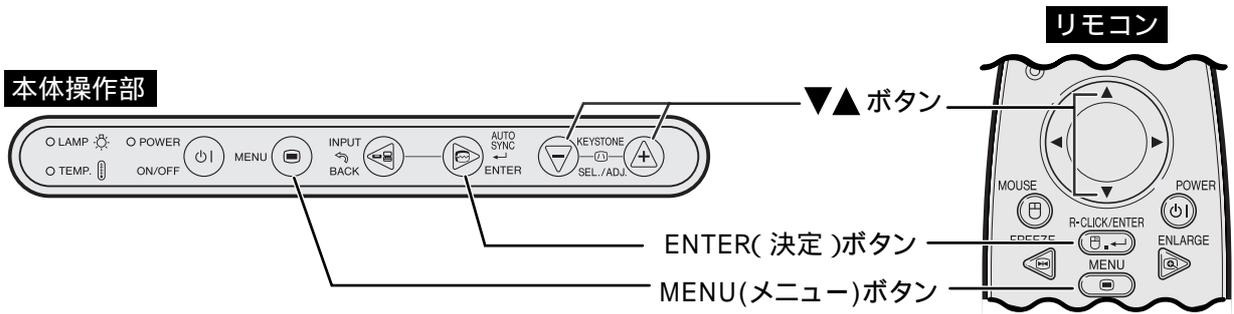
自動同期調整中は、「同期調整中」と画面に表示されます。

プロジェクターに接続されたコンピュータの画面によっては、自動同期調整を完了するまで、しばらく時間がかかることがあります。

再生する機器に合わせた映像信号方式を設定する

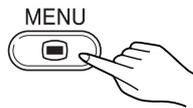
映像信号方式は工場出荷時、「自動」に設定されていますが、選択されている映像方式で、入力2や入力3に接続したAV機器の映像が再生できなかった場合は、映像信号方式を切り換えてください。

選択項目	項目内容
自動	接続するAV機器によって、映像信号方式を自動的に切り換える
PAL	PAL方式の映像機器を接続したとき
NTSC 3.58	NTSC方式の映像機器を接続したとき
SECAM	SECAM方式の映像機器を接続したとき
NTSC 4.43	PAL方式の機器でNTSC方式の映像を再生したとき
PAL M	PAL M方式の映像機器を接続したとき
PAL N	PAL N方式の映像機器を接続したとき
PAL(60Hz)	PAL(60Hz)方式の映像機器を接続したとき



表示画面

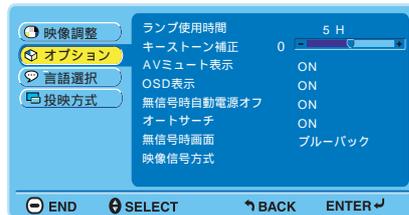
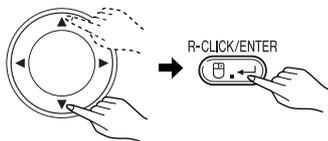
1 MENU(メニュー)ボタンを押す



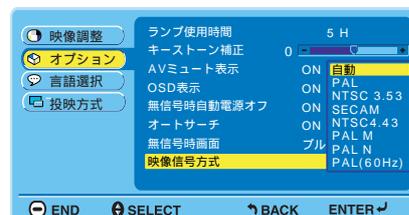
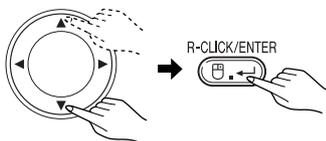
メインメニュー画面が表示されます。



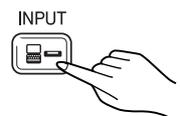
2 ▲または▼を押して、「オプション」を選び、ENTER(決定)ボタンを押す



3 ▲または▼を押して、「映像信号方式」を選び、ENTER(決定)ボタンを押す

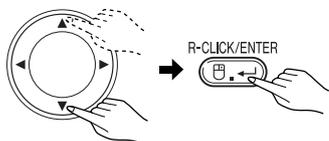


映像信号方式を設定するまえに INPUT(入力切換)ボタンを押して、AV機器を接続している「入力2(S-ビデオ)」または「入力3(ビデオ)」を選択します。



映像信号方式が「自動」に設定されている場合は、信号の違いによって鮮明な映像が得られない場合があります。その場合は、ご覧のビデオシステムに切り換えてください。

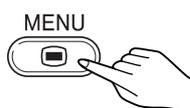
- 4 または を押して、信号方式を選び、ENTER(決定)ボタンを押す



「自動」を選んだときは、自動的にメニュー画面が終了します。

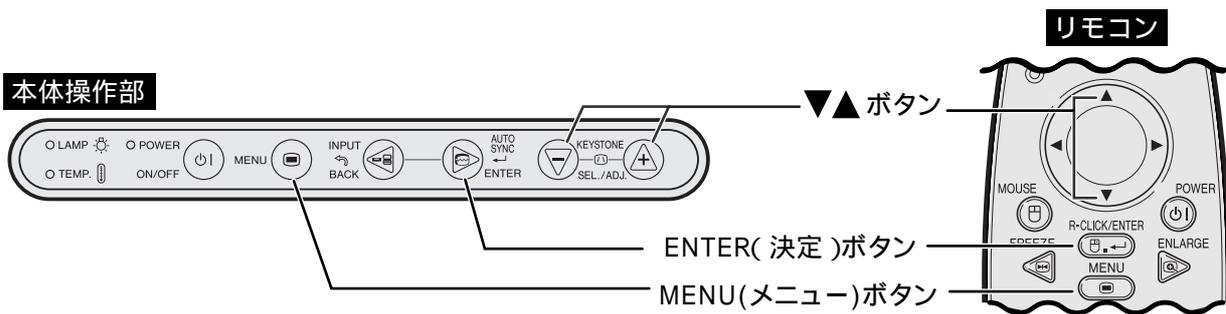
- 5 MENU(メニュー)ボタンを押す

表示が消え、調整した内容が記憶されます。



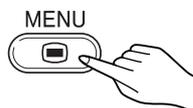
入力信号を確認する

この機能を使うと、現在入力されている信号を確認することができます。



表示画面

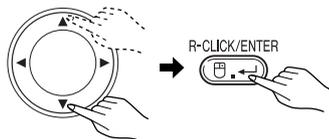
- 1 MENU(メニュー)ボタンを押す



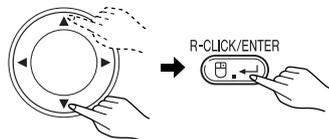
メインメニュー画面が表示されます。



- 2 ▲または▼を押して、「同期調整」を選び、ENTER(決定)ボタンを押す



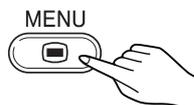
- 3 ▲または▼を押して、「入力信号確認」を選び、ENTER(決定)ボタンを押す



入力信号の内容が表示されます。



- 4 MENU(メニュー)ボタンを押して終了する

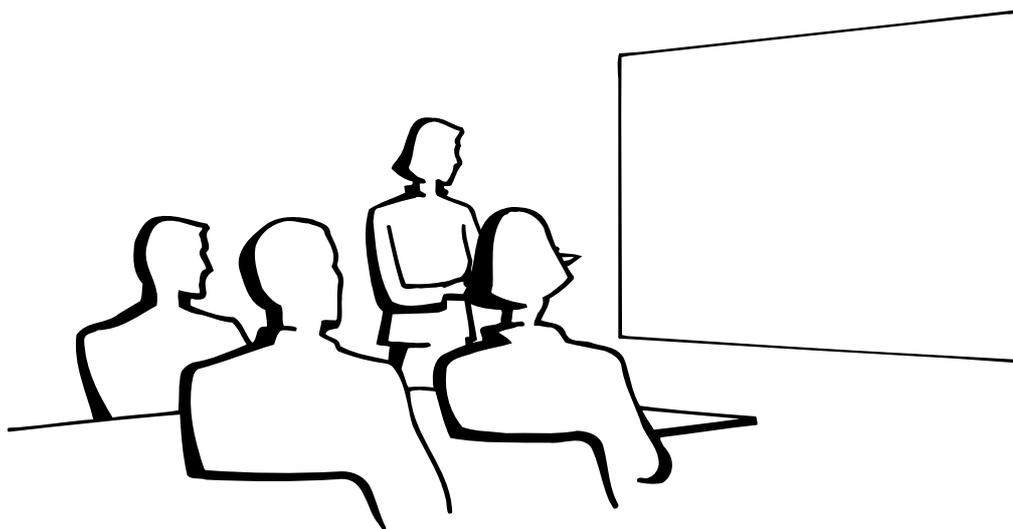


メモ

本機に525iのコンポーネント(色差)信号を入力したとき、本機の表示は、480iとなります。



便利な機能を使う



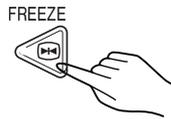
静止画機能

この機能を使うと、瞬時に動画を静止画としてメモリーすることができます。



表示画面

- 1 FREEZE(静止画)ボタンを押す



映像が静止画としてメモリーされます。



- 2 静止画を解除するときは、FREEZE(静止画)ボタンを再度押す



接続している機器の現在の映像に戻ります。



メモ

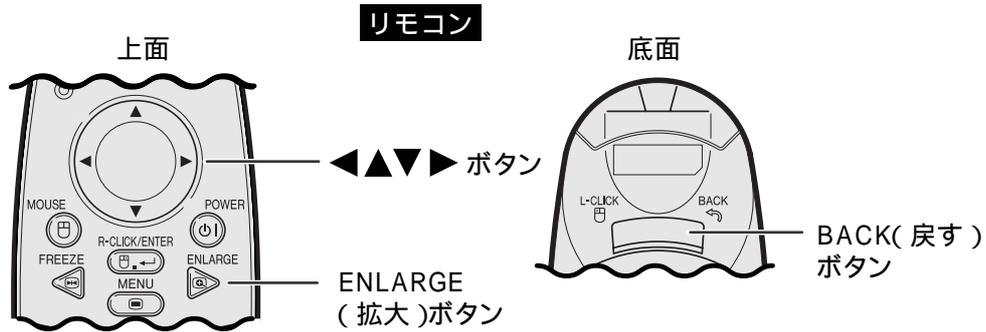
次の場合、静止画は解除されます。

INPUT(入力切替)ボタンを押して入力切替を行ったとき



映像をデジタル拡大する

この機能を使うと、投映された映像の一部を拡大することができます。映像の一部の詳細を表示したいときに便利です。



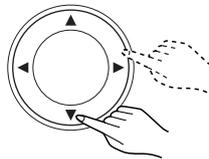
1 ENLARGE(拡大)ボタンを押す



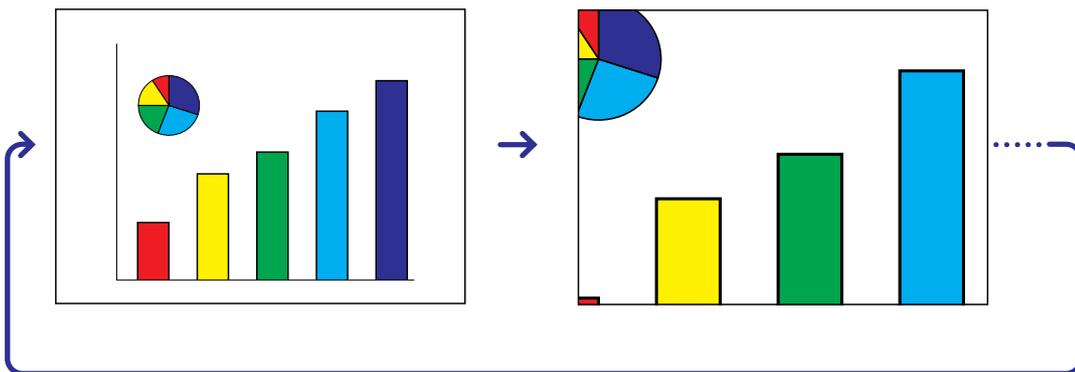
ENLARGE(拡大)ボタンを押す度に映像は下記のように拡大されます。

→ x1 → x4 → x9 → x16 → x36 → x64

映像を拡大したあと、「▲」「▼」「◀」「▶」ボタンを使って見たい位置を変えることができます。



表示画面



メモ

次の場合、拡大された映像が元の大きさ(x1)に戻ります。

INPUT(入力切替)ボタンを押して入力切替を行ったとき

入力信号が変更されたとき

解像度とリフレッシュレート(垂直周波数)が変更されたとき

2 元の大きさ(x1)に戻すときは、リモコンのBACK(戻す)ボタンを押す



画像表示モードを選ぶ

入力された映像の画質をよくするために、画像表示モードを修正したり、カスタマイズすることができます。入力信号の種類によって、「ズーム」・「スクイーズ(フル)」・「標準」・「ドットバイドット」を選んでください。

1 RESIZE(画面サイズ)ボタンを押す

RESIZE(画面サイズ)ボタンを押す度に、画面サイズは下記のように変わります。



コンピュータ【例】

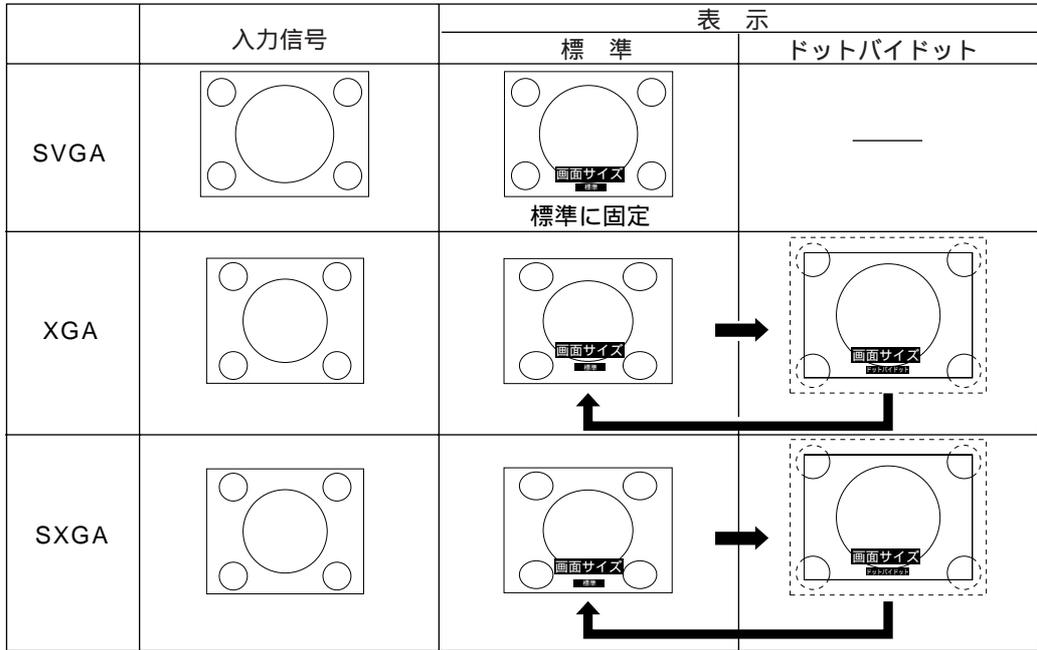
PG-M15XJ		標準	ドットバイドット
4:3	SVGA (800 × 600)	1024 × 768	800 × 600
4:3	XGA (1024 × 768)	1024 × 768	-
その他	SXGA (1280 × 1024)	1024 × 768	1280 × 1024

	入力信号	表示	
		標準	ドットバイドット
SVGA			
XGA			—
SXGA			



コンピュータ【例】

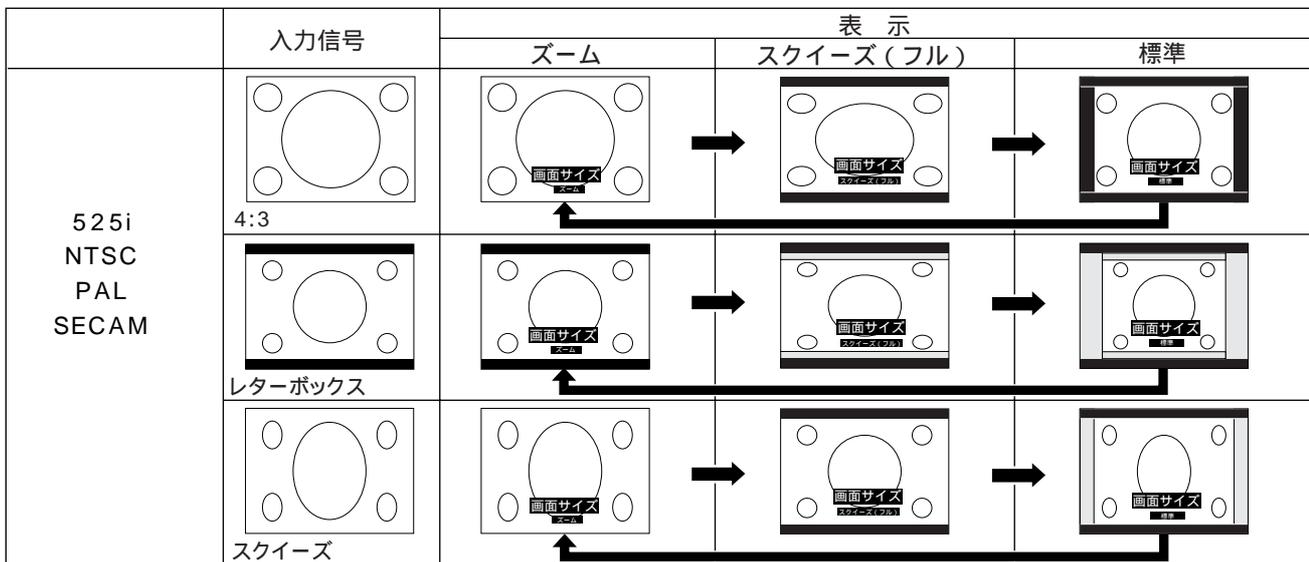
PG-M15SJ		標準	ドットバイドット
4:3	SVGA (800 × 600)	800 × 600	-
4:3	XGA (1024 × 768)	800 × 600	1024 × 768
その他	SXGA (1280 × 1024)	800 × 600	1280 × 1024



DVD/デジタルビデオ【例】

PG-M15XJ		ズーム	スクイーズ (フル)	標準
525i NTSC PAL SECAM	4:3	1024 × 768	1024 × 576	768 × 576
	レターボックス	1024 × 768	1024 × 576	768 × 576
	スクイーズ	1024 × 768	1024 × 576	768 × 576

PG-M15SJ		ズーム	スクイーズ (フル)	標準
525i NTSP PAL SECAM	4:3	800 × 600	800 × 450	600 × 450
	レターボックス	800 × 600	800 × 450	600 × 450
	スクイーズ	800 × 600	800 × 450	600 × 450



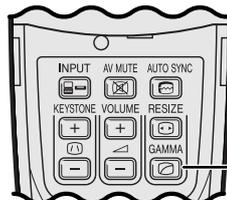
ガンマ補正

映画やコンサートなど暗いシーンの多い映像を見たり、明るい部屋で映像を見たりする場合は、この機能を使うと、暗いシーンを明るくするなど、より見やすい映像が楽しめます。

選択項目	適した映像	補正内容
標準	標準映像	高コントラストと色再現性を重視した鮮鋭映像ポジション
ガンマ1	テレビ放送など	明るい部屋での視聴に適したポジション
ガンマ2	映画など	コントラストとギラツキを抑え、しっとりとした映像を再現するポジション

リモコン

(リモコンふた内)



GAMMA(ガンマ補正)ボタン

表示画面

1 GAMMA(ガンマ補正) ボタンを押す



GAMMA(ガンマ補正) ボタンを押す度にガンマレベルが右のように変わります。

標準



ガンマ1



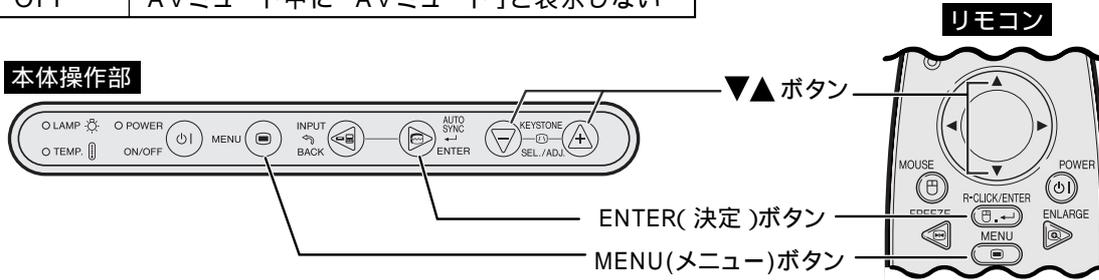
ガンマ2



AV ミュート OSD 表示設定機能

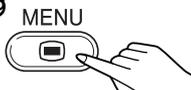
AV ミュート機能が働いているときの画面表示「AV ミュート」という文字を消すことができます。

選択項目	内容
ON	AVミュート中に「AVミュート」と表示する
OFF	AVミュート中に「AVミュート」と表示しない



表示画面

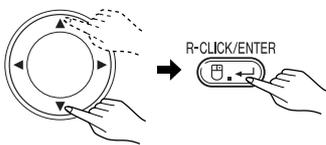
- 1 MENU(メニュー)ボタンを押す



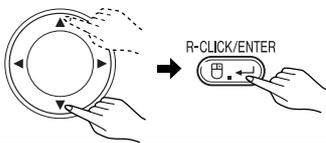
メインメニュー画面が表示されます。



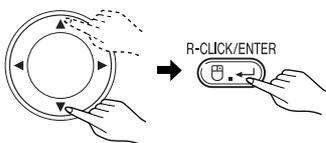
- 2 ▲または▼を押して、「オプション」を選び、ENTER(決定)ボタンを押す



- 3 ▲または▼を押して、「AV ミュート表示」を選び、ENTER(決定)ボタンを押す

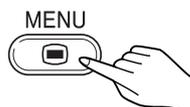


- 4 ▲または▼を押して、「ON」または「OFF」を選び、ENTER(決定)ボタンを押す



- 5 MENU(メニュー)ボタンを押す

表示が消え、設定した内容が記憶されます。



メモ

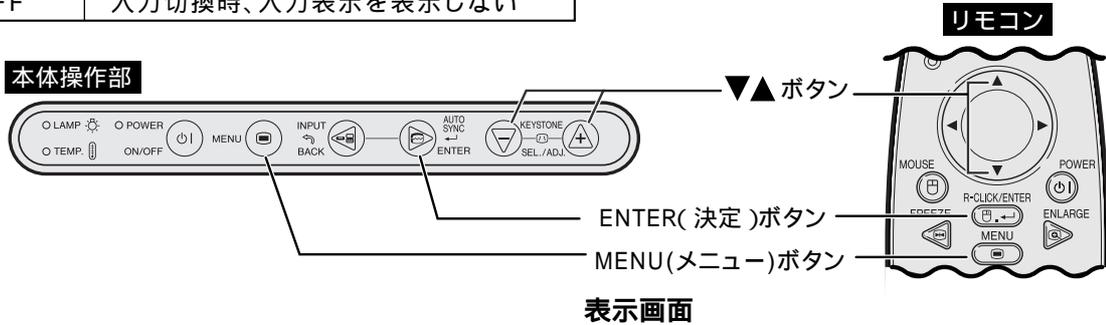
AV ミュート表示が「ON」のとき
AV ミュート中は、画面に「AV ミュート」が表示されます。



画面表示(OSD表示)設定機能

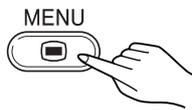
この機能を使うと、「入力切換」時に表示される入力表示を消すことができます。メニューで「OSD表示」を「OFF」に設定すると、ボタンを押しても、入力表示が現われません。

選択項目	内容
ON	入力切換時、入力表示を表示する
OFF	入力切換時、入力表示を表示しない



表示画面

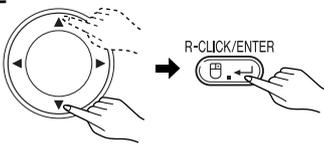
1 MENU(メニュー)ボタンを押す



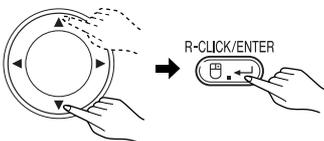
メインメニュー画面が表示されます。



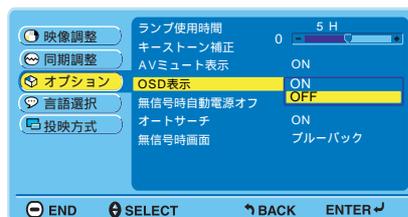
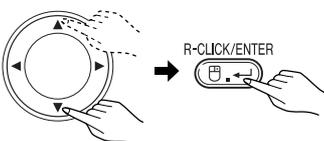
2 ▲または▼を押して、「オプション」を選び、ENTER(決定)ボタンを押す



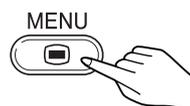
3 ▲または▼を押して、「OSD表示」を選び、ENTER(決定)ボタンを押す



4 ▲または▼を押して、「ON」または「OFF」を選び、ENTER(決定)ボタンを押す



5 MENU(メニュー)ボタンを押して終了する



メモ

OSD表示が「ON」のとき入力切換をすると、画面に入力表示が出ます。

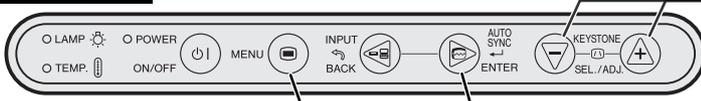


無信号時自動電源オフモードを選ぶ

この機能を使うと、プロジェクターで選択している入力に信号が入力されていない状態が約15分間続いた場合、自動的に電源を切ることができます。

選択項目	内容
ON	約15分以上、入力信号が検出されないときに自動的に電源を切る
OFF	この機能を使用しないときに設定

本体操作部

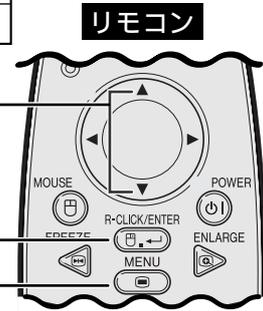


▼▲ ボタン

ENTER(決定)ボタン

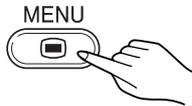
MENU(メニュー)ボタン

表示画面



リモコン

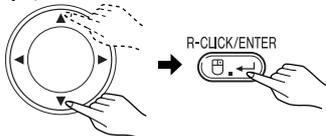
1 MENU(メニュー)ボタンを押す



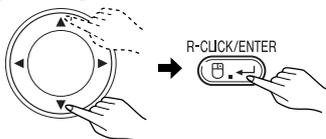
メインメニュー画面が表示されます。



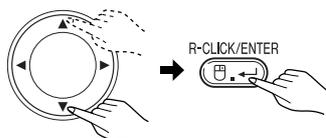
2 ▲または▼を押して、「オプション」を選び、ENTER(決定)ボタンを押す



3 ▲または▼を押して、「無信号時自動電源オフ」を選び、ENTER(決定)ボタンを押す

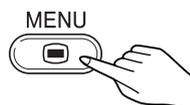


4 ▲または▼を押して、「ON」または「OFF」を選び、ENTER(決定)ボタンを押す



5 MENU(メニュー)ボタンを押す

表示が消え、設定した内容が記憶されます。



メモ

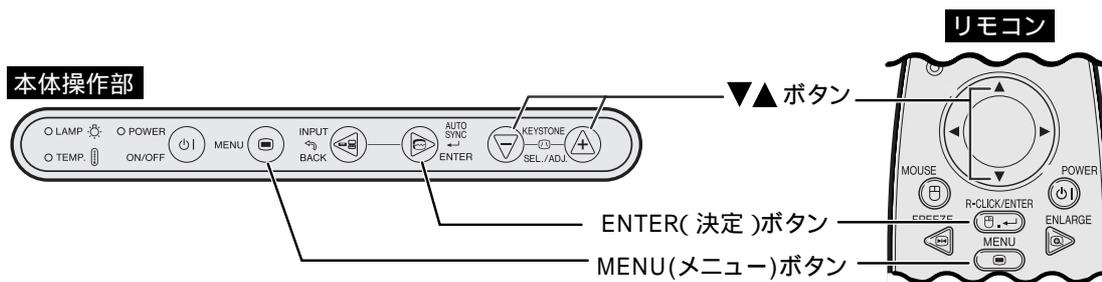
無信号時自動電源オフ機能が「ON」のとき、約15分以上入力信号が検出されないと、プロジェクターは自動的に電源を切ります。電源が切れる5分前になると、1分毎に「分後に電源オフ」の表示がでます。



オートサーチの設定

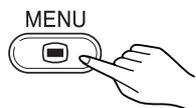
この機能を使うと、INPUT(入力切換)ボタンを押したときに、信号が入力されている入力モードだけを切り換えて選択することができます。これをオートサーチ機能と呼びます。

選択項目	内容
ON	INPUT(入力切換)ボタンを押したとき、信号のある入力だけが選べる 本機の入力端子に接続した機器の信号がプロジェクターに入力されたとき、信号のある入力に自動的に切り換える 選ばれている入力の信号が切れたとき、信号のある入力に自動的に切り換える
OFF	信号の有無に関係なくINPUT(入力切換)ボタンを押し、全ての入力モードが選べる



表示画面

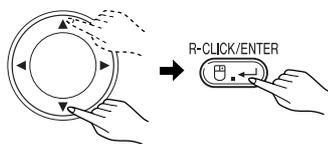
1 MENU(メニュー)ボタンを押す



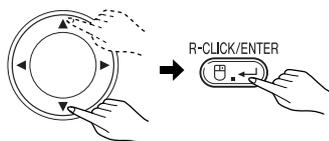
メインメニュー画面が表示されます。



2 ▲または▼を押して、「オプション」を選びENTER(決定)ボタンを押す



3 ▲ または ▼ を押して、「オートサーチ」を選び、ENTER(決定)ボタンを押す



メモ

一度電源を切り、再度電源を入れた場合、電源を切る前に投射されていた入力端子が選択されます。

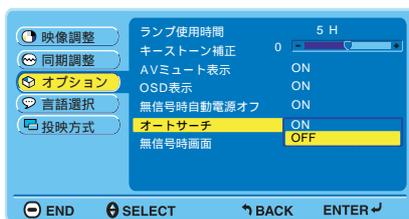
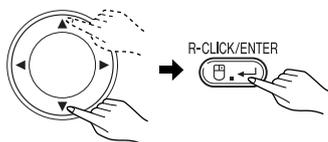
入力切換が「入力1」に自動的に切り換わった際に、投射される映像の色合いが正常でないときは、INPUT(入力切換)ボタンを押して、入力信号に合った「入力(DVK(デジタル))」または「入力(コンピュータ/RGB)」, 「入力(色差入力)」のいずれかに切り換えてください。

注意

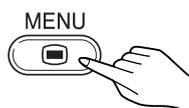
オートサーチ機能が「ON」のとき、本機に何も信号が入力されていないと、入力を切り換えることができません。



- 4 ▲または▼を押して、「ON」または「OFF」を選び、ENTER(決定)ボタンを押す



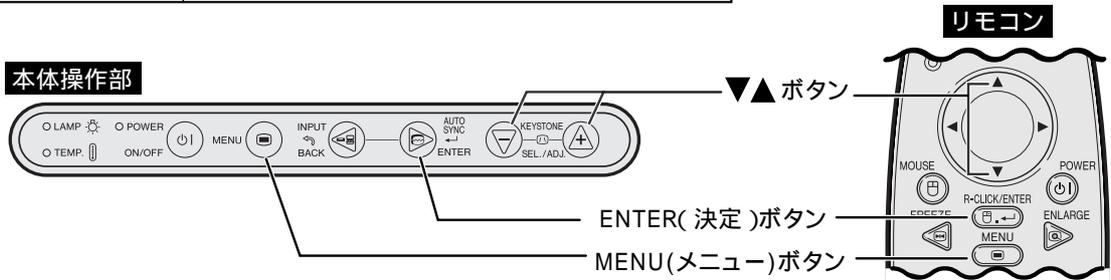
- 5 MENU(メニュー)ボタンを押して終了する



無信号時に表示する画面を設定する

この機能を使うと、プロジェクターに信号が入力されていないときに表示する画面が選べます。

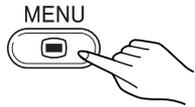
選択項目	無信号時画面
ブルーバック	青い画面
画面表示なし	黒い画面



無信号時に表示する画面を設定する

便利な機能を使う

1 MENU(メニュー)ボタンを押す



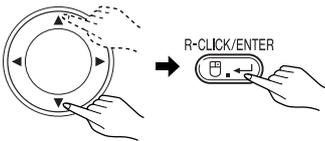
メインメニュー画面が表示されます。



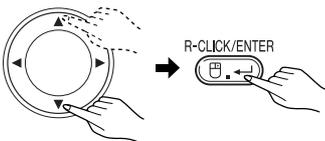
メモ

ブルーバックは、画面いっぱいの表示になります。

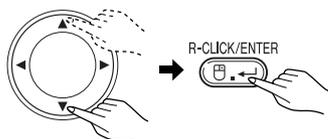
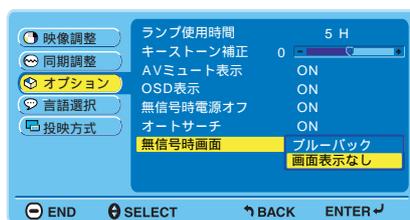
2 ▲または▼を押して、「オプション」を選び、ENTER(決定)ボタンを押す



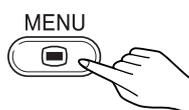
3 ▲または▼を押して、「無信号時画面」を選び、ENTER(決定)ボタンを押す



- 4 ▲または▼を押して、無信号時、スクリーンに表示したい画面(ブルーバック、または画面表示なし)を選び、ENTER(決定)ボタンを押す



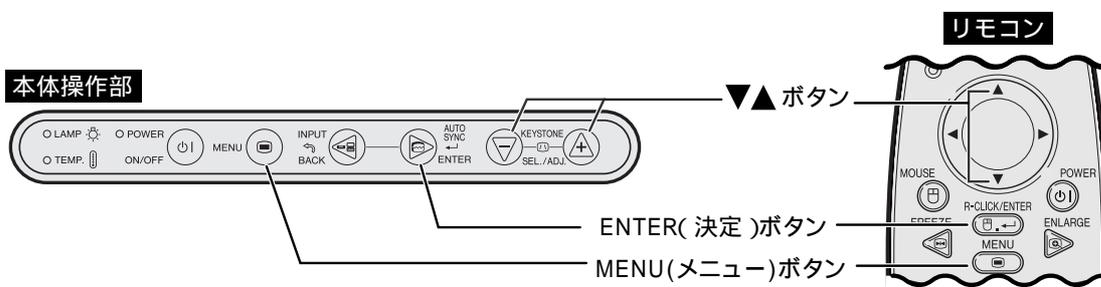
- 5 MENU(メニュー)ボタンを押して終了する。



画面表示言語を選ぶ

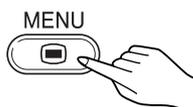
英語・ドイツ語・スペイン語・オランダ語・フランス語・イタリア語・スウェーデン語・ポルトガル語・中国語・韓国語・日本語に切り換えることができます。

選択項目	言語
English	英語
Deutsch	ドイツ語
Español	スペイン語
Nederlands	オランダ語
Français	フランス語
Italiano	イタリア語
Svenska	スウェーデン語
Português	ポルトガル語
汉语	中国語
한국어	韓国語
日本語	日本語



表示画面

1 MENU(メニュー)ボタンを押す



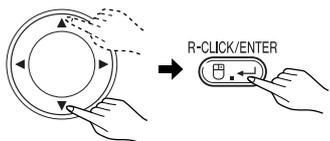
メインメニュー画面が表示されます。



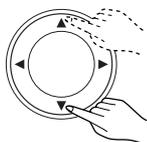
メモ

左の例は、日本語から英語に切替える例です。

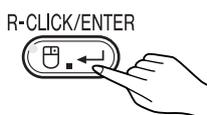
2 ▲または▼を押して、「言語選択」を選び、ENTER(決定)ボタンを押す



3 ▲または▼を押して、表示したい言語を選ぶ



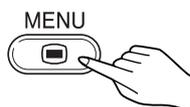
4 ENTER(決定)ボタンを押して、設定する



表示画面が選択された言語で表示されます。



5 MENU(メニュー)ボタンを押して終了する



映像の左右反転 / 上下反転のしかた

このプロジェクターは投映された映像を左右反転・上下反転することができ、設置状況に合わせた投映方式が設定できます。

フロント



通常映像

天吊り



上下反転された映像

リア



左右反転された映像

リア + 天吊り

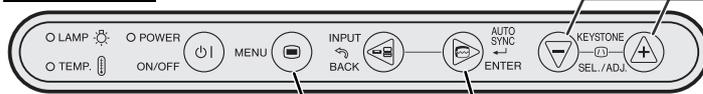


上下/左右反転された映像

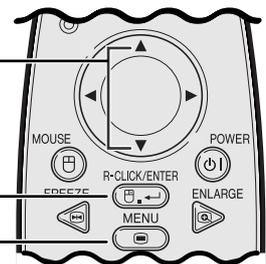
映像の左右反転 / 上下反転のしかた

便利な機能を使う

本体操作部

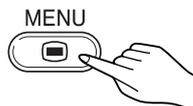


リモコン



表示画面

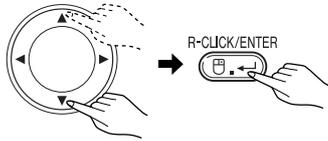
1 MENU(メニュー)ボタンを押す



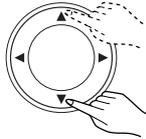
メインメニュー画面が表示されます。



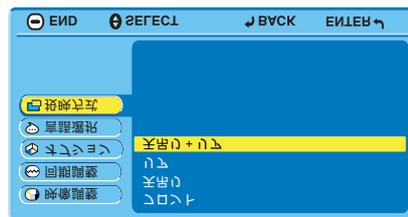
- 2 ▲または▼を押して、「投映方式」を選び、ENTER(決定)ボタンを押す



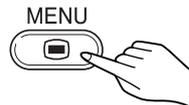
- 3 ▲または▼を押して、投映方式を選ぶ



- 4 ENTER(決定)ボタンを押して、設定する

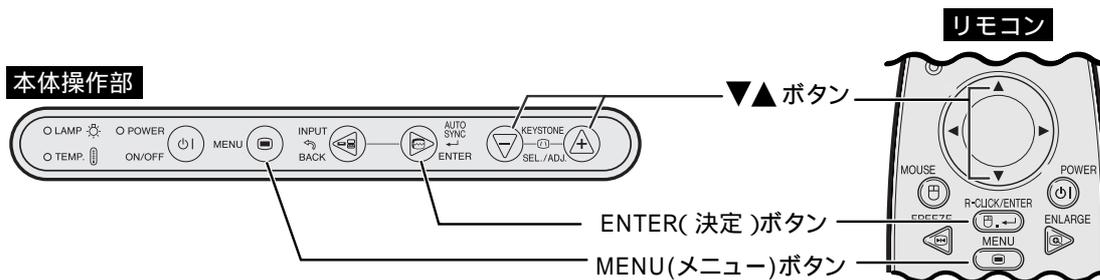


- 5 MENU(メニュー)ボタンを押して終了する



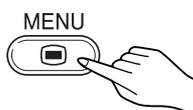
ランプ(光源)の使用時間を確認する

この機能を使うと、ランプ(光源)の総使用時間を確認することができます。



表示画面

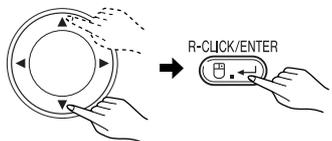
- 1 MENU(メニュー)ボタンを押す



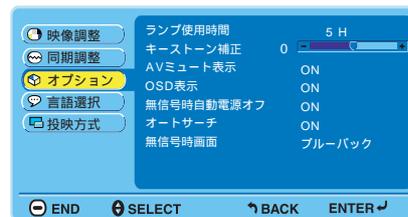
メインメニュー画面が表示されます。



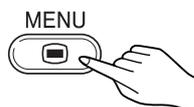
- 2 ▲または▼を押して、「オプション」を選び、ENTER(決定)ボタンを押す



ランプ(光源)の使用時間が表示されます。



- 3 MENU(メニュー)ボタンを押して終了する



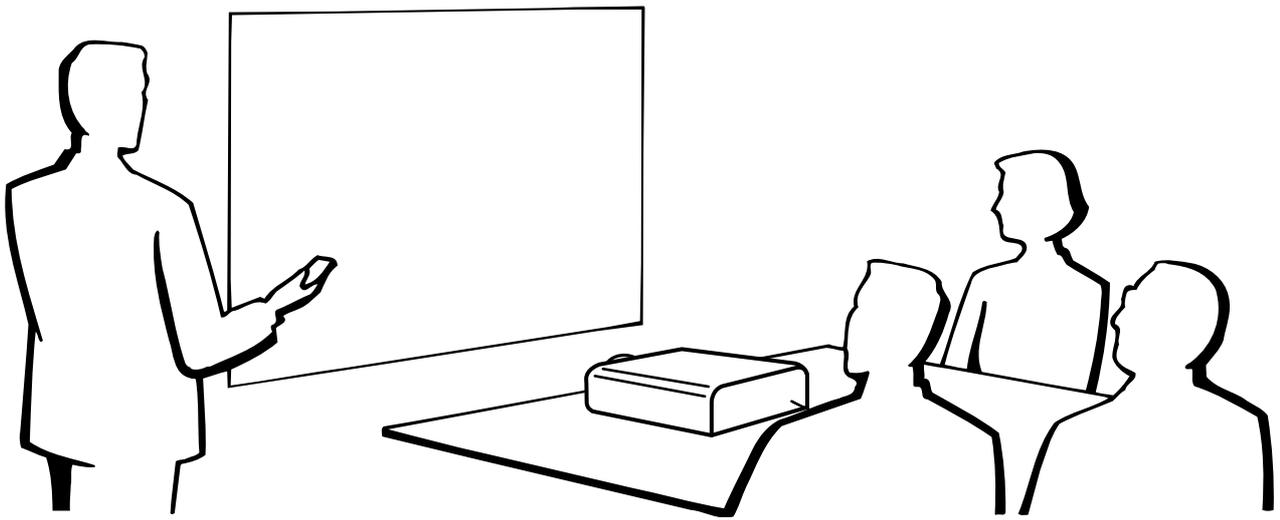
メモ

ランプ(光源)は約1,400時間の使用で交換することをおすすめします。ランプの交換は、お買い上げの販売店またはもよりのシャープお客様ご相談窓口(78ページ)にお問い合わせください。





付録

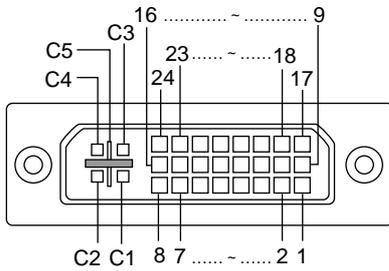




本体のコネクタのピン配置

DVI-デジタル/アナログ入力端子(入力1) 29ピンコネクタ

●DVIデジタル入力



ピン番号	信号名	ピン番号	信号名
1.	T.M.D.S.データ2 -	17.	T.M.D.S.データ0 -
2.	T.M.D.S.データ2 +	18.	T.M.D.S.データ0 +
3.	T.M.D.S.データ2/4シールド	19.	T.M.D.S.データ0/5シールド
4.	T.M.D.S.データ4 - *2	20.	
5.	T.M.D.S.データ4 + *2	21.	
6.	DDCクロック	22.	T.M.D.S.クロックシールド
7.	DDCデータ	23.	T.M.D.S.クロック+
8.	アナログ垂直同期	24.	T.M.D.S.クロック-
9.	T.M.D.S.データ1 -	C1.	
10.	T.M.D.S.データ1 +	C2.	
11.	T.M.D.S.データ1/3シールド	C3.	
12.	T.M.D.S.データ3 - *2	C4.	
13.	T.M.D.S.データ3 + *2	C5.	
14.	+5V 電源		
15.	接地 *1		
16.	ホットプラグ検出		

*1 : +5V電源、垂直・水平同期用
*2 : 本機では使用していません。

●アナログ (RGB) 入力

ピン番号	信号名	ピン番号	信号名
1.	NC	17.	NC
2.	NC	18.	NC
3.	NC	19.	NC
4.	NC	20.	NC
5.	NC	21.	NC
6.	DDCクロック	22.	NC
7.	DDCデータ	23.	NC
8.	アナログ垂直同期	24.	NC
9.	NC	C1.	映像 (赤)
10.	NC	C2.	映像 (緑)
11.	NC	C3.	映像 (青)
12.	NC	C4.	アナログ水平同期
13.	NC	C5.	アナログ接地 *2
14.	+5V 電源		
15.	接地 *1		
16.	NC		

*1 : +5V電源、垂直・水平同期用
*2 : アナログ (赤、緑、青) 用

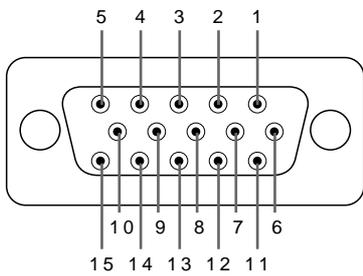
●コンポーネント (色差) 入力

ピン番号	信号名	ピン番号	信号名
1.	NC	17.	NC
2.	NC	18.	NC
3.	NC	19.	NC
4.	NC	20.	NC
5.	NC	21.	NC
6.	NC	22.	NC
7.	NC	23.	NC
8.	NC	24.	NC
9.	NC	C1.	C _R
10.	NC	C2.	Y
11.	NC	C3.	C _B
12.	NC	C4.	NC
13.	NC	C5.	アナログ接地 *2
14.	+5V 電源		
15.	接地 *1		
16.	NC		

*1 : +5V電源、垂直・水平同期用
*2 : アナログ (赤、緑、青) 用



アナログモニター出力端子 15ピンミニD-subコネクタ (メス)



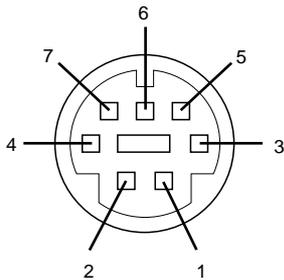
●アナログ (RGB) 出力

ピン番号	信号名	ピン番号	信号名
1.	映像 (赤)	8.	接地 (映像青)
2.	映像 (緑)	9.	NC
3.	映像 (青)	10.	接地
4.	NC	11.	接地
5.	NC	12.	NC
6.	接地 (映像赤)	13.	水平同期信号
7.	接地 (映像緑)	14.	垂直同期信号
		15.	NC

●コンポーネン (色差) 出力

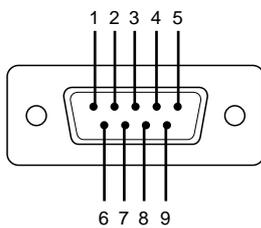
ピン番号	信号名	ピン番号	信号名
1.	映像 CR	8.	接地 (CB)
2.	映像 Y	9.	NC
3.	映像 CB	10.	NC
4.	NC	11.	NC
5.	NC	12.	NC
6.	接地 (CR)	13.	NC
7.	接地 (Y)	14.	NC
		15.	NC

PCコントロール端子 : RS-232C/マウス 7ピンミニDINコネクタ (メス)



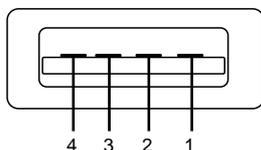
ピン番号	信号	信号名	I/O
1	VCC	USB電源	
2	RD	受信データ	入力
3	SD	送信データ	出力
4	USB -	USBデータ -	
5	SG	接地	
6	USB +	USBデータ +	
7	NC		

PCコントロールケーブル : RS-232Cコネクタ (付属のDIN - D-sub RS-232Cコネクタ) 9ピンD-subコネクタ (オス)



ピン番号	信号	信号名	I/O
1	-		
2	RD	受信データ	入力
3	SD	送信データ	出力
4	-		
5	SG	接地	
6	-		
7	-		
8	-		
9	-		

USBマウスコントロールケーブル : 4ピンUSBコネクタ (付属のDIN - USBケーブル)



ピン番号	信号	信号名
1	VCC	USB電源
2	USB -	USBデータ -
3	USB +	USBデータ +
4	SG	接地





RS-232C ポート仕様

コンピュータによるプロジェクターの制御について

この操作システムはコンピュータを使い慣れた方のご利用をお願いいたします。

プログラムを組むとRS-232Cコネクタを使って、コンピュータで本機を制御することができます。電源の入/切や入力信号(コンピュータ/ビデオ)の切り換えができます。

接続には、市販のRS-232Cケーブル(クロス・メス-メスタイプ)をご用意ください。

通信仕様

コンピュータ側のRS-232C通信仕様を、本機の通信仕様に合わせてください。
本機の仕様は、以下のとおりです。

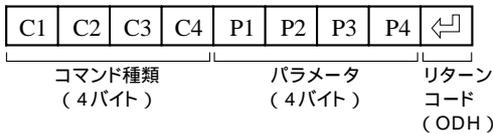
ボーレート	9600bps
データ長	8ビット
パリティ	なし
ストップビット	1ビット
フロー制御	なし

通信手順

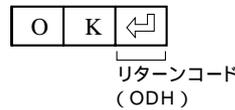
コンピュータからRS-232Cコネクタを通じて、制御コマンドを送信します。本機は、送られたコマンドに応じて、動作し、レスポンスメッセージをコンピュータ側に送ります。

複数のコマンドを同時に送信しないでください。正常時のレスポンス(OK)を受け取ってから、次のコマンドを送信するようにしてください。

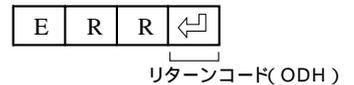
コマンド(コンピュータ → 本機)



レスポンス(本機 → コンピュータ)
正常時



異常発生時(通信エラーまたはコマンドに誤りがあったときや、範囲外の数値を指定したとき)



プロジェクターのコンピュータ制御機能を使用するとき、プロジェクターの動作状況をコンピュータに読ませることはできません。

受送信の例

「入力切り換え」を「入力(DVI(デジタル))」に設定する。



コマンド一覧

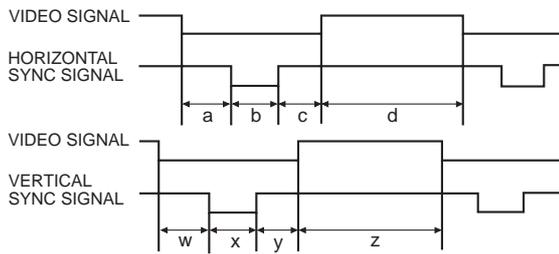
制御項目	コマンド				パラメータ				制御内容
	C1	C2	C3	C4	P1	P2	P3	P4	
電源・ON/OFF	P	O	W	R	_	_	_	0	電源・OFF (待機状態)
	P	O	W	R	_	_	_	1	電源・ON
入力切り換え	I	R	G	B	_	_	_	1	入力(DVI(デジタル))
	I	R	G	B	_	_	_	2	入力(コンピュータ/RGB)
	I	R	G	B	_	_	_	3	入力(色差入力)
	I	V	E	D	_	_	_	1	入力2
	I	V	E	D	_	_	_	2	入力3



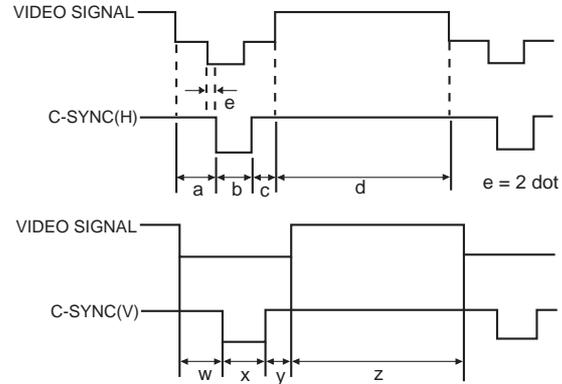
RGB 入力信号(推奨信号)について

種類の違うコンピュータ信号のコンピュータ出力信号のタイミングは参考まで下記に示します。

IBMコンピュータ・互換機



Macintoshシリーズ



下表は VESA 準拠モード一覧です。ただし本機は VESA 規準以外の信号にも対応しています。

	MODE	VIDEO		HSYNC										VSYNC								
				FRONT PORCH a	SYNC b	BACK PORCH c	VIDEO PERIOD d	1H (a+b+c+d)		1dot	1/H	1/dot	LEVEL	FRONT PORCH w	SYNC x	BACK PORCH y	VIDEO PERIOD z	1V (w+x+y+z)		1/V	LEVEL	
				dot	line	LEVEL	TYPE	dot	dot	dot	dot	dot	μs	ns	kHz	MHz	H	H	H	H	H	ms
VGA	VESA Standard	640	350			32	64	96	640	832	26.4	31.7	37.861	31.500		32	3	60	350	445	11.8	85.080
		640	400			32	64	96	640	832	26.4	31.7	37.861	31.500		1	3	41	400	445	11.8	85.080
		720	400			36	72	108	720	936	26.4	28.2	37.927	35.500		1	3	42	400	446	11.8	85.039
	Industry Standard	640	480			8	96	40	640	800	31.8	39.7	31.469	25.175		2	2	25	480	525	16.7	59.940
		640	480			16	40	120	640	832	26.4	31.7	37.861	31.500		1	3	20	480	520	13.7	72.809
		640	480			16	64	120	640	840	26.7	31.7	37.500	31.500		1	3	16	480	500	13.3	75.000
SVGA	VESA Guidelines	800	600			24	72	128	800	1,024	28.4	27.8	35.156	36.000		1	2	22	600	625	17.8	56.250
		800	600			40	128	88	800	1,056	26.4	25.0	37.879	40.000		1	4	23	600	628	16.6	60.317
	VESA Standard	800	600			56	120	64	800	1,040	20.8	20.0	48.077	50.000		37	6	23	600	666	13.9	72.188
		800	600			16	80	160	800	1,056	21.3	20.2	46.875	49.500		1	3	21	600	625	13.3	75.000
		800	600	0.7 Vp-p 75 Ω load	R-G-B	32	64	152	800	1,048	18.6	17.8	53.674	56.250	TTL	1	3	27	600	631	11.8	85.061
XGA	Industry Standard	1,024	768			8	176	56	1,024	1,264	28.2	22.3	35.522	44.900		0	4	20	768	817	23.0	43.479
		1,024	768			24	136	160	1,024	1,344	20.7	15.4	48.363	65.000		3	6	29	768	806	16.7	60.004
	VESA Guidelines	1,024	768			24	136	144	1,024	1,328	17.7	13.3	56.476	75.000		3	6	29	768	806	14.3	70.069
		1,024	768			16	96	176	1,024	1,312	16.7	12.7	60.023	78.750		1	3	28	768	800	13.3	75.029
		1,024	768			48	96	208	1,024	1,376	14.6	10.6	68.677	94.500		1	3	36	768	808	11.8	84.997
SXGA	VESA Standard	1,152	864			64	128	256	1,152	1,600	14.8	9.3	67.500	108.000		1	3	32	864	900	13.3	75.000
		1,280	1,024			48	112	248	1,280	1,688	15.6	9.3	63.981	108.000		1	3	38	1,024	1,066	16.7	60.020
Macintosh*	13" Monitor	640	480			64	64	96	640	864	28.6	33.1	35.000	30.2400		3	3	39	480	525	15.0	66.670
	16" Monitor	832	624			31	65	224	832	1,152	20.1	17.5	49.693	57.246		1	3	39	624	667	13.4	74.502
	19" Monitor	1,024	768			35	96	173	1,024	1,328	16.7	12.5	60.000	79.760		3	3	30	768	804	13.4	74.700
DTV	480i (525i)	640	480	Y 1.0Vp-p Cb 0.7Vp-p Cc 0.7Vp-p	COMPONENT	-	-	-	-	-	-	-	15.734	-	-	-	-	-	-	-	-	59.940

メモ

本機は、同時(CRT/LCD)モードでノート型パソコンからの映像を表示できない場合があります。この場合は、ノート型パソコン側で液晶表示をオフにして"CRTのみ"モードで表示データを出力してください。表示モードを変更するための詳細はお持ちのノート型パソコンの操作マニュアルに記載されています。

PG-M15XJでは、SXGAの映像は圧縮表示されます

PG-M15SJでは、Macintosh16インチ、Macintosh19インチ、XGA、SXGAの映像は圧縮表示されます。





お知らせ表示 / ランプ(光源)について

お知らせ表示について

本機では、内部の異常をお知らせ表示が点灯してお知らせします。

お知らせ表示には温度モニターお知らせ表示とランプ交換お知らせ表示があります。

内部に異常が生じると、その異常の現象によって、温度モニターお知らせ表示もしくはランプ交換お知らせ表示が赤色に点灯し電源が切れます。以下の処置を行ってください。

温度モニター機能について

設置状況により内部温度が高温になると、画面左下に“温度”が表示されます。さらに温度が上昇すると、ランプ(光源)が消灯し温度モニターお知らせ表示が点滅、約90秒のファン冷却後電源が切れます。“温度”の表示が出た時点で下の表の内容に従い処置をしてください。

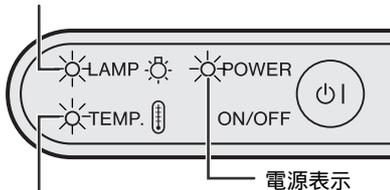
温度

ランプ交換お知らせ機能について

ランプの総使用時間が1,400時間を越えると、画面に黄色で“ランプ”が表示され、1,500時間になると“ランプ”表示が赤になり、自動的にランプ(光源)が消灯し、電源が切れます。このとき、ランプ交換お知らせ表示が赤色点灯します。ランプを交換せずに電源を入れ直すと、4回目からは電源が入らなくなりますのでご注意ください。

ランプ

ランプ交換お知らせ表示



温度モニターお知らせ表示

お知らせ表示		現象	考えられる原因	処置のしかた
正常	異常			
温度モニター お知らせ表示	消灯	内部温度が高温になっている。	●通風孔がふさがれている。	●正しい設置場所に設置してください。
	赤色点滅		●冷却ファンの故障 ●内部回路の故障	
ランプ交換 お知らせ表示	赤色点灯	ランプ(光源)が点灯しない	●冷却中	●消灯するまでお待ちください。
	緑色点灯 (緑色点滅は 光源起動中)		●ランプ(光源)が切れた ●ランプ(光源)点灯回路故障	

！ 注意

温度モニターお知らせ表示が点灯し、電源が切れ、上記の処置を行った後、再度電源を入れる場合は、内部温度が十分に下がるまで待ち、電源プラグをいったんコンセントから抜いて電源を入れ直してください。(約5分以上)

一般の停電などで、電源が切れた直後に電源が入った場合、ランプ交換お知らせ表示が赤色点灯し電源が入らなくなることがあります。このときは、電源プラグをいったんコンセントから抜いて、電源を入れ直してください。

電源を切った後、冷却ファンが動作している間(約90秒間)は、電源プラグを抜いたりしないでください。



ランプ(光源)について

光源として使われているランプは消耗品です。ランプの平均寿命は、のべ使用時間が約 1,500 時間です。1,400 時間を越えたら、なるべく早めに新しい光源ランプ(別売)と交換してください。1,400 時間を越えなくても使用中にランプが切れることがありますので、映像が暗くなったり、色合いが悪くなったりした場合は早めに新しい光源ランプと交換してください。ランプの総使用時間は画面表示で確認できます。(68 ページ参照)

ランプの平均寿命「1,500 時間」は保証期間とは異なります。

ランプの保証期間は、6 ヶ月 1,000 時間以内です。6 ヶ月以内でも 1,000 時間を超えたり、1,000 時間以内でも 6 ヶ月を過ぎたときは、保証の対象となりませんのでご注意ください。

光源ランプ(別売)は、シャープエンジニアリング(株)の製品です。

光源ランプの取り替えは、お買い上げの販売店、またはもよりのシャープお客様ご相談窓口(78 ページ)にお問い合わせください。

! 注意 ランプ(光源)の光は有害です。プロジェクターを操作しているときは、プロジェクターの部品やレンズをのぞきこまないでください。

メモ プロジェクターの使用環境によっては、ランプの寿命が 1,500 時間以下になることがあります。

お手入れのしかた

キャビネットの手入れのしかた

キャビネットを手入れするときは、必ず電源コードを抜いて行ってください。

キャビネットや操作パネル部分は、ベンジン、シンナーなどでふいたりしますと変質したり、塗料がはげることがありますので避けてください。

殺虫剤など、揮発性のものをかけないでください。

また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。

プラスチックのなかに含まれる可塑剤の作用により変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。

汚れはネルなど柔らかい布で軽くふきとってください。

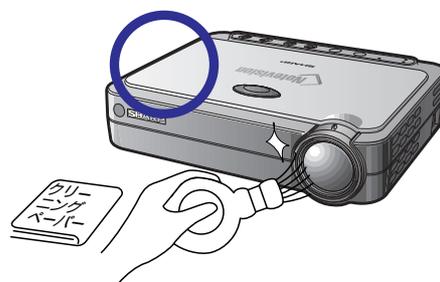
汚れがひどいときは水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。



レンズの手入れのしかた

レンズの清掃は、市販のプロワーやレンズクリーニングペーパー(メガネやカメラなどの清掃に使用)で行ってください。この際、液状のクリーニング剤は使用しないでください。表面のコーティング膜がはがれる原因となります。

表面は傷つきやすいのでこすったり、たたいたりしないでください。



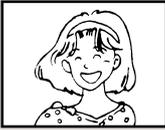
排気孔や吸気孔のお手入れのしかた

排気孔や吸気孔に、ゴミやほこりが付着したときは、掃除機で吸い取ってください。





故障かな？と思ったら

こんなとき	ここをお調べください	ページ
 映像も音声もない	電源プラグがコンセントから抜けていませんか。	22
	本体の電源が「切」(待機)の状態になっていませんか。	32~33
	接続した外部機器の電源が「切」の状態になっていませんか。	-
	表示させる画面の選択がまちがっていませんか。	33
	プロジェクター側面・背面の配線は、正しく接続されていますか。	22~29
	リモコンの乾電池が消耗していませんか。	13
	ノートパソコンを接続しているとき、外部出力状態に設定されていますか。	-
 音声は出るが映像が出ない	プロジェクター側面・背面の配線は、正しく接続されていますか。	22~29
	映像調整の「明るさ」が「-(マイナス)」側いっぱいになっていませんか。	42~45
	コンポーネント(色差)映像信号は、525iの信号ですか。 本機に入力できるコンポーネント(色差)映像信号は、525iだけです。	27
 色がうすい、色あいが悪い	映像調整は、正しく調整されていますか。	42~45
	ビデオ入力するとき ビデオの映像信号方式は正しく設定されていますか。 INPUT(入力切換)ボタンでRGB入力/色差入力が正しく 設定されていますか。	48 33
 映像がボヤける ノイズが発生する	レンズのフォーカスは合っていますか。	34
	投映距離が、フォーカスの合う範囲を超えていませんか。	19~20
	コンピュータ入力するとき 同期調整(クロック調整)を行ってみてください。 同期調整(位相調整)を行ってください。	46~47
 映像は出るが音声が出ない	プロジェクター側面・背面の配線は、正しく接続されていますか。	22~29
	音量が最小になっていませんか。 音声コードが正しく接続されていますか。	33 22~29
キャビネットから時々 「ピシッ」と音がする	画面に異常がない場合、室温の変化によりキャビネットが、わずかに伸縮する音です。性能その他に影響はありません。	-
お知らせ表示が点灯する	「お知らせ表示/ランプ(光源)について」をご覧ください。	74
リモコンが正しく動作 しない	乾電池が消耗していませんか。 乾電池は正しく入っていますか。	13
	本体が蛍光灯に近いとリモコンの働きが悪くなる場合があります。	14
冷却ファンの音が 大きくなる	周囲温度が高くなっていませんか。	74
操作できない	同期調整中は、電源以外のボタンは働きません。	46
電源が入らない	電源プラグを差し込んだ直後は約5秒間初期化のため、電源が入りません。冷却ファンが停止し、待機状態になったことを確認して電源を入れてください。	32





アフターサービスについて

保証について

- ① このプロジェクターには、保証書がついています。
保証書は販売店にて所定事項を記入してお渡しいたしますので、内容をよくお読みのうえ大切に保存してください。
- ② 保証期間は、お買いあげの日から1年間です。ただし、ランプ(光源)のみは6ヵ月となります。保証書の記載内容によりお買いあげの販売店が修理いたします。故障のときは、お申し付けにより「出張修理」いたします。くわしくは保証書をご覧ください。
- ③ 保証期間中は修理などアフターサービスについておわかりにならない場合は、お買いあげの販売店、またはもよりのシャープお客様ご相談窓口(78ページ)にお問い合わせください。
- ④ 保証期間経過後の修理については、販売店にご相談ください。
修理によって機能が維持できる場合は、お客さまのご要望により有料修理いたします。

保証期間

ランプ(光源)以外の部品代および修理工料は、お買いあげの日から1年間は無料です。
ランプ(光源)およびその修理工料は、お買いあげの日から6ヵ月は無料です。

お願い

ランプは消耗品です。使用中に切れることがありますので、あらかじめご承知おきください。映像が暗くなったり、色合いが悪くなるなどの症状がでたときは、早めにランプ交換してください。

愛情点検



長年ご使用のプロジェクターの点検を！ こんな症状はありませんか？

電源コードやプラグが異常に熱い。電源ボタンを入れても映像や音が出ない、また出るまでに時間がかかる。
画面が映ったり、消えたりする。映像が乱れたり、色がきれいに出ない。その他の異常や故障がある。

以上のような症状のときは本体の電源を切り、プラグをコンセントから抜き、使用を中止し、故障や事故の防止のため必ず販売店に点検をご依頼ください。なお、点検・修理に要する費用は販売店にご相談ください。

補修用性能部品について

プロジェクターの補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後8年です。
補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です

修理を依頼されるときは

故障のときは使用をやめて、電源プラグをコンセントから抜き修理をお申し付けください。故障のままお使いになったり、ご自分で修理は危険です。
ご転居、ご贈答品などで、お買いあげの販売店に修理を依頼することができない場合は、もよりのシャープお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

修理依頼時につぎのことをお知らせください。

商品名 デジタルマルチメディア
プロジェクター
形名 PG-M15XJ
PG-M15SJ
故障状況(できるだけくわしく)
ご氏名
ご住所(付近の目印など道順)
お電話番号





お客様ご相談窓口のご案内

修理サービスを依頼される前に76ページの「故障かな?と思ったら」をお読みください。

この製品についてのご意見・ご質問は、シャープ消費者相談室またはお客様ご相談窓口へお寄せください。
お電話でお寄せいただく場合は、電話番号をよくお確かめのうえおかけいただくようお願い申し上げます。
まちがい電話は相手の方に迷惑になるだけでなく、お客様にとっても不経済なものとなります。

シャープ製品の修理・お取扱い・お手入れについてのご相談ならびにご依頼はお買いあげの販売店へ
なお、転居されたり、贈答品などで保証書記載の販売店にご相談できない場合は、下記の窓口にご相談ください。
製品の故障や部品のご購入などのご相談は..... **修理ご相談窓口** へ
(注) *印の窓口は『持ち込み修理及び部品購入』のご相談窓口です。
製品に対するご意見・ご要望などは..... **一般ご相談窓口** へ

修理ご相談窓口

出張修理のご相談はCSセンターにご連絡ください。
受付時間:月曜日～土曜日 午前9時～午後5時40分
(日曜日、祝日など弊社休業日は休ませていただきます。)

シャープエンジニアリング株式会社

担当地域	拠点名	電話番号	所在地	担当地域	拠点名	電話番号	所在地			
北海道	CSセンター	(011)641-4690	札幌市西区二十四軒1条7-3-17 北見市三輪435 帯広市西8条南3-17 室蘭市中島町1-9 釧路市光陽町8-13 旭川市一条通4-左10 函館市五稜郭町31-17	東京都	*城北	(03)3972-4195	東京都板橋区東新町1-3-3-11			
	*札幌	(011)641-4685			*世田谷	(03)3707-3345	東京都世田谷区用賀3-8-18			
	北見	(0157)36-4649			*田端	(03)5692-7765	東京都北区東田端2-1-3-17			
	帯広	(0155)21-6925			*三多摩	(042)586-6059	日野市日野台5-5-4			
	室蘭	(0143)45-4649			CSセンター	(03)5692-7722	神奈川県	*横浜	(045)753-4647	横浜市磯子区中原1-2-2-3
	釧路	(0154)25-4649			*湘南	(0463)54-4738		平塚市田村1381		
	旭川	(0166)25-4649			*相模原	(0427)59-4195		相模原市横山2-2-1-2		
函館	(0138)51-4649	CSセンター	(03)5692-7722	山梨県	*山梨	(055)228-5375		甲府市富竹2-1-1-7		
青森県	青森	(0177)38-0281	弘前市豊田3-5-1		静岡県	CSセンター	(054)285-9360	静岡県	*静岡	(054)285-9340
弘前	(0172)27-4649	八戸市小中野2-8-16	*沼津	(0559)22-5249	沼津市宮前町11-4					
八戸	(0178)44-4649	秋田県	秋田市川尻町大川反170-56	*浜松	(053)463-4680	浜松市植松町1476-2				
秋田県	横手	(0182)33-4649	横手市横手町六の口5	長野県	CSセンター	(026)293-6612	長野県	*松本	(0263)27-4694	松本市芳野8-1-4
岩手県	岩手	(019)638-6087	紫波郡矢町流通センター南3-1-1		*長野	(026)293-6262		長野市篠ノ井塩崎東田沢6877-1		
岩手県	釜石	(0193)23-4649	釜石市上中島町4-6-4-3	愛知県	CSセンター	(052)332-5880	愛知県	*名古屋	(052)332-2623	名古屋市中区山王3-5-5
宮城県	CSセンター	(022)288-9250	仙台市若林区卸町東3-1-27		*岡崎	(0564)24-2343		岡崎市柿田町1-2-1		
山形県	山形	(023)631-4649		山形市飯田2-7-4-3	*豊橋	(0532)53-4647		豊橋市下地町橋口17-1		
山形県	酒田	(0234)24-4649	酒田市大町19-5	岐阜県	CSセンター	(052)332-5880	岐阜県	*岐阜	(058)273-4969	岐阜市六条南3-12-9
福島県	福島	(024)945-4649	郡山市安積町荒井方八丁33-1		三重県	CSセンター		(052)332-5880	三重県	*三重
福島県	会津若松	(0242)25-4649	会津若松市山見町41-2	富山県	CSセンター	(076)269-1875	富山県	*富山		(076)451-2459
福島県	いわき	(0246)28-4649	いわき市自由ヶ丘37-10	石川県	CSセンター	(076)269-1875		石川県	*金沢	(076)249-2434
新潟県	CSセンター	(025)285-1513	新潟市上所中1-7-21 長岡市撰田屋町崩2600	福井県	CSセンター	(076)269-1875	福井県		*福井	(0776)54-2459
新潟県	*新潟	(025)285-3663		新潟市上中1-7-21	滋賀県	CSセンター		(06)6795-2899	滋賀県	*滋賀
新潟県	*長岡	(0258)23-1819	長岡市撰田屋町崩2600	京都府	*彦根	(0749)24-4643	彦根市東沼波町133			
栃木県	CSセンター	(03)5692-7722	宇都宮市不動前4-2-41 下都賀郡藤岡町藤岡5201		大阪府	CSセンター	(06)6795-2899	大阪府		*京都
群馬県	*群馬	(027)252-4706		前橋市問屋町1-3-7		*北近畿	(0773)23-9151		福知山市末広町6-1-3	
茨城県	CSセンター	(03)5692-7722	水戸市千波町1963 つくば市栗原2857-9	福井県	CSセンター	(076)269-1875	福井県	CSセンター	(06)6795-2800	大阪市浪速区恵美須西1-2-9
茨城県	*茨城	(029)241-4930			水戸市千波町1963	京都府		*堺	(0722)45-4651	堺市老松町1-3-9
茨城県	*南茨城	(0298)57-9130	つくば市栗原2857-9	大阪府	*大阪TC		(06)6794-5611	大阪市平野区加美南3-7-19		
埼玉県	CSセンター	(03)5692-7722	さいたま市宮原町2-107-2 越谷市南荻島346-1		京都府	*南大阪	(0724)31-1950	貝塚市沢1215		
埼玉県	*埼玉中央	(048)666-7987		さいたま市宮原町2-107-2		*北大阪	(0726)34-4519	茨木市鮎川5-15-3		
埼玉県	*埼玉東	(0489)78-7101	越谷市南荻島346-1	大阪府	*阪神	(06)6421-4877	尼崎市猪名寺3-2-10			
千葉県	CSセンター	(03)5692-7722	千葉市美浜区中瀬1-9-2 松戸市総台295-1 八日市市場高字東2779-4 木更津市請西2-5-22		京都府	CSセンター	(06)6795-2899	京都府	CSセンター	(06)6795-2899
千葉県	*千葉	(043)299-8840		千葉市美浜区中瀬1-9-2		大阪府	*大阪		(06)6643-5331	大阪市浪速区恵美須西1-2-9
千葉県	*西千葉	(0473)68-4766	松戸市総台295-1	京都府	*堺		(0722)45-4651	堺市老松町1-3-9		
千葉県	*東千葉	(0479)79-1181	八日市市場高字東2779-4		京都府	*南大阪	(0724)31-1950	貝塚市沢1215		
千葉県	*木更津	(0438)37-7912	木更津市請西2-5-22	大阪府		*北大阪	(0726)34-4519	茨木市鮎川5-15-3		
東京都	CSセンター	(03)5692-7722	東京都墨田区石原2-12-3 東京都大田区南馬込1-5-15		京都府	*阪神	(06)6421-4877	尼崎市猪名寺3-2-10		
東京都	*江東	(03)3626-4642		東京都墨田区石原2-12-3		大阪府	*阪神	(06)6421-4877	尼崎市猪名寺3-2-10	
東京都	*城南	(03)3776-2419	東京都大田区南馬込1-5-15	(兵庫県)						

お客様ご相談窓口のご案内

付録



担当地域	拠点名	電話番号	所在地	担当地域	拠点名	電話番号	所在地
兵庫県	CSセンター	(06)6795-2899		香川県	[*香川	(087)823-4901	高松市朝日町 6-2-8
	[*兵庫	(078)791-1541	神戸市須磨区弥栄台 3-15-2	徳島県	CSセンター	(088)625-4684	
	[*神戸	(078)453-4651	神戸市東灘区魚崎北町 1-6-18	[*徳島	(088)625-4654	徳島市中常三島町 3-11-14	
	[*姫路	(0792)66-1819	姫路市青山 5-7-7	愛媛県	CSセンター	(089)971-4729	
奈良県	CSセンター	(06)6795-2899		[*愛媛	(089)971-4563	松山市高岡町 178-1	
	[*奈良	(0743)53-6693	大和郡山市美濃庄町 492	高知県	CSセンター	(088)882-4021	
	[*奈良南	(0745)65-1492	御所市茅原 4-3	[*高知	(088)882-4635	高知市高須 960-1	
和歌山県	CSセンター	(06)6795-2899		福岡県	CSセンター	(092)586-1122	
	[*和歌山	(073)445-4615	和歌山市西小二里 2-4-91	[*福岡	(092)572-4652	福岡市博多区井相田 2-12-1	
	[*南紀	(0739)25-3121	田辺市稲成町 441-1	[*南福岡	(0942)45-8211	久留米市御井旗崎 3-7-14	
鳥取県	鳥取	(0857)27-8831	鳥取市青葉町 2-204	[*北九州	(093)592-4677	北九州市小倉北区大手町 6-12	
岡山県	CSセンター	(086)292-1707		佐賀県	CSセンター	(092)586-1122	
	[*岡山	(086)292-1709	都窪郡早島町矢尾 828	[*佐賀	(0952)24-9450	佐賀市鍋島町八戸五本松籠 2043-2	
島根県	CSセンター	(0852)24-4811		長崎県	CSセンター	(095)844-1870	
	[*松江	(0852)24-4810	松江市西津田 3-1-10	[*長崎	(0957)52-3511	大村市古賀島町 613-3	
広島県	CSセンター	(082)874-8071		大分県	CSセンター	(097)552-9416	
	[*広島	(082)874-8149	広島市安佐南区西原 2-13-4	[*大分	(097)552-2313	大分市松原町 3-5-3	
	CSセンター	(0824)28-7448		熊本県	CSセンター	(096)366-7070	
	[*東広島	(0824)28-7490	東広島市八本松原 4-3-30	[*熊本	(096)364-4777	熊本市新屋敷 3-15-17	
	CSセンター	(0849)51-7644		天草	(0969)23-8711	本渡市港町 19-3	
	[*福山	(0849)51-7654	福山市津之郷町津之郷上開地	宮崎県	CSセンター	(0985)31-1823	
山口県	CSセンター	(083)972-0870		[*宮崎	(0985)31-1832	宮崎市原町 4-12	
	[*山口	(083)972-0891	吉敷郡小郡町若草町 4-12	鹿児島県	CSセンター	(099)253-0250	
	[*東山口	(0833)44-0923	下松市西豊井 173-1	[*鹿児島	(099)253-4600	鹿児島市鴨池新町 12-1	
香川県	CSセンター	(087)823-5513					

沖縄シャープ電機株式会社

担当地域	拠点名	電話番号	所在地	担当地域	拠点名	電話番号	所在地
沖縄県	那覇	(098)861-0866	那覇市曙 2-10-1	鹿児島県	奄美	(0997)53-4777	名瀬市塩浜町 8-1
	先島	(09807)3-3603	平良市下里 214-4				

一般ご相談窓口

シャープ株式会社

東日本相談室	TEL(043)297-4649	FAX(043)299-8280	〒261-8520	千葉県美浜区中瀬 1-9-2
西日本相談室	TEL(06)6621-4649	FAX(06)6792-5993	〒581-8585	八尾市北亀井町 3-1-72

受付時間:月曜日～土曜日 午前9時～午後6時
 日曜日・祝日 午前10時～午後5時
 (12月30日～1月4日は休みます。)

シャープエンジニアリング株式会社

北海道支店消費者相談室	(011)642-4649	〒063-0801	札幌市西区二十四軒 1条 7-3-17
東北支店消費者相談室	(022)288-9147	〒984-0002	仙台市若林区卸町東 3-1-27
首都圏支店消費者相談室	(03)3893-4649	〒114-0013	東京都北区東田端 2-13-17
中部支店消費者相談室	(052)332-4649	〒454-8721	名古屋市中区山王 3-5-5
近畿支店消費者相談室	(06)6794-7041	〒547-8510	大阪市平野区加美南 3-7-19
中国支店消費者相談室	(082)874-4649	〒731-0113	広島市安佐南区西原 2-13-4
四国支店消費者相談室	(087)823-4901	〒760-0065	高松市朝日町 6-2-8
九州支店消費者相談室	(092)572-4655	〒816-0081	福岡市博多区井相田 2-12-1

受付時間:月曜日～金曜日 午前9時～午後5時40分
 (土・日曜日、祝日など弊社休日とは休ませていただきます。)
 所在地・電話番号・受付時間などは変わることがありますので、その節はご容赦願います。(01.05)





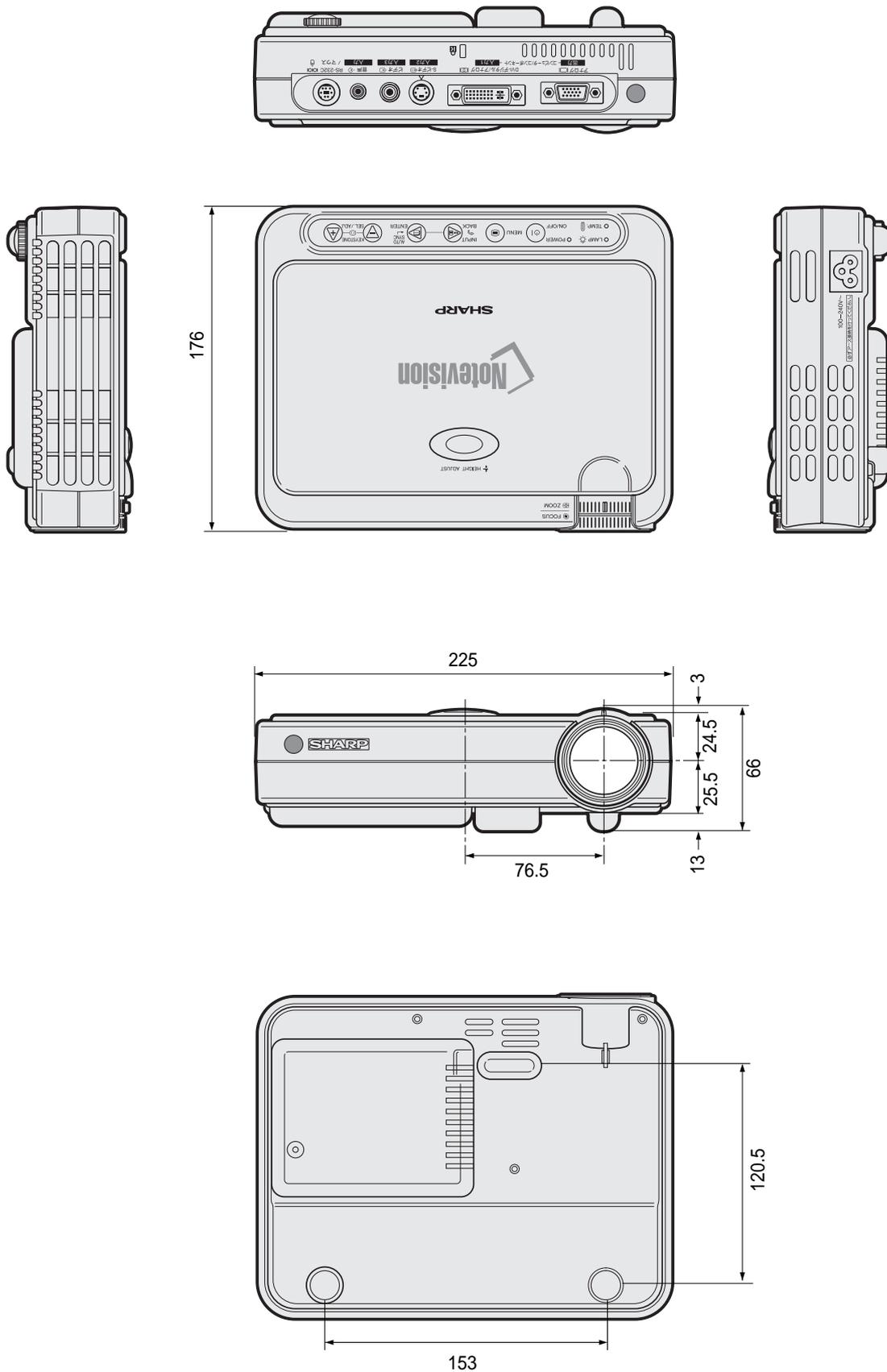
仕様

品名	デジタルマルチメディアプロジェクター	
形名	PG-M15XJ / PG-M15SJ	
表示方式	単板DMD™ カラーホイール色分離方式	
パネル	パネルサイズ	0.7 型
	画素数	PG-M15XJ : 786,432 (1,024×768)ドット PG-M15SJ : 480,000 (800×600)ドット
レンズ	1 ~ 1.2倍手動ズームレンズ F2.2 ~ 2.4 f = 28.5 ~ 34.2 mm	
ランプ	120W HIDランプ	
コントラスト比	500:1	
音声出力	2 W (モノラル)	
スピーカー	4 × 2.8 cm 1個	
定格電圧	AC100V ~ 240V	
定格周波数	50/60Hz	
消費電力	180 W (リモコン待機時 : 5W)	
使用温度範囲	10 ~ 35	
保管温度範囲	- 10 ~ +60	
入力・出力端子	DVIデジタル/アナログ入力端子 (入力1)	DVIデジタル信号 : 29ピン端子 RGB分離型アナログ信号 コンポーネント (色差) : Y 1.0VP-P(75) : C _B 0.7VP-P(75) : C _R 0.7VP-P(75)
	S映像入力端子 (入力2)	輝度信号入力 : 1.0Vp-p、75 、同期負 : 4ピンミニDINコネクタ 色信号入力 : 0.286Vp-p(パースト信号)、75
	ビデオ入力端子 (入力3)	映像 : 1.0Vp-p、75 、同期負 : RCAピン端子
	音声入力端子	音声 : 0.5Vrms、22k 以上 : 3.5 ステレオミニジャック端子 (入力1/入力2/入力3用)
	アナログモニター出力端子	RGB分離型アナログ信号 : 15ピンミニD-sub端子 コンポーネント (色差) : Y 1.0VP-P(75) : C _B 0.7VP-P(75) : C _R 0.7VP-P(75)
	RS-232C/マウスコントロール端子	7ピンミニDINコネクタ
キャビネット	マグネシウム合金	
外形寸法	幅 225mm、奥行 176mm、高さ 50mm (突起部除く)	
質量	約1.6kg	
<p><付属品> ・リモコン ・単4乾電池×2本 ・電源コード ・DVI/VGA変換ケーブル ・コンピュータRGBケーブル ・DVI/VGA変換アダプター ・ビデオケーブル ・S映像ケーブル ・ビデオ音声ケーブル ・コンピュータ音声ケーブル ・DIN(7ピン)-D-sub RS-232Cケーブル ・USBマウスコントロールケーブル ・ソフトポーチ ・本体操作パネル用日本語ラベル ・取扱説明書(本書) ・保証書</p>		

お願い ランプは消耗品です。使用中にランプが切れることがありますので、あらかじめご承知おきください。映像が暗くなったり、色合いが悪くなるなどの症状がでたときは、早めにランプを交換してください。



寸法図



単位 : mm



用語集

AVミュート

投影されている映像と音声を一時的に消す(ミュートする)機能です。

DVI

Digital Visual Interface. アナログインターフェイスもサポートした、ディスプレイ用のデジタルインターフェイスです。

DLP

DLP(Digital Light Processingの略)は、米国テキサスインスツルメンツ社が開発した微小可動ミラーを敷き詰めた半導体光スイッチを使った投影方式です。

RS-232C

コンピュータからプロジェクターを制御するときに使用する端子です。

アスペクト比

映像の横・縦の比率です。コンピュータやビデオにおける通常のアスペクト比は4:3です。アスペクト比が16:9/21:9という横幅の広いワイド映像もあります。

位相調整

コンピュータ入力時、画面の横方向に出るノイズを低減するための調整です。

オートサーチ

信号が入力されている入力だけを自動的に選択して切り換える機能です。

クロック調整

コンピュータ入力時、画面の縦方向に出る帯状のノイズを低減するための調整です。

自動同期調整

コンピュータの画像を最適な状態で投影する機能です。

静止画機能

動く映像を一時停止する機能(静止画機能)です。

ガンマ補正

映像や部屋の明るさに合わせ、コントラストや暗いシーンの階調を補正し、見やすいお好みの映像が選べる機能です。(標準とガンマ1、ガンマ2の3種類から選択できます)

画面の台形歪み(デジタル Keystone)補正

プロジェクターの映像を投影したとき、台形に歪んだ映像を4:3の比率を保ちながらデジタル補正するための機能です。

無信号時表示画面

信号が入力されていないときに投影される設定画面です。

自動同期調整

コンピュータの画像を最適な状態で投影する機能です。

ワイヤレスマウス機能

パソコンとプロジェクターを付属のUSBマウスコントロールケーブルで接続することにより、本機のリモコンをマウスと同じように使用できる機能です。





索引

A-Z

AV ミュート OSD 表示	57
DVI	25
RGB 入力信号	73
RS-232C ポート	72

ア行

アジャスター	17
アフターサービス	77
映像信号方式を設定	48
映像の左右反転	66
映像の上下反転	66
映像の調整	42
映像をデジタル拡大	53
オートサーチ	60
お客様ご相談窓口のご案内	78
お知らせ表示	74

カ行

画像表示モード	54
画面表示 (OSD 表示) 設定	58
画面表示言語	64
ガンマ補正	56
キーストーン補正	35
キャビネットの手入れ	75
故障かな?	76
コネクタのピン配置	70
コンピュータとの接続	23
コンピュータの映像調整	42

サ行

色温度	43
自動同期調整	47
シリアル (RS-232C) 端子へ接続	26
スクリーンの設置	18
静止画	52
設置	17
接続例	22

タ行

電源コードの接続	22
天井取り付けによる投映	21
電池	13
同期調整	46
盗難防止用コネクタ	11
特長	2

ナ行

入力信号の確認	50
無信号時電源オフモード	59

ハ行

反転映像の投映	21
ビデオ機器の接続	27
付属品	16

マ行

無信号時に表示する画面	62
モニターの接続	30

ラ行

ランプ (光源)	75
ランプ (光源) の使用時間	68
リモコン	12
リモコン受信部	14
リモコンの使用範囲	14
レンズの手入れ	75

ワ行

ワイヤレスマウス	14, 36
----------------	--------



お問い合わせは、お客様ご相談窓口へ

この製品についてのご意見・ご質問
「一般ご相談窓口」へお申し付けください。

東日本相談室

☎ (043)297-4649

FAX(043)299-8280

〒261-8520 千葉市美浜区中瀬1-9-2

西日本相談室

☎ (06)6621-4649

FAX(06)6792-5993

〒581-8585 八尾市北亀井町3-1-72

受付時間：月曜日～土曜日 午前9時～午後6時
日曜日・祝日 午前10時～午後5時
(12月30日～1月4日は休みます。)

その他の地域にお住まいのかたは、「お客様ご相談窓口のご案内」の「一般ご相談窓口」(79ページ)へお申し付けください。

製品の故障や部品のご購入などの相談
「修理ご相談窓口」へお申し付けください。
(くわしくは、78・79ページをご覧ください。)

修理サービスを依頼される前に、76ページの「故障かな?と
思ったら」をもう一度お読みください。

シャープ株式会社

本 社 〒545-8522 大阪市阿倍野区长池町 22 番 22 号
電話 (06) 6621-1221 (大代表)
AVシステム事業本部 〒329-2193 栃木県矢板市早川町 174 番地
電話 (0287) 43-1131 (大代表)